

厚生労働科学研究費補助金

政策科学総合研究事業(統計情報総合研究事業)

International Classification of Health Interventions (ICHI) の

我が国における活用・普及のための研究

令和5年度 総括研究報告書

研究代表者 川瀬 弘一

令和6(2024)年 3月

目 次

I. 総括研究報告	
International Classification of Health Interventions (ICHI) の我が国における 活用・普及のための研究 川瀬弘一	2
資料	
Kコード外保連基幹コード (STEM7) 対応表	10
II. 研究成果の刊行に関する一覧表	57

令和5年度厚生労働科学研究費補助金(政策科学総合研究事業(統計情報総合研究事業))
研究報告書

International Classification of Health Interventions (ICHI) の

我が国における活用・普及のための研究

研究代表者 川瀬 弘一 聖マリアンナ医科大学理事

研究要旨:

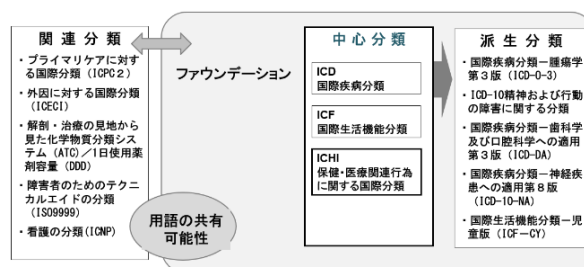
WHO 国際分類ファミリー(WHO-FIC)は、その中心分類として疾病及び関連保健問題の国際統計分類(ICD)、国際生活機能分類(ICF)、保健・医療関連行為に関する国際分類(International Classification of Health Interventions: ICHI)の3つを設けており、共通のファウンデーションから用語を引き出すことで作成しており、各分類が密接に関連している。ICHI は 2024 年 5 月の世界保健総会(WHA)での採択が予測されている。本研究の目的は、ICHI の開発ならびに我が国での継続的な教育、普及を行うスキームを確立することである。2023 年度は WHO-FIC ネットワーク中間会議、年次会議に対面で参加し、ICHI の最新情報を収集するとともに、我が国からは脳の解剖学的部位、特に脳実質と脳動脈に関連する項目に焦点を当て、臨床的視点から検討した内容を提案した。また ICHI の普及については日本診療情報管理学会学術大会等を通じて ICHI の紹介を行った。今後は ICHI が WHA で承認された際には ICHI の日本語訳について、スピード感を持って対応できるよう準備している。

研究分担者

岩中 督・東京大学医学部附属病院 名誉教授
波多野賢二・国立精神・神経医療研究センター・データマネジメント室・室長
高橋長裕・公益財団法人ちば県民保健予防財団総合健診センター 顧問
小川俊夫・農学部食品栄養学科 教授
阿部幸喜・地域医療機能推進機構船橋中央病院 整形外科 医長
荒井康夫・北里大学病院・診療情報管理室・特別専門職
瀬尾善宣・社会医療法人医仁会中村記念病院 副院長

して継続的な教育、普及を行うスキームを確立することである。WHO 国際分類ファミリー(WHO-FIC)は、その中心分類として疾病及び関連保健問題の国際統計分類(ICD)と国際生活機能分類(ICF)、ICHI の3つを設け、共通のファウンデーションから用語を引き出し作成しており、各分類が密接に関連している(図1)。

図1. WHO 国際統計分類ファミリー(WHO-FIC) 中心分類である ICD、ICF、ICHI や派生分類は WHO-FIC のファウンデーションという共通の枠組みから用語が引き出されている



A. 研究目的

本研究の目的は、保健・医療関連行為に関する国際分類(International Classification of Health Interventions: ICHI)の開発ならびに我が国での活用方法を提案し、それらを活用

実際に各分類の併記の利用例(Use case)を集め、共有する作業が現在進んでいる。ICHIは健康と福祉に関する情報および個人や集団に提供される医療行為に関する幅広い情報をコーディングすることで、標準化された共通言語として提供しており、2024年5月の世界保健総会(WHA)での採択が予測されている。

研究代表者および研究分担者は、これまで厚生労働科学研究費補助金(政策科学総合研究事業)で、WHO-FICの年次会議、中間会議、ICHI Task Force会議(ICHI会議)に出席し、海外での活用事例など最新の情報を収集するとともに、我が国の知見を踏まえた意見提出を行ってきた。

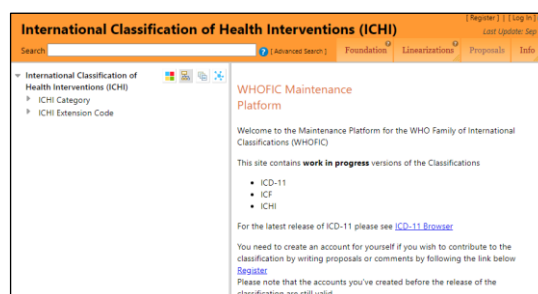
ICHIの国内利用のため、医療現場への継続的な教育・普及が必要である。令和2年度より「ICHIテキスト」を作成し、以後も改訂版を作成している。またこれまで「ICHIテキスト」を用いてパソコンやスマホを用いたICHIコードの検索指導を中心としたICHI研修会も開催してきた。今後も研修会を継続していく必要がある。

ICHIは単純な分類コードではなく、ICDやICFとともに利用可能で、さらに臨床現場や研究など様々な場面での使用も想定されており、多様な保健・医療関連行為を表現できるよう体系化されている。内容はICD-11と同様、膨大で、書籍などのテキストからコード検索を行うのではなく、ウェブサイトでの活用が必須で、「ICHI online」(<https://icd.who.int/dev11/l-ichi/en>)がWHOから提供されている(図2)。このサイトは英語表記で、今後英語以外のWHO公用語であるフランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、アラビア語への翻訳はWHOが準備することだが、日本語訳はICD-11と同様、我が国で行う必要がある。こ

れまで「ICHI Reference Guide」やICHI Stem codeの3つの軸(Target、Action、Means)の仮訳を行ってきたが、WHAでの採択後は、検索ブラウザすべての日本語訳をすすめる必要がある。

図2. ICHI online

(<https://icd.who.int/dev11/l-ichi/en>)



B. 研究方法

1) ICHIの動向

ICHIの今年度の動向についてWHO-FICネットワーク年次会議・中間会議、ICHI会議の活動、および今後について記述する。

2) ICHIの我が国への活用方法

ICHIの活用方法を示し、それらを活用しての教育、普及方法を示す。

C. 研究結果

1) ICHIの動向

2023年5月8日～11日にシドニー(オーストラリア)で開催されたWHO-FICネットワーク中間会議に、本研究代表者である川瀬弘一はFamily Development Committee(国際分類ファミリー拡張委員会、FDC)のボードメンバーとして、そして研究分担者である阿部幸喜氏はFDCおよびMorbidity Reference Group(MbRG)のメンバーとして、瀬尾善宣氏はFDCのオブザーバーとして、Education and Implementation Committee(教育普及

委員会、EIC)のメンバーとして対面で開催した。

ICHI は現在、WHA での承認がされておらず、2024 年の WHA での採択に向けて、様々な改良に努めてきている。ICHI 検索ブラウザの修正・構築の詳細が報告され、また ICHI と ICD、ICF との併用、併記の利用例を集めて共有すべく内容が報告、議論された。また EIC では ICD-11 のモジュールの教材について、レポジトリの検討結果が紹介され、検証等について議論された。

また 2023 年 WHO-FIC ネットワーク年次会議が 10 月 16 日～20 日にボンで開催され、本研究代表者である川瀬弘一と、研究分担者である瀬尾善宣氏が対面での会議に出席した。瀬尾善宣氏は「Consideration of anatomical classification axis related to

る脳の解剖学的部位、特に脳実質と脳動脈に関連する項目に焦点を当て、臨床的視点から検討したもので、脳実質では解剖学的軸が不適切な箇所を指摘し、特に脳幹の分類は体系的ではないことを報告した。脳動脈に関しても、動脈分岐とは関連していないため、分岐に基づいた分類軸を提案した。この報告は、ICHI 作成チーム内に脳神経外科領域の専門家がないため、先の WHO-FIC ネットワーク中間会議(シドニー)でのロビー活動で、専門的見地からの ICHI の不適切なコーディングを指摘して欲しいと依頼されての報告であり、今後の ICHI の修正に役立てて欲しいと願っている。


ICHI は現在、2024 年の WHA での承認に向けて、様々な改良に努めてきている。ICHI 検索ブラウザの更新、および ICHI の教育について報告があった。WHO は ICHI の構成要

図3. Consideration of anatomical classification axis related to the brain in the WHO-FIC Foundation (研究分担者の瀬尾善宣氏によるポスター報告の一部)

the brain in the WHO-FIC Foundation」の演題名でポスター報告を行った(図 3)。その内容は、WHO-FIC のファウンデーションにお

素は安定しており、一部の加盟国ではすでに使用されている。公衆衛生に関する介入は現在も検討中で、加盟国の協議を経て最終決定

WHO - FAMILY OF INTERNATIONAL CLASSIFICATIONS NETWORK ANNUAL MEETING 2023



WHO-FIC NETWORK
Bonn 2023

Consideration of anatomical classification axis related to the brain in the WHO-FIC Foundation

Yoshinobu Seo 1,2), Osahiro Takahashi 2), Hirokazu Kawase 3), Kazuo Matsumoto 2), Koki Abe 4), Hirohiko Nakamura 1,2), Hiroyuki Suenaga 2)

(1)Department of Neurosurgery, Nakamura Memorial Hospital, (2)Japan Society of Health Information Management (3)St. Marianna University School of Medicine, (4)Next Generation of Community Health, Chiba University Hospital

16-20 October 2023

WHO-FIC

Poster Number
302

Abstract The anatomical items on the brain in the WHO-FIC Foundation were investigated from a clinical standpoint. In this presentation, we focused on items related to brain parenchyma and cerebral arteries. Regarding the brain parenchyma, there were some parts where the anatomical axis was inappropriate. In particular, the classification of the brainstem was not systematic. As for cerebral arteries, they were not related to arterial bifurcation, so we propose a classification axis based on the bifurcation.

Introduction

The brain-related anatomical items in the WHO-FIC Foundation were investigated and examined from a clinical point of view. We focused on items related to brain parenchyma and cerebral arteries.

Methods & Materials

A comparative study of anatomy textbooks on the brain and the WHO-FIC foundation was performed.

Results

[Central nervous system (Brain)]¹⁾: In the Nervous system, there is an "Intracerebrum" item in the Cerebrum which is thought unnecessary.

In Cerebellum, there is "Cerebellopontine angle", which is appropriate to put this in

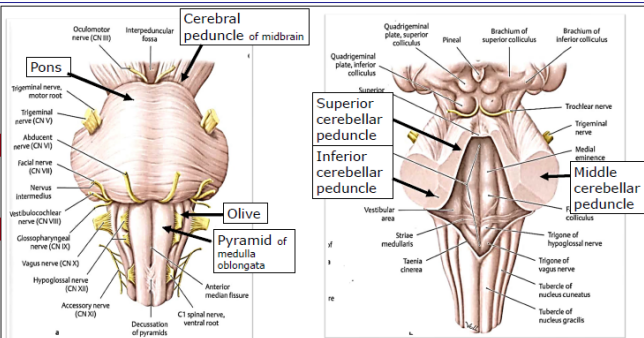


Fig.2 External structure. Left; Anterior view, Right; Posterior view

されると報告された。コンテンツの調整と調和として、ICD、ICF、ICHI 間の連携のユースケース(事例)を開発していくことが確認された。

さらに ICHI で使用される一部のエクステンションコードは、3 つの中心分類の一貫性を確保するために、「Topology Scale Value - Laterality (左右などの関係性)」、「Anatomy and topography - Functional anatomy(解剖学)」、「Therapeutic products(治療用製品)」などのエクステンションコードを ICD-11 と同一となるよう、ツール環境を強化していると報告された。また EIC によって ICHI リファレンスガイドについての見直しが完了し、ICHI 作成チームによって見直し案が検討され変更された。また 273 の介入からなるリハビリテーションのための介入パッケージ (PIR) を開発し、これらは ICHI にマッピングされたことも報告された。

2) ICHI の我が国への活用方法

多くの医療関係者に ICHI に対する理解を深めてもらう目的で、2021 年度に「ICHI テキスト 2022」を作成し、以後改定を加えている。現在 ICHI は WHA に提出するファイナル版完成に向けて、内容の追加、修正が行われており、今年度も改訂版「ICHI テキスト 2024」を完成させる予定である。

この ICHI テキストは、ICHI の基本概念およびその構造、そして 136 例の事例紹介の形式をとっており、執筆者は研究代表者、研究分担者だけでなく診療情報管理士 38 名にも毎回、執筆を依頼している。

研修会開催以外に、2022 年 9 月に開催された第 48 回日本診療情報管理学会学術大会の教育講演 2 として川瀬弘一が講演した「我が国における ICHI 活用の可能性」の内容を、2023 年の診療情報管理に紙上報告した。また、また 2022 年 9 月に開催された第 49 回日

本診療情報管理学会学術大会において、荒井康夫副理事長講演として荒井康夫氏が「K コードの分類体系の見直しに関する現状」と川瀬弘一が「K コードの分類体系見直しにおける外保連基幹コード(STEM7)、ICHI コードの検討」という演題名で ICHI コードの我が国での K コード、STEM7 のマッピングの報告をした。さらに瀬尾善宣氏が「脳神経外科手術における、K コード、手術基幹コード(STEM7)、ICHI における相違点について」の報告をし、多くの診療情報管理士が集まる学会において ICHI の教育・普及を継続している。他にも瀬尾善宣氏は第 26 回日本臨床脳神経外科学会で「脳神経外科手術における、K コード、手術基幹コード(STEM7)、ICHI における相違点」という演題名で報告をした。

また令和 5 年 12 月 1 日、医学通信社より発行された『外保連試案 2024』に「外保連手術試案第 9.4 版」が掲載された。外保連試案は 2 年毎に行われる診療報酬改定の前年秋に改訂版を掲載している。この 2 年間に外保連手術委員会では 81 件の新規術式が承認され、手術試案第 9.4 版に掲載された術式数は 3,993 件となった。2024 年診療報酬改定において、医科点数表における K コード(手術コード)は注による加算 13 件を除く 53 件が新規に K コードとして保険収載された(図 4)。

日本語訳については、Stem code の 3 つの軸、Target、Action、Means の項目についてはこれまで仮訳を行ってきたが、頻繁にその内容が修正されるため、完全なものはできて

図4. 2024 年診療報酬改定で新規術式として K コードに保険収載された 53 術式(加算 13 件は除く)

Kコード	術式名	点数
K013-3 1	自家皮膚非培養細胞移植術 25cm ² 未満	3,520
K013-3 2	自家皮膚非培養細胞移植術 25cm ² 以上100cm ² 未満	6,270
K013-3 3	自家皮膚非培養細胞移植術 100cm ² 以上200cm ² 未満	9,000
K013-3 4	自家皮膚非培養細胞移植術 200cm ² 以上	25,820
K022-3 1	慢性膿皮症手術 単純なもの	4,820
K022-3 2	慢性膿皮症手術 複雑なもの	8,320
K053-2 1	骨悪性腫瘍、類骨腫瘍及び四肢軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法(一連として) 2cm以内のもの	15,000
K053-2 2	骨悪性腫瘍、類骨腫瘍及び四肢軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法(一連として) 2cmを超えるもの	21,960
K055-4	大腿骨遠位骨切り術	33,830
K069-4	関節鏡下半月板制動術	21,700
K076-3	関節鏡下肩関節授動術(関節鏡下肩関節板断裂手術を伴うもの)	54,810
K077-2	肩甲骨烏口突起移行術	27,380
K080-5 3	関節鏡下肩関節唇形成術 関節鏡下肩甲骨烏口突起移行術を伴うもの	46,370
K082-7	人工股関節置換術(手術支援装置を用いるもの)	43,280
K147-3	緊急穿頭血腫除去術	10,900
K176-2	脳深部血管結紮術	82,730
K196-6	末梢神経ラジオ波焼灼療法(一連として)	15,000
K259-3	ヒト羊膜基質使用自家培養口腔粘膜上皮細胞移植術	52,600
K271 1	毛様体光凝固術 眼内内視鏡を用いるもの	41,000
K343-2 2	経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術 その他のもの	60,000
K347-8	内視鏡下鼻中隔手術Ⅲ型(前彎矯正術)	29,680
K347-9	内視鏡下鼻中隔手術Ⅳ型(外鼻形成術)	46,070
K476-5	乳癌悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法(一連として)	15,000
K508-4	気管支バルブ留置術	8,960
K514-2 5	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 筋全摘	93,000
K514-7 1	肺悪性腫瘍及び胸腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法(一連として) 2cm以内のもの	15,000
K514-7 2	肺悪性腫瘍及び胸腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法(一連として) 2cmを超えるもの	21,960
K529-5	喉頭温存頸部食道悪性腫瘍手術(消化管再建手術を併施するもの)	153,330
K544 1 イ	心腫瘍摘出術、心腔内粘液腫摘出術 単独のもの 胸腔鏡下によるもの	90,600
K548 3	経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの) アテローム切除アブレーション式血管形成術用カテーテルによるもの	24,720
K573 1 口	心房中隔欠損作成術 経皮的心房中隔欠損作成術 スタティック法	16,090
K574-4	胸腔鏡下心房中隔欠損閉鎖術	69,130
K615 3	門脈塞栓術(閉塞によるもの)	27,140
K635-4	腹腔鏡下連続排気式腹腔灌流用カテーテル腹腔内留置術	16,660
K645-2	腹腔鏡下骨盤内臓全摘術	168,110
K645-3 1	骨盤内悪性腫瘍及び腹腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法(一連として) 2cm以内のもの	15,000
K645-3 2	骨盤内悪性腫瘍及び腹腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法(一連として) 2cmを超えるもの	21,960
K656-2 2	腹腔鏡下胃縮小術 スリーブ状切除によるもの(バイパス術を併施するもの)	50,290
K700-4	腹腔鏡下腫中央切除術	88,050
K773-7 1	腎悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法(一連として) 2cm以内のもの	15,000
K773-7 2	腎悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法(一連として) 2cmを超えるもの	21,960
K798 3	膀胱結石、異物摘出術 レーザーによるもの	11,980
K809-4	腹腔鏡下膀胱尿管逆流手術(膀胱外アプローチ)	39,280
K821-4	尿道狭窄グラフト再建術	50,890
K830-3	精巣温存手術	3,400
K836-3	腹腔鏡下停留精巣内精巣動脈結紮術	20,500
K841-7	経尿道的前立腺水蒸気治療	12,300
K841-8	経尿道的前立腺切除術(高圧水噴射システムを用いるもの)	18,500
K872-3 2	子宮鏡下有蓋粘膜下筋層切除術、子宮内膜ポリープ切除術 組織切除回収システム利用によるもの	6,630
K917-4	採取精子調整管理料	5,000
K917-5 1 イ	採取精子調整管理料 精子凍結保存管理料(導入時) 精巣内精子採取術で採取された精子を凍結する場合	1,500
K917-5 1 口	採取精子調整管理料 精子凍結保存管理料(導入時) イ以外の場合	1,000
K917-5 2	精子凍結保存維持管理料	700

いないが、新たに改訂された部分の修正を行った。

D. 考察

ICHI 開発が 2007 年にスタートして、今年で 17 年目を迎える。2019 年 7 月から 2020 年 2 月までに世界各国で行われた ICHI フィールドテストには、日本から 140 名が評価者として参加した。Public Health interventions(公衆衛生領域の保健・医療関連行為)については、標準的な言葉、用語が馴染みのない分類であり、どの国においても正解率が低率であった。このためこの数年、WHO-FIC では公衆衛生領域の共通言語の開発、改善に積極的に取り組んでおり、今年度の WHO-FIC ネットワーク年次会議で、現在も検討中ではあるものの大幅な修正が行われ、加盟国の協議を経て最終決定されると報告された。

ICHI コードは Stem code と Extension codes の組み合わせで構成されており、Stem code は 3 つの軸で表現されている。

Target (3 桁コード) は Action が実行される実態で、2024 年 2 月 8 日に ICHI online で最新の内容を確認したところ、Target for body systems and functions(身体の部位や身体機能)が 443 コード、Target for activities and participation domains(活動や参加)が 122 コード、Target for the environment (環境)が 107 コード、Health-related Behaviours target (健康関連の行動)が 35 コードで、Other specified, unspecified(その他、部位不明)の 2 コードを入れて全 709 コードからなっている(図 5)。

図 5. ICHI Target

	Target 大分類	コード数
1.	Target for body systems and functions ・Body Systems 身体の部位 ・Body Functions 身体機能、他	443
2.	Target for activities and participation domains 活動や参加 ・「学習と適用」「作業」「コミュニケーション」 「セルフケア」等	122
3.	Target for the environment 環境	107
4.	Health-related Behaviours target 健康関連の行動	35
	Other specified, unspecified その他、部位不明	2
	合計	709

Action (2 桁コード) は Target に対して何を行うかを示したもので、Diagnostic(診断)が 12 コード、Therapeutic(治療)が 78 コード、Managing(管理)が 12 コード、Preventing(予防)が 21 コードで、Other specified, unspecified(その他、部位不明)2 コードを入れて全 125 コードからなっている(図 6)。

図 6. ICHI Action

	Action 大分類	コード数
1.	Diagnostic 診断 ・「検査」「画像」「生検」等	12
2.	Therapeutic 治療 ・「麻酔」「切除」「切開」「挿入」「再建」 「トレーニング」「教育」「カウンセリング」等	78
3.	Managing 管理 ・「支援」「計画」等	12
4.	Preventing 予防 ・「公衆衛生監視」「感染対策」「環境改善」等	21
	Other specified, unspecified その他、部位不明	2
	合計	125

Means(2 桁コード) は Action が実行されるプロセスと方法を示したもので、Approach(到達方法)が 13 コード、Technique(技術)が 16 コード、Method(方法)が 3 コード、Sample(サンプル)が 8 コードで、Other specified, unspecified(その他、部位不明)の 2 コードを入れて全 42 コードからなっている(図6)。

図6. ICHI Means

	Action 大分類	コード数
1.	Approach 到達方法 ・「オープン」「経皮的」「経孔的」「鏡視下手術」等	13
2.	Technique 技術 ・「放射線(単純)」「放射線(造影)」「CT」「MRI」 「超音波」等	16
3.	Method 方法 ・「制定」「施行」「経済的手段」	3
4.	Sample 資料 ・「血液」「尿」「髄液」等	8
	Other specified, unspecified その他、部位不明	2
	合計	42

この 3 つの軸から Health interventions の ICHI Stem code が作成され、Target の大分類別に分けると「Interventions on body systems or functions (身体の部位あるいは身体機能の介入)」が 5,369 件、「Interventions on Activities and participation domains(活動と参加の介入)」が 1,004 件、「Environment(環境の介入)」が 2,528 件、「Health-related Behaviours(健康関連の行動への介入)」が 707 件で、合わせて 9,608 件になっている(図 7)。

図 7. Target 大分類別の ICHI Stem code

	Target 大分類別	ICHI Stem code 数
1.	Interventions on body systems or functions	5,369
2.	Interventions on activities and participation domains	1,004
3.	Interventions on the environment	2,528
4.	Interventions on health-related behaviours	707
	合計	9,608

また Extension codes は、Stem code では十分表現できない、あるいは区別できない保健・医療関連行為を精緻化するためにとっても便利なコードであるが、付記するルールが現在決まっていないため、とても煩雑である。その内容は 8 つの大分類に分けられ、「Additional descriptive information(付加的な記述、情報)」が 59 コード、「Assistive

products (支援製品)」が 138 コード、「Essential pathology tests (診断のためのテスト)」が 119 コード、「Quantifiers (数)」が 27 コード、「Telehealth (テレヘルス(遠隔医療を含む))」が 3 コード、「Therapeutic products (治療用製品)」が 169 コード、「Anatomy and topography (解剖と部位)」が 2,894 コード、「Topology Scale Value (部位スケール値)」が 40 コードの全 3,449 コードからなっている(図 8)。

ICHI の Extension codes は WHO-FIC の ファウンデーションという共通のストックから引き出すことが 2022 年の WHO-FIC ネットワーク年次会議で確認され、これにより ICD と ICHI の Extension codes の共通化が急ピッチで進められている。しかしながら 2024 年 2 月 8 日現在 ICHI online で検索しても「No Code Assigned (コードが割り当てられていません)」と表示され、まだ具体的なコードは振られていない。

図 8. Extension codes

	Extension codes 大分類	コード数
1.	Additional descriptive information (付加的な記述、情報)	59
2.	Assistive products (支援製品)	138
3.	Essential pathology tests (診断のためのテスト)	119
4.	Quantifiers (数)	27
5.	Telehealth (テレヘルス(遠隔医療を含む))	3
6.	Therapeutic products (治療用製品)	169
7.	Anatomy and topography (解剖と部位)	2,894
8.	Topology Scale Value (部位スケール値)	40
	合計	3,449

我が国の保険制度で用いられている K コードは診療報酬改定毎に増加し、2024 年度では 53 術式が増えている。これら新しい術式に対応する外保連基幹コード STEM7 は作成できたが、今後は ICHI とのマッピングも必要となる。

日本語訳は国内での活用には必須である。昨年度は「ICHI Reference Guide」の翻訳を

行った。これまでも ICHI Stem code の 3 つの軸、Target、Action、Means の仮訳を行ってきたが、新たに加わったものも多く、日本語訳を継続している。今後は、検索ブラウザすべての日本語訳をすすめていきたい。

E. 結論

2024 年 5 月の WHA において ICHI の承認が期待される。承認後の ICHI の我が国への活用については、今後も多くの方に ICHI を理解していただくために、「ICHI テキスト」を用いた講習会を継続し、これまでの経験を踏まえて、ベーシック、アドバンスコースの内容をブラッシュアップしていく予定である。そのために教育・普及のための教材の基本となる「ICHI テキスト」の改訂も毎年行いたいと考えている。今後の最大の課題は、ICHI の日本語訳の作業であり、スピード感を持って対処したい。

F. 健康危険情報

特記事項なし。

G. 研究発表

1. 論文発表

- 1) K. Abe, H. Kawase, N. Yokogawa, K. Yamashita, M. Yamashita, T. Sasaki, A. Yamaoka, Y. Shiga, S. Maki, K. Inage, Y. Eguchi, S. Orita, S. Ohtori. Mapping the Japanese orthopedic association national registry (JOANR) to the international classification of health interventions (ICHI), Journal of Orthopaedic Science, 2023. <https://doi.org/10.1016/j.jos.2023.01.002>
- 2) 川瀬弘一: 我が国における ICHI 活用の可能性. 診療情報管理 35(1):23-32, 2023

3) 松本万夫, 稲垣時子, 河村保孝, 瀬尾善宣, 住友正幸, 海野博資, 川瀬弘一. シンポジウム2: ICD-11 の実際. 日本診療情報管理学会誌. 2022; 34(2): 13-39..

2. 学会発表

1) Seo Y, Takahashi O, Kawase K, Matsumoto K, Abe K, Nakamura H, Suenaga H. Consideration of anatomical classification axis related to the brain in the WHO-FIC Foundation, WHO Family of International Classifications Network Annual Meeting 2023, 2023/10

2) 新井康夫. Kコードの分類体系の見直しに関する現状第49回日本診療情報管理学会学術集会. 十和田. 2023

3) 川瀬弘一. Kコードの分類体系見直しにおける外保連基幹コード(STEM7)、ICHIコードの検討. 第49回日本診療情報管理学会学術集会. 十和田. 2023

4) 瀬尾善宣. 脳神経外科手術における、Kコード、手術基幹コード(STEM7)、ICHIにおける相違点について. 第49回日本診療情報管理学会学術集会. 十和田. 2023

5) 瀬尾善宣, 中村博彦. 脳神経外科手術における、Kコード、手術基幹コード(STEM7)、ICHIにおける相違点. 第26回日本臨床脳神経外科学会. 宇都宮. 2023

3. その他
特記事項なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得
特記事項なし

2. 実用新案登録
特記事項なし

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
K000 1	創傷処理 筋肉、臓器に達するもの (長径5cm未満)	A11 30 00	創傷処理(6歳以上)長径5センチメートル未満(筋、臓器に達する)の場合
		T61 17 00	埋め込み型中心静脈カテーテル抜去術の場合
		A23 34 00	腹部開放創用局所陰圧閉鎖キット交換の場合
		A23 17 00	腹膜透析カテーテル抜去術の場合
K000 2	創傷処理 筋肉、臓器に達するもの (長径5cm以上10cm未満)	A11 30 00	創傷処理(6歳以上)長径5センチメートル以上10センチメートル未満(筋、臓器に達する)の場合
		A23 34 00	腹部開放創用局所陰圧閉鎖キット交換の場合
		Y11 D4 10	吸着式血液浄化用浄化器(閉塞性動脈硬化症用)を使用した場合
K000 3 イ	創傷処理 筋肉、臓器に達するもの (長径10cm以上) 頭頸部のもの(長径20cm以上のものに限る。)	A11 30 00	
K000 3 ロ	創傷処理 筋肉、臓器に達するもの (長径10cm以上) その他のもの	A11 30 00	創傷処理(6歳以上)長径10センチメートル以上(筋、臓器に達する)の場合
		A23 34 00	腹部開放創用局所陰圧閉鎖キット交換の場合
K000 4	創傷処理 筋肉、臓器に達しないもの (長径5cm未満)	A11 30 00	
K000 5	創傷処理 筋肉、臓器に達しないもの (長径5cm以上10cm未満)	A11 30 00	
K000 6	創傷処理 筋肉、臓器に達しないもの (長径10cm以上)	A11 30 00	
K000-2 1	小児創傷処理(6歳未満) 筋肉、臓器に達するもの (長径2.5cm未満)	A11 30 00	
K000-2 2	小児創傷処理(6歳未満) 筋肉、臓器に達するもの (長径2.5cm以上5cm未満)	A11 30 00	
K000-2 3	小児創傷処理(6歳未満) 筋肉、臓器に達するもの (長径5cm以上10cm未満)	A11 30 00	
K000-2 4	小児創傷処理(6歳未満) 筋肉、臓器に達するもの (長径10cm以上)	A11 30 00	
K000-2 5	小児創傷処理(6歳未満) 筋肉、臓器に達しないもの (長径2.5cm未満)	A11 30 00	
K000-2 6	小児創傷処理(6歳未満) 筋肉、臓器に達しないもの (長径2.5cm以上5cm未満)	A11 30 00	
K000-2 7	小児創傷処理(6歳未満) 筋肉、臓器に達しないもの (長径5cm以上10cm未満)	A11 30 00	
K000-2 8	小児創傷処理(6歳未満) 筋肉、臓器に達しないもの (長径10cm以上)	A11 30 00	
K001 1	皮膚切開術 長径10cm未満	A11 16 00	
K001 2	皮膚切開術 長径10cm以上20cm未満	A11 16 00	
K001 3	皮膚切開術 長径20cm以上	A11 16 00	
K002 1	デブリードマン 100cm ² 未満	A67 17 00	部位が手(手指は除く)の場合
		A6A 17 00	部位が手指の場合
		A77 17 00	部位が足(足趾は除く)の場合
		A7A 17 00	部位が足趾の場合
		AW1 17 00	部位が手、手指、足、足趾以外の場合
K002 2	デブリードマン 100cm ² 以上3,000cm ² 未満	A51 17 00	部位が四肢の場合
		A13 17 00	部位が頭皮の場合
		A15 17 00	部位が頸部の場合
		A14 17 00	部位が顔面の場合
		AW1 17 00	部位が四肢、頭皮、頸部及び顔面以外の場合
K002 3	デブリードマン 3,000cm ² 以上	A51 17 00	部位が四肢の場合
		AW1 17 00	部位が四肢以外の場合
K003 1	皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術(露出部) 長径3cm未満	A14 10 00	部位が顔面の場合
		A13 10 00	部位が頭部の場合
		AW1 10 00	部位が顔面、頭部以外の場合
K003 2	皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術(露出部) 長径3cm以上6cm未満	A14 10 00	部位が顔面の場合
		A13 10 00	部位が頭部の場合
		AW1 10 00	部位が顔面、頭部以外の場合
K003 3	皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術(露出部) 長径6cm以上	A14 10 00	部位が顔面の場合
		A13 10 00	部位が頭部の場合
		AW1 10 00	部位が顔面、頭部以外の場合
K004 1	皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術(露出部以外) 長径3cm未満	AW1 10 00	
K004 2	皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術(露出部以外) 長径3cm以上6cm未満	AW1 10 00	
K004 3	皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術(露出部以外) 長径6cm以上	AW1 10 00	
K005 1	皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部) 長径2cm未満	AW1 11 00	
K005 2	皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部) 長径2cm以上4cm未満	AW1 11 00	
K005 3	皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部) 長径4cm以上	AW1 11 00	
K006 1	皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外) 長径3cm未満	AW1 11 00	
K006 2	皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外) 長径3cm以上6cm未満	AW1 11 00	
K006 3	皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外) 長径6cm以上12cm未満	AW1 11 00	
K006 4	皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外) 長径12cm以上	AW1 11 00	
K006-2 1	鶏眼・胼胝切除術(露出部で縫合を伴うもの) 長径2cm未満	AW1 11 00	
K006-2 2	鶏眼・胼胝切除術(露出部で縫合を伴うもの) 長径2cm以上4cm未満	AW1 11 00	
K006-2 3	鶏眼・胼胝切除術(露出部で縫合を伴うもの) 長径4cm以上	AW1 11 00	

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
K006-3 1	鶏眼・胼胝切除術(露出部以外で縫合を伴うもの) 長径3cm未満	AW1 11 00	
K006-3 2	鶏眼・胼胝切除術(露出部以外で縫合を伴うもの) 長径3cm以上6cm未満	AW1 11 00	
K006-3 3	鶏眼・胼胝切除術(露出部以外で縫合を伴うもの) 長径6cm以上	AW1 11 00	
K006-4 1	皮膚腫瘍冷凍凝固摘出術(一連につき) 長径3cm未満の良性皮膚腫瘍	AW1 18 00	
K006-4 2	皮膚腫瘍冷凍凝固摘出術(一連につき) 長径3cm未満の悪性皮膚腫瘍	AW1 18 00	
K006-4 3	皮膚腫瘍冷凍凝固摘出術(一連につき) 長径3cm以上6cm未満の良性又は悪性皮膚腫瘍	AW1 18 00	
K006-4 4	皮膚腫瘍冷凍凝固摘出術(一連につき) 長径6cm以上の良性又は悪性皮膚腫瘍	AW1 18 00	
K007 1	皮膚悪性腫瘍切除術 広汎切除	A11 13 00	
K007 2	皮膚悪性腫瘍切除術 単純切除	A11 11 00	
K007-2	経皮的放射線治療用金属マーカ一留置術	ZZZ 50 14	
K007-3	放射線治療用合成吸収性材料留置術	QW2 50 00	
K008 1	腋臭症手術 皮弁法	A63 10 00	
K008 2	腋臭症手術 皮膚有毛部切除術	A63 12 00	
K008 3	腋臭症手術 その他のもの	A63 10 00	
K009 1	皮膚剥削術 25cm ² 未満	A11 41 00	
K009 2	皮膚剥削術 25cm ² 以上100cm ² 未満	A11 41 00	
K009 3	皮膚剥削術 100cm ² 以上200cm ² 未満	A11 41 00	
K009 4	皮膚剥削術 200cm ² 以上	A11 41 00	
K010 1	瘢痕拘縮形成手術 顔面	A14 32 00	
K010 2	瘢痕拘縮形成手術 その他	A11 32 00	
K011 1	顔面神経麻痺形成手術 静的なもの	A14 32 00	
K011 2	顔面神経麻痺形成手術 動的なもの	A14 30 00	
K013 1	分層植皮術 25cm ² 未満	A11 43 00	
K013 2	分層植皮術 25cm ² 以上100cm ² 未満	A11 43 00	
K013 3	分層植皮術 100cm ² 以上200cm ² 未満	A11 43 00	
K013 4	分層植皮術 200cm ² 以上	A11 43 00	
K013-2 1	全層植皮術 25cm ² 未満	A11 43 00	
K013-2 2	全層植皮術 25cm ² 以上100cm ² 未満	A11 43 00	
K013-2 3	全層植皮術 100cm ² 以上200cm ² 未満	A11 43 00	
K013-2 4	全層植皮術 200cm ² 以上	A11 43 00	
K013-3 1	自家皮膚非培養細胞移植術 25cm ² 未満	AW1 43 00	
K013-3 2	自家皮膚非培養細胞移植術 25cm ² 以上100cm ² 未満	AW1 43 00	
K013-3 3	自家皮膚非培養細胞移植術 100cm ² 以上200cm ² 未満	AW1 43 00	
K013-3 4	自家皮膚非培養細胞移植術 200cm ² 以上	AW1 43 00	
K014	皮膚移植術(生体・培養)	A11 43 00	
K014-2 1	皮膚移植術(死体) 200cm ² 未満	A11 43 00	
K014-2 2	皮膚移植術(死体) 200cm ² 以上500cm ² 未満	A11 43 00	
K014-2 3	皮膚移植術(死体) 500cm ² 以上1,000cm ² 未満	A11 43 00	
K014-2 4	皮膚移植術(死体) 1,000cm ² 以上3,000cm ² 未満	A11 43 00	
K014-2 5	皮膚移植術(死体) 3,000cm ² 以上	A11 43 00	
K015 1	皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術 25cm ² 未満	AW1 43 00	
K015 2	皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術 25cm ² 以上100cm ² 未満	AW1 43 00	
K015 3	皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術 100cm ² 以上	AW1 43 00	
K016	動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術	A11 43 00 P61 32 00	乳房以外の場合 対側乳房縮小・固定術(乳房再建後)の場合
K017 1	遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの) 乳房再建術の場合	P61 43 02	
K017 2	遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの) その他の場合	A11 43 00	
K019	複合組織移植術	A11 43 00	
K019-2 1	自家脂肪注入 50mL未満	AW1 43 10	
K019-2 2	自家脂肪注入 50mL以上100mL未満	AW1 43 10	
K019-2 3	自家脂肪注入 100mL以上	AW1 43 10	
K020	自家遊離複合組織移植術(顕微鏡下血管柄付きのもの)	A11 43 00	
K021 1	粘膜移植術 4cm ² 未満	A11 43 00	
K021 2	粘膜移植術 4cm ² 以上	A11 43 00	
K021-2 1	粘膜弁手術 4cm ² 未満	A11 43 00	
K021-2 2	粘膜弁手術 4cm ² 以上	A11 43 00	
K022 1	組織拡張器による再建手術(一連につき) 乳房(再建手術)の場合	P61 32 00	
K022 2	組織拡張器による再建手術(一連につき) その他の場合	A11 32 00	
K022-2 1	象皮病根治手術 大腿	A74 32 00	
K022-2 2	象皮病根治手術 下腿	A76 32 00	
K022-3 1	慢性膿皮症手術 単純なもの	AW1 10 00	
K022-3 2	慢性膿皮症手術 複雑なもの	AW1 10 00	
K023	筋膜切除術、筋膜切開術	B1A 16 00	

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
K024	筋切離術	B15 15 00	
K025	股関節内転筋切離術	B97 15 00	
K026	股関節筋群解離術	B97 15 00	
K026-2	股関節周囲筋腱解離術(変形性股関節症)	B86 37 00	
K027 1	筋炎手術 腸腰筋、殿筋、大腿筋	B86 16 00	
K027 2	筋炎手術 その他の筋	B15 16 00	
K028	腱鞘切開術(関節鏡下によるものを含む。)	B16 16 00	直視下手術で、茎状突起管開放手術以外の場合
		B16 16 11	関節鏡下で、茎状突起管開放手術以外の場合
		B58 16 00	直視下手術で、茎状突起管開放手術の場合
		B58 16 11	関節鏡下で、茎状突起管開放手術の場合
K029	筋肉内異物摘出術	B15 17 00	
K030 1	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術 肩、上腕、前腕、大腿、下腿、躯幹	D8D 11 00	部位が頸部の場合
		B71 11 00	部位が体幹の場合
		B22 11 00	部位が肩の場合
		B21 11 00	部位が上腕の場合
		B41 11 00	部位が前腕の場合
		B93 11 00	部位が大腿の場合
		BAC 11 00	部位が下腿の場合
K030 2	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術 手、足	B52 11 00	部位が手の場合
		B55 11 00	部位が手指の場合
		BB3 11 00	部位が足の場合
		BB6 11 00	部位が足趾の場合
K031 1	四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術 肩、上腕、前腕、大腿、下腿、躯幹	B71 13 00	部位が体幹の場合
		B22 13 00	部位が肩の場合
		B21 13 00	部位が上腕の場合
		B41 13 00	部位が前腕の場合
		B93 13 00	部位が大腿の場合
		BAC 13 00	部位が下腿の場合
K031 2	四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術 手、足	B52 13 00	部位が手の場合
		BB3 13 00	部位が足の場合
K033 1	筋膜移植術 指(手、足)	B1D 43 00	部位が手指の場合
		B1E 43 00	部位が足趾の場合
K033 2	筋膜移植術 その他のもの	B1B 43 00	
K034	腱切離・切除術(関節鏡下によるものを含む。)	B16 15 00	腱切離術で、直視下の場合
		B16 15 11	腱切離術で、関節鏡下の場合
		B16 11 00	腱切除術で、直視下の場合
		B16 11 11	腱切除術で、関節鏡下の場合
K035	腱剥離術(関節鏡下によるものを含む。)	B16 15 00	直視下の場合
		B16 15 11	関節鏡下の場合
K035-2	腱滑膜切除術	B58 11 00	部位が手指の場合
		BAK 11 00	部位が足趾の場合
		B18 11 00	部位が手足の指以外の場合
K037	腱縫合術	B16 30 00	
K037-2	アキレス腱断裂手術	BAJ 30 00	
K038	腱延長術	B58 30 00	部位が手指の場合
		BAK 30 00	部位が足趾の場合
		B16 30 00	部位が手足指以外の場合
K039 1	腱移植術(人工腱形成術を含む。)	B58 43 00	部位が手指の場合
		B58 34 00	部位が手指で、人工腱形成術を含む場合
		BAK 34 00	部位が足趾の場合
		BAK 43 00	部位が足趾で、人工腱形成術を含む場合
K039 2	腱移植術(人工腱形成術を含む。)	B16 34 00	部位が手足指以外で、人工腱形成術を含む場合
		B18 43 00	部位が手足指以外の場合
K040 1	腱移行術 指(手、足)	B58 43 00	部位が手指の場合
		BAK 43 00	部位が足趾の場合
K040 2	腱移行術 その他のもの	B16 43 00	
K040-2	指伸筋腱脱臼観血的整復術	B6L 30 00	
K040-3	腓骨筋腱腱鞘形成術	B18 32 00	
K042	骨穿孔術	B12 16 04	
K043 1	骨搔爬術 肩甲骨、上腕、大腿	B25 17 04	部位が肩甲骨の場合
		B23 17 04	部位が上腕骨の場合
		B94 17 04	部位が大腿骨の場合
K043 2	骨搔爬術 前腕、下腿	B44 17 04	部位が前腕骨の場合
		BAD 17 04	部位が下腿骨の場合
K043 3	骨搔爬術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	B74 17 04	部位が胸郭の場合
		B24 17 04	部位が鎖骨の場合
		B61 17 04	部位が手根骨の場合
		B68 17 04	部位が中手骨の場合
		B69 17 04	部位が手指骨の場合

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点		
		BAB 17 04	部位が膝蓋骨の場合		
		BBH 17 04	部位が足根骨の場合		
		BBJ 17 04	部位が中足骨の場合		
		BBK 17 00	部位が足趾骨の場合		
K044 1	骨折非観血的整復術 肩甲骨、上腕、大腿	B25 30 44	部位が肩甲骨の場合		
		B23 30 44	部位が上腕骨の場合		
		B94 30 44	部位が大腿骨の場合		
K044 2	骨折非観血的整復術 前腕、下腿	B44 30 44	部位が前腕骨の場合		
		BAG 30 44	部位が下腿骨の場合		
K044 3	骨折非観血的整復術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	C11 30 44	部位が脊椎の場合		
		B74 30 44	部位が胸郭の場合		
		B24 30 44	部位が鎖骨の場合		
		B61 30 44	部位が手根骨の場合		
		B68 30 44	部位が中手骨の場合		
		B69 30 44	部位が手指骨の場合		
		BAB 30 44	部位が膝蓋骨の場合		
		BBH 30 44	部位が足根骨の場合		
		BBJ 30 44	部位が中足骨の場合		
		BBK 30 44	部位が足趾骨の場合		
		K045 1	骨折経皮的鋼線刺入固定術 肩甲骨、上腕、大腿	B25 30 14	部位が肩甲骨の場合
				B23 30 14	部位が上腕骨の場合
B94 30 14	部位が大腿骨の場合				
K045 2	骨折経皮的鋼線刺入固定術 前腕、下腿	B44 30 14	部位が前腕骨の場合		
		BAG 30 14	部位が下腿骨の場合		
K045 3	骨折経皮的鋼線刺入固定術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	C11 30 14	部位が脊椎の場合		
		B74 30 14	部位が胸郭の場合		
		B24 30 14	部位が鎖骨の場合		
		B61 30 14	部位が手根骨の場合		
		B68 30 14	部位が中手骨の場合		
		B69 30 14	部位が手指骨の場合		
		C51 30 14	部位が骨盤の場合		
		BAB 30 14	部位が膝蓋骨の場合		
		BBH 30 14	部位が足根骨の場合		
		BBJ 30 14	部位が中足骨の場合		
		BBK 30 14	部位が足趾骨の場合		
		K046 1	骨折観血的手術 肩甲骨、上腕、大腿	B25 30 04	部位が肩甲骨の場合
B23 30 04	部位が上腕骨の場合				
B94 30 04	部位が大腿骨の場合				
K046 2	骨折観血的手術 前腕、下腿、手舟状骨	B44 30 04	部位が前腕骨の場合		
		B61 30 04	部位が手舟状骨の場合		
		BAG 30 04	部位が下腿骨の場合		
K046 3	骨折観血的手術 鎖骨、膝蓋骨、手(舟状骨を除く。)、足、指(手、足)その他	B74 30 04	部位が胸郭の場合		
		B24 30 04	部位が鎖骨の場合		
		B61 30 04	部位が手根骨(舟状骨を除く)の場合		
		B68 30 04	部位が中手骨の場合		
		B69 30 04	部位が手指骨の場合		
		BAB 30 04	部位が膝蓋骨の場合		
		BBH 30 04	部位が足根骨の場合		
		BBJ 30 04	部位が中足骨の場合		
		BBK 30 04	部位が足趾骨の場合		
		K046-2 1	観血的整復固定術(インプラント周囲骨折に対するもの)肩甲骨、上腕、大腿	B25 30 04	部位が肩甲骨の場合
B23 30 04	部位が上腕骨の場合				
B94 30 04	部位が大腿骨の場合				
K046-2 2	観血的整復固定術(インプラント周囲骨折に対するもの)前腕、下腿	B44 30 04	部位が前腕骨の場合		
		BAG 30 04	部位が下腿骨の場合		
K046-2 3	観血的整復固定術(インプラント周囲骨折に対するもの)手、足、指(手、足)	B74 30 04	部位が胸壁の場合		
		B61 30 04	部位が手根骨の場合		
		B68 30 04	部位が中手骨の場合		
		B69 30 04	部位が手指骨の場合		
		BBH 30 04	部位が足根骨の場合		
		BBJ 30 04	部位が中足骨の場合		
		BBK 30 04	部位が足趾骨の場合		
K046-3	観血的整復固定術(インプラント周囲骨折に対するもの)一時的創外固定骨折治療術	C11 30 14	部位が脊椎の場合		
		B74 30 14	部位が胸郭の場合		
		B24 30 14	部位が鎖骨の場合		
		B25 30 14	部位が肩甲骨の場合		
		B23 30 14	部位が上腕骨の場合		
		B44 30 14	部位が前腕骨の場合		
		B61 30 14	部位が手根骨の場合		

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
		B68 30 14	部位が中手骨の場合
		B69 30 14	部位が手指骨の場合
		C51 30 14	部位が骨盤骨の場合
		B94 30 14	部位が大腿骨の場合
		BAB 30 14	部位が膝蓋骨の場合
		BAG 30 14	部位が下腿骨の場合
		BBH 30 14	部位が足根骨の場合
		BBJ 30 14	部位が中足骨の場合
		BBK 30 14	部位が足趾骨の場合
K047	難治性骨折電磁波電気治療法(一連につき)	B12 30 44	
K047-2	難治性骨折超音波治療法(一連につき)	B12 30 44	
K047-3	超音波骨折治療法(一連につき)	B12 30 44	
K048 1	骨内異物(挿入物を含む。)除去術 頭蓋、顔面(複数切開を要するもの)	D74 17 00	
K048 2	骨内異物(挿入物を含む。)除去術 その他の頭蓋、顔面、肩甲骨、上腕、大腿	B25 17 04	部位が肩甲骨の場合
		B23 17 04	部位が上腕骨の場合
		B94 17 04	部位が大腿骨の場合
		D74 17 00	部位が頭蓋または顔面の場合
K048 3	骨内異物(挿入物を含む。)除去術 前腕、下腿	B44 17 04	部位が前腕骨の場合
		BAG 17 04	部位が下腿骨の場合
K048 4	骨内異物(挿入物を含む。)除去術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	B74 17 04	部位が胸郭の場合
		B24 17 04	部位が鎖骨の場合
		B61 17 04	部位が手根骨の場合
		B68 17 04	部位が中手骨の場合
		B69 17 04	部位が手指骨の場合
		BAB 17 04	部位が膝蓋骨の場合
		BBH 17 04	部位が足根骨の場合
		BBJ 17 04	部位が中足骨の場合
		BBK 17 04	部位が足趾骨の場合
K049 1	骨部分切除術 肩甲骨、上腕、大腿	B25 11 04	部位が肩甲骨の場合
		B23 11 04	部位が上腕骨の場合
		B94 11 04	部位が大腿骨の場合
K049 2	骨部分切除術 前腕、下腿	B44 11 04	部位が前腕骨の場合
		BAG 11 04	部位が下腿骨の場合
K049 3	骨部分切除術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	C11 11 04	部位が脊椎の場合
		B74 11 04	部位が胸郭の場合
		B24 11 04	部位が鎖骨の場合
		B61 11 04	部位が手根骨の場合
		B68 11 04	部位が中手骨の場合
		B69 11 04	部位が手指骨の場合
		C51 11 04	部位が骨盤の場合
		BAB 11 04	部位が膝蓋骨の場合
		BBH 11 04	部位が足根骨の場合
		BBJ 11 04	部位が中足骨の場合
		BBK 11 04	部位が足趾骨の場合
		B12 11 04	部位が上記以外の骨の場合
K050 1	腐骨摘出術 肩甲骨、上腕、大腿	B25 17 04	部位が肩甲骨の場合
		B23 17 04	部位が上腕骨の場合
		B94 17 04	部位が大腿骨の場合
K050 2	腐骨摘出術 前腕、下腿	B44 17 04	部位が前腕骨の場合
		BAG 17 04	部位が下腿骨の場合
K050 3	腐骨摘出術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	C11 17 04	部位が脊椎の場合
		B74 17 04	部位が胸郭の場合
		B24 17 04	部位が鎖骨の場合
		B61 17 04	部位が手根骨の場合
		B68 17 04	部位が中手骨の場合
		B69 17 04	部位が手指骨の場合
		C51 17 04	部位が骨盤の場合
		BAB 17 04	部位が膝蓋骨の場合
		BBH 17 04	部位が足根骨の場合
		BBJ 17 04	部位が中足骨の場合
		BBK 17 04	部位が足趾骨の場合
		B12 17 04	部位が上記以外の骨の場合
K051 1	骨全摘術 肩甲骨、上腕、大腿	B25 12 04	部位が肩甲骨の場合
		B23 12 04	部位が上腕骨の場合
		B94 12 04	部位が大腿骨の場合
K051 2	骨全摘術 前腕、下腿	B44 12 04	部位が前腕骨の場合
		BAG 12 04	部位が下腿骨の場合
K051 3	骨全摘術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	B74 12 04	部位が胸郭の場合

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
		B24 12 04	部位が鎖骨の場合
		B61 12 04	部位が手根骨の場合
		B68 12 04	部位が中手骨の場合
		B69 12 04	部位が手指骨の場合
		BAB 12 04	部位が膝蓋骨の場合
		BBH 12 04	部位が足根骨の場合
		BBJ 12 04	部位が中足骨の場合
		BBK 12 04	部位が足趾骨の場合
		C4E 12 04	部位が尾骨の場合
K051-2	中手骨又は中足骨摘除術(2本以上)	B68 12 04	部位が中手骨の場合
		BBJ 12 04	部位が中足骨の場合
K052 1	骨腫瘍切除術 肩甲骨、上腕、大腿	B25 11 04	部位が肩甲骨の場合
		B23 11 04	部位が上腕骨の場合
		B94 11 04	部位が大腿骨の場合
K052 2	骨腫瘍切除術 前腕、下腿	B44 11 04	部位が前腕骨の場合
		BAG 11 04	部位が下腿骨の場合
K052 3	骨腫瘍切除術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	B74 11 04	部位が胸郭の場合
		B24 11 04	部位が鎖骨の場合
		B61 11 04	部位が手根骨の場合
		B68 11 04	部位が中手骨の場合
		B69 11 04	部位が手指骨の場合
		BAB 11 04	部位が膝蓋骨の場合
		BBH 11 04	部位が足根骨の場合
		BBJ 11 04	部位が中足骨の場合
		BBK 11 04	部位が足趾骨の場合
K053 1	骨悪性腫瘍手術 肩甲骨、上腕、大腿	B25 11 04	部位が肩甲骨で、単純切除の場合
		B25 13 04	部位が肩甲骨で、広汎切除の場合
		B23 11 04	部位が上腕骨で、単純切除の場合
		B23 13 04	部位が上腕骨で、広汎切除の場合
		B94 11 04	部位が大腿骨で、単純切除の場合
		B94 13 04	部位が大腿骨で、広汎切除の場合
K053 2	骨悪性腫瘍手術 前腕、下腿	B44 11 04	部位が前腕骨で、単純切除の場合
		B44 13 04	部位が前腕骨で、広汎切除の場合
		BAG 11 04	部位が下腿骨で、単純切除の場合
		BAG 13 04	部位が下腿骨で、広汎切除の場合
K053 3	骨悪性腫瘍手術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	B74 11 04	部位が胸郭で、単純切除の場合
		B74 13 04	部位が胸郭で、広汎切除の場合
		B24 11 04	部位が鎖骨で、単純切除の場合
		B24 13 04	部位が鎖骨で、広汎切除の場合
		B61 11 04	部位が手根骨で、単純切除の場合
		B61 13 04	部位が手根骨で、広汎切除の場合
		B68 11 04	部位が中手骨で、単純切除の場合
		B68 13 04	部位が中手骨で、広汎切除の場合
		B69 11 04	部位が手指骨で、単純切除の場合
		B69 13 04	部位が手指骨で、広汎切除の場合
		BAB 11 04	部位が膝蓋骨で、単純切除の場合
		BAB 13 04	部位が膝蓋骨で、広汎切除の場合
		BBH 11 04	部位が足根骨で、単純切除の場合
		BBH 13 04	部位が足根骨で、広汎切除の場合
		BBJ 11 04	部位が中足骨で、単純切除の場合
		BBJ 13 04	部位が中足骨で、広汎切除の場合
		BBK 11 04	部位が足趾骨で、単純切除の場合
		BBK 13 04	部位が足趾骨で、広汎切除の場合
		B12 11 00	部位が上記以外のその他の場合
K053-2 1	骨悪性腫瘍、類骨骨腫及び四肢軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法(一連として) 2cm以内のもの	B12 18 17	部位が骨腫瘍の場合
		B82 18 17	部位が四肢軟部腫瘍の場合
K053-2 2	骨悪性腫瘍、類骨骨腫及び四肢軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法(一連として) 2cmを超えるもの	B12 18 17	部位が骨腫瘍の場合
		B82 18 17	部位が四肢軟部腫瘍の場合
K054 1	骨切り術 肩甲骨、上腕、大腿	B25 32 04	部位が肩甲骨で、単純切除の場合
		B23 32 04	部位が上腕骨で、単純切除の場合
		B23 32 0B	部位が上腕骨で、カスタムガイドを用いる場合
		B94 32 04	部位が大腿骨の場合
K054 2	骨切り術 前腕、下腿	B44 32 04	部位が前腕骨の場合
		B44 32 0B	部位が前腕骨で、カスタムガイドを用いる場合
		BAG 32 04	部位が下腿骨の場合
K054 3	骨切り術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	B74 32 04	部位が胸郭の場合
		B24 32 04	部位が鎖骨の場合
		B68 32 04	部位が中手骨の場合
		B69 32 04	部位が手指骨の場合

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
		BAB 32 04	部位が膝蓋骨の場合
		BBJ 32 04	部位が中足骨の場合
		BBK 32 04	部位が足趾骨の場合
		BBH 32 04	部位が足根骨の場合
K054-2	脛骨近位骨切り術	BA2 11 04	
K055-2	大腿骨頭回転骨切り術	B91 31 04	
K055-3	大腿骨近位部(転子間を含む。)骨切り術	B94 32 04	
K055-4	大腿骨遠位骨切り術	BA2 11 04	
K056 1	偽関節手術 肩甲骨、上腕、大腿	B25 30 04	部位が肩甲骨の場合
		B23 30 04	部位が上腕骨の場合
		B94 30 04	部位が大腿骨の場合
K056 2	偽関節手術 前腕、下腿、手舟状骨	B44 30 04	部位が前腕骨の場合
		B61 30 00	部位が手舟状骨の場合
		BAG 30 04	部位が下腿骨の場合
K056 3	偽関節手術 鎖骨、膝蓋骨、手(舟状骨を除く。)、足、指(手、足)その他	B74 30 04	部位が胸郭の場合
		B24 30 04	部位が鎖骨の場合
		B61 30 04	部位が手根骨(舟状骨以外)の場合
		B68 30 04	部位が中手骨の場合
		B69 30 04	部位が手指骨の場合
		BAB 30 04	部位が膝蓋骨の場合
		BBH 30 04	部位が足根骨の場合
		BBJ 30 04	部位が中足骨の場合
		BBK 30 04	部位が足趾骨の場合
K056-2	難治性感染性偽関節手術(創外固定器によるもの)	B12 30 00	
K057 1	変形治癒骨折矯正手術 肩甲骨、上腕、大腿	B25 32 04	部位が肩甲骨の場合
		B23 32 04	部位が上腕骨の場合
		B23 32 0B	部位が上腕骨で、カスタムガイドを用いる場合
		B94 32 04	部位が大腿骨の場合
K057 2	変形治癒骨折矯正手術 前腕、下腿	B44 32 04	部位が前腕骨の場合
		B44 32 0B	部位が前腕骨で、カスタムガイドを用いる場合
		BAG 32 04	部位が下腿骨の場合
K057 3	変形治癒骨折矯正手術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	C11 32 04	部位が脊椎の場合
		B74 32 04	部位が胸郭の場合
		B24 32 04	部位が鎖骨の場合
		BBK 32 04	部位が手根骨の場合
		B68 32 04	部位が中手骨の場合
		B69 32 04	部位が手指骨の場合
		C51 32 04	部位が骨盤の場合
		BAB 32 04	部位が膝蓋骨の場合
		BBJ 32 04	部位が中足骨の場合
		BBK 32 04	部位が足趾骨の場合
		B61 32 04	部位が足根骨の場合
K058 1	骨長調整手術 骨端軟骨発育抑制術	B12 32 04	
K058 2	骨長調整手術 骨短縮術	B12 32 04	
K058 3	骨長調整手術 骨延長術(指(手、足))	B69 32 04	部位が手指骨の場合
		BBK 32 04	部位が足趾骨の場合
K058 4	骨長調整手術 骨延長術(指(手、足)以外)	B12 32 04	
K059 1	骨移植術(軟骨移植術を含む。) 自家骨移植	B12 43 00	
K059 2	骨移植術(軟骨移植術を含む。) 同種骨移植(生体)	B12 43 00	
		B12 43 00	
K059 3 イ	骨移植術(軟骨移植術を含む。) 同種骨移植(非生体) 同種骨移植(特殊なもの)	B12 43 00	
K059 3 ロ	骨移植術(軟骨移植術を含む。) 同種骨移植(非生体) その他の場合	B12 43 00	
K059 4	骨移植術(軟骨移植術を含む。) 自家培養軟骨移植術	B12 43 00	
K059-2	関節鏡下自家骨軟骨移植術	B12 43 11	
K060 1	関節切開術 肩、股、膝	B28 16 00	部位が肩関節の場合
		B91 16 00	部位が股関節の場合
		BA2 16 00	部位が膝関節の場合
K060 2	関節切開術 胸鎖、肘、手、足	B26 16 00	部位が胸鎖関節の場合
		B42 16 00	部位が肘関節の場合
		B64 16 00	部位が手関節の場合
		BB2 16 00	部位が足関節および距骨周囲関節の場合
K060 3	関節切開術 肩鎖、指(手、足)	B26 16 00	部位が肩鎖関節の場合
		B6F 16 00	部位が中手指節関節の場合
		B6B 16 00	部位が手指節間関節の場合
		BBM 16 00	部位が中足趾節関節の場合
		BBN 16 00	部位が足趾節間関節の場合
K060-2 1	肩甲関節周囲沈着石灰摘出術 観血的に行うもの	B29 10 00	
K060-2 2	肩甲関節周囲沈着石灰摘出術 関節鏡下で行うもの	B29 10 11	

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
K060-3 1	化膿性又は結核性関節炎掻爬術 肩、股、膝	B28 16 04	部位が肩関節の場合
		BA2 16 04	部位が膝関節の場合
		B91 16 04	部位が股関節の場合
K060-3 2	化膿性又は結核性関節炎掻爬術 胸鎖、肘、手、足	B26 16 04	部位が胸鎖関節の場合
		B42 16 04	部位が肘関節の場合
		B64 16 04	部位が手関節の場合
		BB2 16 04	部位が足関節および距骨周囲関節の場合
K060-3 3	化膿性又は結核性関節炎掻爬術 肩鎖、指(手、足)	B26 16 04	部位が肩鎖関節の場合
		B6F 16 04	部位が中手指節関節の場合
		B6B 16 04	部位が手指節間関節の場合
		BBM 16 04	部位が中足趾節関節の場合
		BBN 16 04	部位が足趾節間関節の場合
K061 1	関節脱臼非観血的整復術 肩、股、膝	B28 30 44	部位が肩関節の場合
		B91 30 44	部位が股関節の場合
		BA2 30 44	部位が膝関節の場合
K061 2	関節脱臼非観血的整復術 胸鎖、肘、手、足	B26 30 44	部位が胸鎖関節の場合
		B42 30 44	部位が肘関節の場合
		B64 30 44	部位が手関節の場合
		BB2 30 44	部位が足関節および距骨周囲関節の場合
K061 3	関節脱臼非観血的整復術 肩鎖、指(手、足)、小児肘内障	B26 30 44	部位が肩鎖関節の場合
		B42 30 44	小児肘内障の場合
		B6F 30 44	部位が中手指節関節の場合
		B6B 30 44	部位が手指節間関節の場合
		BBM 30 44	部位が中足趾節関節の場合
K062 1	先天性股関節脱臼非観血的整復術(両側) リーメンビューゲル法	B91 30 44	
K062 2	先天性股関節脱臼非観血的整復術(両側) その他	B91 30 44	
K063 1	関節脱臼観血的整復術 肩、股、膝	B28 30 04	部位が肩関節の場合
		B91 30 04	部位が股関節の場合
		BA2 30 04	部位が膝関節の場合
K063 2	関節脱臼観血的整復術 胸鎖、肘、手、足	B26 30 04	部位が胸鎖関節の場合
		B42 30 04	部位が肘関節の場合
		B64 30 04	部位が手関節の場合
		BB2 30 04	部位が足関節および距骨周囲関節の場合
K063 3	関節脱臼観血的整復術 肩鎖、指(手、足)	B26 30 04	部位が肩鎖関節の場合
		B6B 30 04	部位が手指節の場合
		BBN 30 04	部位が足趾節関節の場合
K064	先天性股関節脱臼観血的整復術	B91 30 04	
K065 1	関節内異物(挿入物を含む。)除去術 肩、股、膝	B28 17 04	部位が肩関節の場合
		B91 17 04	部位が股関節の場合
		BA2 17 04	部位が膝関節の場合
K065 2	関節内異物(挿入物を含む。)除去術 胸鎖、肘、手、足	B26 17 04	部位が胸鎖関節の場合
		B42 17 04	部位が肘関節の場合
		B64 17 04	部位が手関節の場合
		BB2 17 04	部位が足関節および距骨周囲関節の場合
K065 3	関節内異物(挿入物を含む。)除去術 肩鎖、指(手、足)	B26 17 04	部位が肩鎖関節の場合
		B6B 17 04	部位が手指節の場合
		BBN 17 04	部位が足趾節関節の場合
K065-2 1	関節鏡下関節内異物(挿入物を含む。)除去術 肩、股、膝	B28 17 11	部位が肩関節の場合
		B91 17 11	部位が股関節の場合
		BA2 17 11	部位が膝関節の場合
K065-2 2	関節鏡下関節内異物(挿入物を含む。)除去術 胸鎖、肘、手、足	B26 17 11	部位が胸鎖関節の場合
		B42 17 11	部位が肘関節の場合
		B64 17 11	部位が手関節の場合
		BB2 17 11	部位が足関節および距骨周囲関節の場合
K065-2 3	関節鏡下関節内異物(挿入物を含む。)除去術 肩鎖、指(手、足)	B26 17 11	部位が肩鎖関節の場合
		B6B 17 11	部位が手指節の場合
		BBN 17 11	部位が足趾節関節の場合
K066 1	関節滑膜切除術 肩、股、膝	B28 11 00	部位が肩関節の場合
		B91 11 00	部位が股関節の場合
		BA2 11 00	部位が膝関節の場合
K066 2	関節滑膜切除術 胸鎖、肘、手、足	B26 11 00	部位が胸鎖関節の場合
		B42 11 00	部位が肘関節の場合
		B64 11 00	部位が手関節の場合
		BB2 11 00	部位が足関節および距骨周囲関節の場合
K066 3	関節滑膜切除術 肩鎖、指(手、足)	B26 11 00	部位が肩鎖関節の場合
		B6B 11 00	部位が手指節の場合
		BBN 11 00	部位が足趾節関節の場合

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
K066-2 1	関節鏡下関節滑膜切除術 肩、股、膝	B28 11 11	部位が肩関節の場合
		B91 11 11	部位が股関節の場合
		BA2 11 11	部位が膝関節の場合
K066-2 2	関節鏡下関節滑膜切除術 胸鎖、肘、手、足	B26 11 11	部位が胸鎖関節の場合
		B42 11 11	部位が肘関節の場合
		B64 11 11	部位が手関節の場合
		BB2 11 11	部位が足関節および距骨周囲関節の場合
K066-2 3	関節鏡下関節滑膜切除術 肩鎖、指(手、足)	B26 11 11	部位が肩鎖関節の場合
		B6B 11 11	部位が手指関節の場合
		BBN 11 11	部位が足趾関節の場合
K066-3 1	滑液膜摘出術 肩、股、膝	B28 11 00	部位が肩関節の場合
		B91 11 00	部位が股関節の場合
		BA2 11 00	部位が膝関節の場合
K066-3 2	滑液膜摘出術 胸鎖、肘、手、足	B26 11 00	部位が胸鎖関節の場合
		B42 11 00	部位が肘関節の場合
		B64 11 00	部位が手関節の場合
		BB2 11 00	部位が足関節および距骨周囲関節の場合
K066-3 3	滑液膜摘出術 肩鎖、指(手、足)	B26 11 00	部位が肩鎖関節の場合
		B6B 11 00	部位が手指関節の場合
		BBN 11 00	部位が足趾関節の場合
K066-4 1	関節鏡下滑液膜摘出術 肩、股、膝	B28 11 11	部位が肩関節の場合
		B91 11 11	部位が股関節の場合
		BA2 11 11	部位が膝関節の場合
K066-4 2	関節鏡下滑液膜摘出術 胸鎖、肘、手、足	B26 11 11	部位が胸鎖関節の場合
		B42 11 11	部位が肘関節の場合
		B64 11 11	部位が手関節の場合
		BB2 11 11	部位が足関節および距骨周囲関節の場合
K066-4 3	関節鏡下滑液膜摘出術 肩鎖、指(手、足)	B26 11 11	部位が肩鎖関節の場合
		B6B 11 11	部位が手指関節の場合
		BBN 11 11	部位が足趾関節の場合
K066-5	膝蓋骨滑液嚢切除術	BAB 11 00	
K066-6	関節鏡下膝蓋骨滑液嚢切除術	BAB 11 11	
K066-7	掌指関節滑膜切除術	B6B 11 00	
K066-8	関節鏡下掌指関節滑膜切除術	B6B 11 11	
K067 1	関節鼠摘出手術 肩、股、膝	B28 10 04	部位が肩関節の場合
		B91 10 04	部位が股関節の場合
		BA2 10 04	部位が膝関節の場合
K067 2	関節鼠摘出手術 胸鎖、肘、手、足	B26 10 07	部位が胸鎖関節の場合
		B42 10 07	部位が肘関節の場合
		B64 10 07	部位が手関節の場合
		BB2 10 17	部位が足関節および距骨周囲関節の場合
K067 3	関節鼠摘出手術 肩鎖、指(手、足)	B26 10 07	部位が肩鎖関節の場合
		B6B 10 07	部位が手指関節の場合
		BBN 10 17	部位が足趾関節の場合
K067-2 1	関節鏡下関節鼠摘出手術 肩、股、膝	B28 10 11	部位が肩関節の場合
		B91 10 11	部位が股関節の場合
		BA2 10 11	部位が膝関節の場合
K067-2 2	関節鏡下関節鼠摘出手術 胸鎖、肘、手、足	B26 10 11	部位が胸鎖関節の場合
		B42 10 11	部位が肘関節の場合
		B64 10 11	部位が手関節の場合
		BB2 10 11	部位が足関節および距骨周囲関節の場合
K067-2 3	関節鏡下関節鼠摘出手術 肩鎖、指(手、足)	B26 10 11	部位が肩鎖関節の場合
		B6B 10 11	部位が手指関節の場合
		BBN 10 11	部位が足趾関節の場合
K068	半月板切除術	BA6 11 00	
K068-2	関節鏡下半月板切除術	BA6 11 11	
K069	半月板縫合術	BA6 30 00	
K069-2	関節鏡下三角線維軟骨複合体切除・縫合術	B64 12 11	切除術の場合
		B64 30 11	縫合術の場合
K069-3	関節鏡下半月板縫合術	BA6 30 11	
K069-4	関節鏡下半月板制動術	BA6 38 11	
K070 1	ガングリオン摘出術 手、足、指(手、足)	B52 10 00	部位が手の場合
		B55 10 00	部位が手指の場合
		BB3 10 00	部位が足の場合
		BB6 10 00	部位が足趾の場合
K070 2	ガングリオン摘出術 その他(ヒグローム摘出術を含む。)	B81 10 00	
K072 1	関節切除術 肩、股、膝	B28 11 04	部位が肩関節の場合
		B91 11 04	部位が股関節の場合
		BA2 11 04	部位が膝関節の場合

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
K072 2	関節切除術 胸鎖、肘、手、足	B26 11 04	部位が胸鎖関節の場合
		B42 11 04	部位が肘関節の場合
		B64 11 04	部位が手関節の場合
		BB2 11 04	部位が足関節および距骨周囲関節の場合
K072 3	関節切除術 肩鎖、指(手、足)	B26 11 04	部位が肩鎖関節の場合
		B6B 11 04	部位が手指関節の場合
		BBN 11 04	部位が足趾関節の場合
K073 1	関節内骨折観血的手術 肩、股、膝、肘	B28 30 04	部位が肩関節の場合
		B42 30 04	部位が肘関節の場合
		B91 30 04	部位が股関節の場合
		BA2 30 04	部位が膝関節の場合
K073 2	関節内骨折観血的手術 胸鎖、手、足	B26 30 04	部位が胸鎖関節の場合
		B64 30 04	部位が手関節の場合
		BB2 30 04	部位が足関節および距骨周囲関節の場合
K073 3	関節内骨折観血的手術 肩鎖、指(手、足)	B26 30 04	部位が肩鎖関節の場合
		B6B 30 04	部位が手指関節の場合
		BBN 30 04	部位が足趾関節の場合
K073-2 1	関節鏡下関節内骨折観血的手術 肩、股、膝、肘	B28 30 11	部位が肩関節の場合
		B42 30 11	部位が肘関節の場合
		B91 30 11	部位が股関節の場合
		BA2 30 11	部位が膝関節の場合
K073-2 2	関節鏡下関節内骨折観血的手術 胸鎖、手、足	B26 30 11	部位が胸鎖関節の場合
		B64 30 11	部位が手関節の場合
		BB2 30 11	部位が足関節および距骨周囲関節の場合
K073-2 3	関節鏡下関節内骨折観血的手術 肩鎖、指(手、足)	B26 30 11	部位が肩鎖関節の場合
		B6B 30 11	部位が手指関節の場合
		BBN 30 11	部位が足趾関節の場合
K074 1	靭帯断裂縫合術 十字靭帯	BA9 30 00	
K074 2	靭帯断裂縫合術 膝側副靭帯	BA7 30 00	部位が膝内側側副靭帯の場合
		BA8 30 00	部位が膝外側側副靭帯の場合
K074 3	靭帯断裂縫合術 指(手、足)その他の靭帯	B6G 30 00	部位が手指靭帯の場合
		BBP 30 00	部位が足趾靭帯の場合
		BAA 30 00	部位が膝蓋靭帯(膝蓋腱)の場合
		BA9 30 00	部位が十字靭帯、側副靭帯、膝蓋靭帯以外の膝関節周辺 の靭帯の場合
		B19 30 00	部位が膝または手足の指以外の場合
K074-2 1	関節鏡下靭帯断裂縫合術 十字靭帯	BA9 30 11	
K074-2 2	関節鏡下靭帯断裂縫合術 膝側副靭帯	BA7 30 11	部位が膝外側側副靭帯の場合
		BA8 30 11	部位が膝内側側副靭帯の場合
K074-2 3	関節鏡下靭帯断裂縫合術 指(手、足)その他の靭帯	B6G 30 11	部位が手指靭帯の場合
		BBP 30 11	部位が足趾靭帯の場合
		BAA 30 11	部位が膝蓋靭帯(膝蓋腱)の場合
		BA9 30 11	部位が十字靭帯、側副靭帯、膝蓋靭帯以外の膝関節周辺 の靭帯の場合
		B19 30 11	部位が膝または手足の指以外の場合
K075 1	非観血的関節授動術 肩、股、膝	B28 30 44	部位が肩関節の場合
		B91 30 44	部位が股関節の場合
		BA2 30 44	部位が膝関節の場合
K075 2	非観血的関節授動術 胸鎖、肘、手、足	B26 30 44	部位が胸鎖関節の場合
		B42 30 44	部位が肘関節の場合
		B64 30 44	部位が手関節の場合
		BB2 30 44	部位が足関節および距骨周囲関節の場合
K075 3	非観血的関節授動術 肩鎖、指(手、足)	B26 30 44	部位が肩鎖関節の場合
		B6B 30 44	部位が手指関節の場合
		BBN 30 44	部位が足趾関節の場合
K076 1	観血的関節授動術 肩、股、膝	B28 30 04	部位が肩関節の場合
		B91 30 04	部位が股関節の場合
		BA2 30 04	部位が膝関節の場合
K076 2	観血的関節授動術 胸鎖、肘、手、足	B26 30 04	部位が胸鎖関節の場合
		B42 30 04	部位が肘関節の場合
		B64 30 04	部位が手関節の場合
		BB2 30 04	部位が足関節および距骨周囲関節の場合
K076 3	観血的関節授動術 肩鎖、指(手、足)	B26 30 04	部位が肩鎖関節の場合
		B6B 30 04	部位が手指関節の場合
		BBN 30 04	部位が足趾関節の場合
K076-2 1	関節鏡下関節授動術 肩、股、膝	B28 30 11	部位が肩関節の場合
		B91 30 14	部位が股関節の場合
		BA2 30 11	部位が膝関節の場合
K076-2 2	関節鏡下関節授動術 胸鎖、肘、手、足	B26 30 11	部位が胸鎖関節の場合
		B42 30 11	部位が肘関節の場合

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
		B64 30 11	部位が手関節の場合
		BB2 30 11	部位が足関節および距骨周囲関節の場合
K076-2 3	関節鏡下関節授動術 肩鎖、指(手、足)	B26 30 11	部位が肩鎖関節の場合
		B6B 30 11	部位が手指関節の場合
		BBN 30 11	部位が足趾関節の場合
K076-3	関節鏡下肩関節授動術(関節鏡下肩腱板断裂手術を伴うもの)	B29 30 11	
K077 1	観血的関節制動術 肩、股、膝	B28 30 04	部位が肩関節の場合
		B91 30 04	部位が股関節の場合
		BA2 30 04	部位が膝関節の場合
K077 2	観血的関節制動術 胸鎖、肘、手、足	B26 30 04	部位が胸鎖関節の場合
		B42 30 04	部位が肘関節の場合
		B64 30 04	部位が手関節の場合
		BB2 30 04	部位が足関節および距骨周囲関節の場合
K077 3	観血的関節制動術 肩鎖、指(手、足)	B26 30 04	部位が肩鎖関節の場合
		B6B 30 04	部位が手指関節の場合
		BBN 30 04	部位が足趾関節の場合
K077-2	肩甲骨烏口突起移行術	B28 30 00	
K078 1	観血的関節固定術 肩、股、膝	B28 38 04	部位が肩関節の場合
		B91 38 04	部位が股関節の場合
		BA2 38 04	部位が膝関節の場合
K078 2	観血的関節固定術 胸鎖、肘、手、足	B26 38 04	部位が胸鎖関節の場合
		B42 38 04	部位が肘関節の場合
		B64 38 04	部位が手関節の場合
		BB2 38 04	部位が足関節および距骨周囲関節の場合
K078 3	観血的関節固定術 肩鎖、指(手、足)	B26 38 04	部位が肩鎖関節の場合
		B6B 38 04	部位が手指関節の場合
		BBN 38 04	部位が足趾関節の場合
K079 1	靭帯断裂形成手術 十字靭帯	BA9 34 00	
K079 2	靭帯断裂形成手術 膝側副靭帯	BA7 30 00	部位が内側側副靭帯の場合
		BA8 30 00	部位が外側側副靭帯の場合
K079 3	靭帯断裂形成手術 指(手、足)その他の靭帯	B6G 30 00	部位が手指靭帯の場合
		BA9 30 00	部位が内側膝蓋大腿靭帯の場合
		BBP 30 00	部位が足趾靭帯の場合
		BAA 30 00	部位が膝蓋靭帯(膝蓋腱)の場合
		BA9 30 00	部位が十字靭帯、側副靭帯、内側膝蓋大腿靭帯、膝蓋靭帯以外の膝関節周辺の靭帯の場合
		B19 30 00	部位が膝または手足の指以外の場合
K079-2 1	関節鏡下靭帯断裂形成手術 十字靭帯	BA9 34 11	
K079-2 2	関節鏡下靭帯断裂形成手術 膝側副靭帯	BA7 30 11	部位が内側側副靭帯の場合
		BA8 30 11	部位が外側側副靭帯の場合
		BAA 30 11	部位が膝蓋靭帯(膝蓋腱)の場合
		BA9 30 11	部位が十字靭帯、側副靭帯、内側膝蓋大腿靭帯、膝蓋靭帯以外の膝関節周辺の靭帯の場合
K079-2 3	関節鏡下靭帯断裂形成手術 指(手、足)その他の靭帯	B6G 30 11	部位が手指靭帯の場合
		BBP 30 11	部位が足趾靭帯の場合
		B19 30 11	部位が膝または手足の指以外の場合
K079-2 4	関節鏡下靭帯断裂形成手術 内側膝蓋大腿靭帯	BA9 30 11	
K080 1	関節形成手術 肩、股、膝	B28 30 04	部位が肩関節の場合
		B91 30 04	部位が股関節の場合
		BA2 30 04	部位が膝関節の場合
K080 2	関節形成手術 胸鎖、肘、手、足	B26 30 04	部位が胸鎖関節の場合
		B42 30 04	部位が肘関節の場合
		B64 30 04	部位が手関節の場合
		BB2 30 04	部位が足関節および距骨周囲関節の場合
K080 3	関節形成手術 肩鎖、指(手、足)	B26 30 04	部位が肩鎖関節の場合
		B6B 30 04	部位が手指関節の場合
		BBN 30 04	部位が足趾関節の場合
K080-2	内反足手術	BB2 30 04	
K080-3 1	肩腱板断裂手術 簡単なもの	B29 30 00	腱固定術を伴わない場合
		B29 38 00	腱固定術を伴う場合
K080-3 2	肩腱板断裂手術 複雑なもの	B29 30 00	
K080-4 1	関節鏡下肩腱板断裂手術 簡単なもの	B29 30 11	
K080-4 2	関節鏡下肩腱板断裂手術 簡単なもの(上腕二頭筋腱の固定を)	B29 30 21	
K080-4 3	関節鏡下肩腱板断裂手術 複雑なもの	B29 30 11	
K080-5 1	関節鏡下肩関節唇形成術 腱板断裂を伴うもの	B28 30 11	
K080-5 2	関節鏡下肩関節唇形成術 腱板断裂を伴わないもの	B28 30 11	
K080-5 3	関節鏡下肩関節唇形成術 関節鏡下肩甲骨烏口突起移行術を	B28 30 11	
K080-6	関節鏡下股関節唇形成術	B92 30 11	
K080-7 1	上腕二頭筋腱固定術 観血的に行うもの	B18 38 00	
K080-7 2	上腕二頭筋腱固定術 関節鏡下で行うもの	B18 38 11	

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
K081 1	人工骨頭挿入術 肩、股	B28 34 04	部位が肩関節の場合
		B91 34 00	部位が股関節の場合
K081 2	人工骨頭挿入術 肘、手、足	B42 34 04	部位が肘関節の場合
		BB2 34 04	部位が足関節および距骨周囲関節の場合
K081 3	人工骨頭挿入術 指(手、足)	B26 34 04	部位が肩鎖関節の場合
		B6B 34 04	部位が手指関節の場合
		BBN 34 04	部位が足趾関節の場合
K082 1	人工関節置換術 肩、股、膝	B28 34 04	部位が肩関節の場合
		B91 34 04	部位が股関節の場合
		BA2 34 04	部位が膝関節の場合
K082 2	人工関節置換術 胸鎖、肘、手、足	B26 34 04	部位が胸鎖関節の場合
		B42 34 04	部位が肘関節の場合
		B64 34 04	部位が手関節の場合
		BB2 34 04	部位が足関節および距骨周囲関節の場合
K082 3	人工関節置換術 肩鎖、指(手、足)	B26 34 04	部位が肩鎖関節の場合
		B6B 34 04	部位が手指関節の場合
		BBN 34 04	部位が足趾関節の場合
K082-2 1	人工関節抜去術 肩、股、膝	B28 17 04	部位が肩関節の場合
		B91 17 04	部位が股関節の場合
		BA2 17 04	部位が膝関節の場合
K082-2 2	人工関節抜去術 胸鎖、肘、手、足	B26 17 04	部位が胸鎖関節の場合
		B42 17 04	部位が肘関節の場合
		B64 17 04	部位が手関節の場合
		BB2 17 04	部位が足関節および距骨周囲関節の場合
K082-2 3	人工関節抜去術 肩鎖、指(手、足)	B26 17 04	部位が肩鎖関節の場合
		B6B 17 04	部位が手指関節の場合
		BBN 17 04	部位が足趾関節の場合
K082-3 1	人工関節再置換術 肩、股、膝	B28 34 04	部位が肩関節の場合
		B91 34 04	部位が股関節の場合
		BA2 34 04	部位が膝関節の場合
K082-3 2	人工関節再置換術 胸鎖、肘、手、足	B26 34 04	部位が胸鎖関節の場合
		B42 34 04	部位が肘関節の場合
		B64 34 04	部位が手関節の場合
		BB2 34 04	部位が足関節および距骨周囲関節の場合
K082-3 3	人工関節再置換術 肩鎖、指(手、足)	B26 34 04	部位が肩鎖関節の場合
		B6B 34 04	部位が手指関節の場合
		BBN 34 04	部位が足趾関節の場合
K082-4	自家肋骨肋軟骨関節全置換術	B42 34 00	部位が腕橈関節の場合
K082-4	自家肋骨肋軟骨関節全置換術	B64 34 00	部位が遠位橈尺関節の場合
		B6B 34 00	部位が手指関節の場合
K082-4	自家肋骨肋軟骨関節全置換術	BBL 34 00	部位が足趾関節の場合
K082-5	人工距骨全置換術	BB2 34 04	
K082-6	人工股関節摺動面交換術	B91 34 04	
K082-7	人工股関節置換術(手術支援装置を用いるもの)	B91 34 0R	
K083	鋼線等による直達牽引(初日。観血的に行った場合の手技料を含む。)(1局所につき)	B12 30 14	
K083-2	内反足足板挺子固定	BB2 30 14	
K084	四肢切断術(上腕、前腕、手、大腿、下腿、足)	F64 12 00	部位が上腕の場合
		F66 12 00	部位が前腕の場合
		F67 12 00	部位が手の場合
		F74 12 00	部位が大腿の場合
		F76 12 00	部位が下腿の場合
		F77 12 00	部位が足部の場合
K084-2	肩甲帯離断術	F61 15 00	
K085 1	四肢関節離断術 肩、股、膝	B28 13 00	部位が肩関節の場合
		B91 13 00	部位が股関節の場合
		BA2 13 00	部位が膝関節の場合
K085 2	四肢関節離断術 肘、手、足	B42 13 00	部位が肘関節の場合
		B64 13 00	部位が手関節の場合
		BB9 13 00	部位が足関節および距骨周囲関節の場合
K085 3	四肢関節離断術 指(手、足)	B6B 13 00	部位が手指関節の場合
		BBN 13 00	部位が足趾関節の場合
K086 1	断端形成術(軟部形成のみのもの) 指(手、足)	B55 30 00	部位が手指の場合
		BB6 30 00	部位が足趾の場合
K086 2	断端形成術(軟部形成のみのもの) その他	B82 30 00	部位が手足の指以外の場合
K087 1	断端形成術(骨形成を要するもの) 指(手、足)	F6A 30 00	部位が手指の場合
		F7A 30 00	部位が足趾の場合
K087 2	断端形成術(骨形成を要するもの) その他	F66 30 00	部位が前腕の場合
		F67 30 00	部位が手の場合

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
		F74 30 00	部位が大腿の場合
		F76 30 00	部位が下腿の場合
		F77 30 00	部位が足部の場合
		F64 30 00	部位が上腕の場合
K088 1	切断四肢再接合術 四肢	F61 30 04	部位が肩甲帯の場合
		F64 30 04	部位が上腕の場合
		F66 30 04	部位が前腕の場合
		F67 30 04	部位が手の場合
		F74 30 04	部位が大腿の場合
		F76 30 04	部位が下腿の場合
		F77 30 04	部位が足の場合
K088 2	切断四肢再接合術 指(手、足)	F6A 30 04	部位が手指の場合
		F7A 30 04	部位が足趾の場合
K089	爪甲除去術	A54 11 00	
K090 1	ひょう疽手術 軟部組織のもの	A6A 11 00	
K090 2	ひょう疽手術 骨、関節のもの	B55 11 00	
K090-2	風棘手術	B12 10 00	
K091 1	陥入爪手術 簡単なもの	A54 11 00	
K091 2	陥入爪手術 爪床爪母の形成を伴う複雑なもの	A54 11 00	
K093	手根管開放手術	B6P 16 00	
K093-2	関節鏡下手根管開放手術	B6P 16 11	
K094	足三関節固定(ランプリヌディ)手術	BB2 30 04	
K096 1	手掌、足底腱膜切離・切除術 鏡視下によるもの	B59 11 11	部位が手掌腱膜の場合
		BBR 11 11	部位が足底腱膜で、切離術の場合
		BBR 11 11	部位が足底腱膜で、切除術の場合
K096 2	手掌、足底腱膜切離・切除術 その他のもの	B59 11 00	部位が手掌腱膜の場合
		BBR 11 00	部位が足底腱膜で、切離術の場合
		BBR 11 00	部位が足底腱膜で、切除術の場合
K096-2	体外衝撃波疼痛治療術(一連につき)	B82 17 40	
K097	手掌、足底異物摘出術	B54 17 00	部位が手掌の場合
		BB5 17 00	部位が足底の場合
K099	指癒痕拘縮手術	A6A 10 00	
K099-2 1	デュブイトレン拘縮手術 1指	B59 10 00	
K099-2 2	デュブイトレン拘縮手術 2指から3指	B59 10 00	
K099-2 3	デュブイトレン拘縮手術 4指以上	B59 10 00	
K100 1	多指症手術 軟部形成のみのもの	B52 32 00	
K100 2	多指症手術 骨関節、腱の形成を要するもの	B52 32 04	
K101 1	合指症手術 軟部形成のみのもの	B52 32 00	
K101 2	合指症手術 骨関節、腱の形成を要するもの	B52 32 04	
K101-2 1	指癒着症手術 軟部形成のみのもの	B52 32 00	
K101-2 2	指癒着症手術 骨関節、腱の形成を要するもの	B52 32 04	
K102 1	巨指症手術 軟部形成のみのもの	B52 32 00	
K102 2	巨指症手術 骨関節、腱の形成を要するもの	B52 32 04	
K103 1	屈指症手術、斜指症手術 軟部形成のみのもの	B52 32 00	
K103 2	屈指症手術、斜指症手術 骨関節、腱の形成を要するもの	B52 32 04	
K105	裂手、裂足手術	B52 32 00	裂手の場合
		BB3 32 00	裂足の場合
K106	母指化手術	B56 32 04	
K107	指移植手術	B52 43 00	
K108	母指対立再建術	B56 32 00	
K109	神経血管柄付植皮術(手、足)	B14 43 00	
K110	第四指短縮症手術	BBJ 32 04	
K110-2	第一指外反症矯正手術	BBJ 32 04	
K112	腸骨窩膿瘍切開術	C52 16 04	
K113	腸骨窩膿瘍搔爬術	C52 16 04	
K116	脊椎、骨盤骨搔爬術	C23 17 04	部位が頸椎椎体の場合
		C33 17 04	部位が胸椎椎体の場合
		C43 17 04	部位が腰椎椎体の場合
		C4C 17 04	部位が仙椎仙腸関節の場合
		C11 17 04	部位が脊椎で後部搔爬の場合
		C51 17 04	部位が骨盤骨の場合
		C55 17 04	部位が恥骨結合の場合
K117	脊椎脱臼非観血的整復術	C23 30 44	部位が頸椎の場合
		C33 30 44	部位が胸椎の場合
		C43 30 44	部位が腰椎の場合
K117-2	頸椎非観血的整復術	C23 30 44	
K118	脊椎、骨盤脱臼観血的手術	C23 30 04	部位が頸椎の場合
		C33 30 04	部位が胸椎の場合
		C43 30 04	部位が腰椎の場合

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
K119	仙腸関節脱臼観血の手術	C4B 30 04	
K120	恥骨結合離開観血の手術	C55 30 04	
K120-2	恥骨結合離開非観血的整復固定術	C55 30 44	
K121	骨盤骨折非観血的整復術	C51 30 44	
K124	腸骨翼骨折観血の手術	C52 30 04	
K124-2	寛骨臼骨折観血の手術	C51 30 04	
K125	骨盤骨折観血の手術(腸骨翼骨折観血の手術及び寛骨臼骨折観血の手術を除く。)	C51 30 04	
K126 1	脊椎、骨盤骨(軟骨)組織採取術(試験切除によるもの) 棘突起、腸骨翼	C13 14 04	部位が棘突起の場合
		C52 14 04	部位が腸骨翼の場合
		C51 41 04	移植用に骨盤等骨採取術を行った場合
K126 2	脊椎、骨盤骨(軟骨)組織採取術(試験切除によるもの) その他のもの	C11 14 04	
K126-2	自家培養軟骨組織採取術	B12 41 04	
K128	脊椎、骨盤内異物(挿入物)除去術	C11 17 04	脊椎異物の場合
		C51 17 04	骨盤内異物の場合
K131-2	内視鏡下椎弓切除術	C24 11 11	部位が頸椎の場合
		C34 11 11	部位が胸椎の場合
		C44 11 11	部位が腰椎の場合
K133	黄色靭帯骨化症手術	C1A 10 04	
K133-2	後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)	C22 37 04	部位が頸椎の場合
		C32 37 04	部位が胸椎の場合
		C42 37 04	部位が腰椎の場合
K134 1	椎間板摘出術 前方摘出術	C16 11 04	
K134 2	椎間板摘出術 後方摘出術	C16 11 04	
K134 3	椎間板摘出術 側方摘出術	C16 11 04	
K134 4	椎間板摘出術 経皮的髄核摘出術	C16 11 04	
K134-2 1	内視鏡下椎間板摘出(切除)術 前方摘出術	C16 11 11	
K134-2 2	内視鏡下椎間板摘出(切除)術 後方摘出術	C16 11 11	
K134-3	人工椎間板置換術(頸椎)	C11 34 04	
K134-4	椎間板内酵素注入療法	C16 18 14	
K135	脊椎、骨盤腫瘍切除術	C11 11 04	部位が脊椎の良性腫瘍
		C51 11 04	部位が骨盤の良性腫瘍の場合
K136	脊椎、骨盤悪性腫瘍手術	C11 13 04	部位が脊椎の場合
		C51 13 04	部位が骨盤の場合
K136-2	腫瘍脊椎骨全摘術	C11 11 04	
K137	骨盤切断術	C51 12 04	
K138 1	脊椎披裂手術 神経処置を伴うもの	C11 10 04	
K138 2	脊椎披裂手術 その他のもの	C11 10 04	
K139	脊椎骨切り術	C11 32 04	
K140	骨盤骨切り術	C51 32 04	
K141	臼蓋形成手術	C51 30 04	
K141-2	寛骨臼移動術	B91 30 05	
K141-3	脊椎制動術	C11 37 04	
K142 1	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。) 前方椎体固定	C23 38 04	部位が頸椎の場合
		C33 38 04	部位が胸椎の場合
		C43 38 04	部位が腰椎の場合
K142 2	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。) 後方又は後側方固定	C23 38 04	部位が頸椎の場合
		C33 38 04	部位が胸椎の場合
		C43 38 04	部位が腰椎の場合
K142 3	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。) 後方椎体固定	C23 38 04	部位が頸椎の場合
		C33 38 04	部位が胸椎の場合
		C43 38 04	部位が腰椎の場合
K142 4	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。) 前方後方同時固定	C23 38 04	部位が頸椎の場合
		C33 38 04	部位が胸椎の場合
		C43 38 04	部位が腰椎の場合
K142 5	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。) 椎弓切除	C24 11 04	部位が頸椎の場合
		C34 11 04	部位が胸椎の場合
		C44 11 04	部位が腰椎の場合
K142 6	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。) 椎弓形成	C24 37 04	部位が頸椎の場合
		C34 37 04	部位が胸椎の場合
		C44 37 04	部位が腰椎の場合
K142-2 1	脊椎側彎症手術 固定術	C11 38 04	
K142-2 2 イ	脊椎側彎症手術 矯正術 初回挿入	C11 30 04	
K142-2 2 ロ	脊椎側彎症手術 矯正術 交換術	C11 30 04	
K142-2 2 ハ	脊椎側彎症手術 矯正術 伸展術	C11 30 04	
K142-3	内視鏡下脊椎固定術(胸椎又は腰椎前方固定)	C33 38 11	部位が胸椎の場合
		C43 38 11	部位が腰椎の場合
		C11 38 11	部位が胸椎・腰椎の場合
K142-4	経皮的椎体形成術	C12 30 14	

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
K142-5	内視鏡下椎弓形成術	C24 37 11	部位が頸椎の場合
		C34 37 11	部位が胸椎の場合
		C44 37 11	部位が腰椎の場合
K142-6	歯突起骨折骨接合術	C22 30 04	
K142-7	腰椎分離部修復術	C47 30 04	
K142-8	顕微鏡下腰部脊柱管拡大減圧術	C41 37 02	
K143	仙腸関節固定術	C4B 38 04	
K144	体外式脊椎固定術	C11 38 04	
K145	穿頭脳室ドレナージ術	D2K 16 00	
K145-2	皮下髄液貯溜槽留置術	D12 16 04	
K146	頭蓋開溝術	D12 16 00	
K147	穿頭術(トレパナチオン)	D12 16 00	
K147-2	頭蓋内モニタリング装置挿入術	D2J 50 08	
K147-3	緊急穿頭血腫除去術	D2J 17 00	
K148	試験開頭術	D12 14 00	
K149 1	減圧開頭術 キアリ奇形、脊髄空洞症の場合	D12 16 00	
K149 2	減圧開頭術 その他の場合	D41 16 00	
K149-2	後頭蓋窩減圧術	D13 16 02	
K150	脳膿瘍排膿術	D21 16 05	
K151-2	広範囲頭蓋底腫瘍切除・再建術	D2D 11 00	
K152	耳性頭蓋内合併症手術	D2J 11 02	
K152-2	耳科的硬脳膜外膿瘍切開術	D29 16 05	
K153	鼻性頭蓋内合併症手術	D2J 11 02	
K154 1	機能的定位脳手術 片側の場合	D21 17 05	血腫除去術の場合
		D21 50 06	慢性植込電極設置術の場合
		D21 18 06	破壊術の場合
K154 2	機能的定位脳手術 両側の場合	D21 17 05	血腫除去術の場合
		D21 50 06	慢性植込電極設置術の場合
		D21 18 06	破壊術の場合
K154-2	顕微鏡使用によるてんかん手術(焦点切除術、側頭葉切除術、脳梁離断術)	D21 10 02	焦点切除術の場合
		D25 11 02	側頭葉切除術の場合
		D26 15 02	脳梁離断術の場合
K154-3	定位脳腫瘍生検術	D21 14 05	
K154-4	集束超音波による機能的定位脳手術	D2A 31 46	
K155	脳切截術(開頭して行うもの)	D21 15 02	
K156	延髄における脊髄視床路切截術	D2F 15 02	
K157	三叉神経節後線維切截術	D36 15 02	
K158	視神経管開放術	D33 16 02	
K159	顔面神経減圧手術(乳様突起経由)	D38 16 02	
K159-2	顔面神経管開放術	D38 16 02	
K160	脳神経手術(開頭して行うもの)	D31 14 02	
K160-2	頭蓋内微小血管減圧術	T1B 16 02	
K161	頭蓋骨腫瘍摘出術	D12 11 02	
K162	頭皮、頭蓋骨悪性腫瘍手術	D12 11 02	
K163	頭蓋骨膜下血腫摘出術	D12 17 02	
K164 1	頭蓋内血腫除去術(開頭して行うもの) 硬膜外のもの	D29 17 02	
K164 2	頭蓋内血腫除去術(開頭して行うもの) 硬膜下のもの	D28 17 02	
K164 3	頭蓋内血腫除去術(開頭して行うもの) 脳内のもの	D21 17 02	
K164-2	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	D28 16 00	
K164-3	脳血管塞栓(血栓)摘出術	T12 17 00	
K164-4	定位的脳内血腫除去術	D21 17 05	
K164-5	内視鏡下脳内血腫除去術	D21 17 11	
K165	脳内異物摘出術	D21 17 02	
K166	脳膿瘍全摘術	D21 12 02	
K167	頭蓋内腫瘍摘出術	D21 11 02	
K168	脳切除術	D21 11 02	
K169 1	頭蓋内腫瘍摘出術 松果体部腫瘍	D2C 11 02	
K169 2	頭蓋内腫瘍摘出術 その他のもの	D27 11 00	テント上腫瘍の場合
		D2B 11 02	下垂体部腫瘍の場合
		D2D 11 02	後頭蓋窩腫瘍の場合
		D2H 11 02	小脳橋角部腫瘍の場合
		D2K 11 02	脳室腫瘍の場合
K169-2	内視鏡下脳腫瘍生検術	D21 14 11	
K169-3	内視鏡下脳腫瘍摘出術	D21 11 11	
K170	経耳的聴神経腫瘍摘出術	D39 11 00	
K171	経鼻的下垂体腫瘍摘出術	D2B 11 00	
K171-2 1	内視鏡下経鼻的腫瘍摘出術 下垂体腫瘍	D2B 11 31	
K171-2 2	内視鏡下経鼻的腫瘍摘出術 頭蓋底脳腫瘍(下垂体腫瘍を除く)	D2A 11 31	
K172 1	脳動静脈奇形摘出術 単純なもの	T14 10 00	

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
K172 2	脳動静脈奇形摘出術 複雑なもの	T14 10 02	
K173	脳・脳膜脱手術	D21 16 02	
K174 1	水頭症手術 脳室穿破術(神経内視鏡手術によるもの)	D2K 16 11	
K174 2	水頭症手術 シヤント手術	D2K 16 04	
K174 3 イ	水頭症手術 シヤント再建術 頭側のもの	D2K 16 04	
K174 3 ロ	水頭症手術 シヤント再建術 腹側のもの	QA9 16 04	
K174 3 ハ	水頭症手術 シヤント再建術 頭側及び腹側のもの	D2K 16 04	
K174-2	髄液シヤント抜去術	D2K 17 00	
K175 1	脳動脈瘤被包術 1箇所	T12 20 02	
K175 2	脳動脈瘤被包術 2箇所以上	T12 20 02	
K176 1	脳動脈瘤流入血管クリッピング(開頭して行うもの) 1箇所	T12 20 02	
K176 2	脳動脈瘤流入血管クリッピング(開頭して行うもの) 2箇所以上	T12 20 02	
K176-2	脳硬膜血管結紮術	T2C 20 02	
K177 1	脳動脈瘤頸部クリッピング 1箇所	T19 20 02	部位が前交通動脈の場合
		T1B 20 02	部位が脳底動脈の場合
		T18 20 02	部位が前大脳動脈の場合
		T1A 20 02	部位が中大脳動脈の場合
		T16 20 02	部位が後交通動脈の場合
		T2C 20 02	部位が椎骨動脈の場合
		T1C 20 02	部位が後大脳動脈の場合
		T15 20 02	部位が内頸動脈の場合
		T12 20 02	部位が上記以外の動脈の場合
K177 2	脳動脈瘤頸部クリッピング 2箇所以上	T12 20 02	
K178 1	脳血管内手術 1箇所	T12 18 13	脳動脈瘤塞栓術、脳動脈瘤母動脈塞栓術の場合
		T12 33 13	血管内脳血管形成術の場合
K178 2	脳血管内手術 2箇所以上	T12 18 13	脳動脈瘤塞栓術、脳動脈瘤母動脈塞栓術の場合
		T12 33 13	血管内脳血管形成術の場合
K178 3	脳血管内手術 脳血管内ステントを用いるもの	T12 18 13	
K178-2	経皮的脳血管形成術	T14 33 13	
K178-3 1	経皮的選択的脳血栓・塞栓溶解術 頭蓋内脳血管の場合	T14 17 13	
K178-3 2	経皮的選択的脳血栓・塞栓溶解術 頸部脳血管の場合(内頸動脈、椎骨動脈)	T13 17 13	
K178-4	経皮的脳血栓回収術	T12 17 13	
K178-5	経皮的脳血管ステント留置術	T14 33 13	
K179	髄液漏閉鎖術	D21 35 02	
K180 1	頭蓋骨形成手術 頭蓋骨のみなもの	D11 32 02	
K180 2	頭蓋骨形成手術 硬膜形成を伴うもの	D11 32 02	
K180 3	頭蓋骨形成手術 骨移動を伴うもの	D11 32 02	
K181 1	脳刺激装置植込術 片側の場合	D3B 50 0A	疼痛除去用脳刺激装置植込術の場合
		D2A 50 0A	上記でない頭蓋内電極植込術の場合
K181 2	脳刺激装置植込術 両側の場合	D3B 50 0A	疼痛除去用脳刺激装置植込術の場合
		D2A 50 0A	上記でない頭蓋内電極植込術の場合
K181-2	脳刺激装置交換術	D2A 50 0A	
K181-3	頭蓋内電極抜去術	D2A 50 0A	
K181-4	迷走神経刺激装置植込術	D3B 50 0A	
K181-5	迷走神経刺激装置交換術	D3B 50 0A	
K181-6 1	頭蓋内電極植込術 硬膜下電極によるもの	D21 50 1R	
K181-6 2 イ	頭蓋内電極植込術 脳深部電極によるもの 7本未満の電極による場合	D21 50 1R	
K181-6 2 ロ	頭蓋内電極植込術 脳深部電極によるもの 7本以上の電極による場合	D21 50 1R	
K182 1	神経縫合術 指(手、足)	B6S 30 02	手指の場合
		BBS 30 02	足趾の場合
K182 2	神経縫合術 その他のもの	E1G 30 02	
K182-2 1	神経交差縫合術 指(手、足)	B6S 30 00	手指の場合
		BBS 30 00	足趾の場合
K182-2 2	神経交差縫合術 その他のもの	B78 30 00	肋間神経の場合
		E1G 30 00	手指・足趾、肋間神経以外の場合
K182-3 1	神経再生誘導術 指(手、足)	B6S 30 02	手指の場合
		BBS 30 02	足趾の場合
K182-3 2	神経再生誘導術 その他のもの	B14 30 02	
K183	脊髄硬膜切開術	E11 16 02	
K183-2	空洞・くも膜下腔シヤント術(脊髄空洞症に対するもの)	E12 16 04	
K184	減圧脊髄切開術	E11 16 02	
K185	脊髄切截術	E11 15 02	
K186	脊髄硬膜内神経切断術	E11 15 02	
K187	脊髄視床路切截術	E11 15 02	
K188 1	神経剥離術 鏡視下によるもの	E1G 15 11	
K188 2	神経剥離術 その他のもの	B6S 15 00	手指の場合
		BBS 15 00	足趾の場合
		E1G 15 02	手指・足趾以外の場合

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
K188-2	硬膜外腔癒着剥離術	E13 15 14	
K188-3	癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)	E11 15 02	
K189	脊髄ドレーナージ術	E11 16 02	
K190 1	脊髄刺激装置植込術 脊髄刺激電極を留置した場合	E15 50 0A E17 50 0A	頸椎アプローチの場合 腰椎アプローチの場合
K190 2	脊髄刺激装置植込術 ジェネレーターを留置した場合	E13 50 0A	
K190-2	脊髄刺激装置交換術	E11 50 0A	
K190-3	重症痙性麻痺治療薬髄腔内持続注入用植込型ポンプ設置術	E12 50 04	
K190-4	重症痙性麻痺治療薬髄腔内持続注入用植込型ポンプ交換術	E12 50 04	
K190-5	重症痙性麻痺治療薬髄腔内持続注入用植込型ポンプ薬剤再充	E12 50 04	
K190-6 1	仙骨神経刺激装置植込術 脊髄刺激電極を留置した場合	E11 50 1A	
K190-6 2	仙骨神経刺激装置植込術 ジェネレーターを留置した場合	E13 50 0A	
K190-7	仙骨神経刺激装置交換術	E11 50 0A	
K190-8	舌下神経電気刺激装置植込術	D3D 50 0A	
K191 1	脊髄腫瘍摘出術 髄外のもの	E11 11 02	
K191 2	脊髄腫瘍摘出術 髄内のもの	E11 11 04	
K192	脊髄血管腫摘出術	E11 10 02	
K193 1	神経腫切除術 指(手、足)	E1G 10 00	
K193 2	神経腫切除術 その他のもの	E1G 10 02	
K193-2 1	レックリングハウゼン病偽神経腫切除術(露出部) 長径2cm未満	AW1 10 00	
K193-2 2	レックリングハウゼン病偽神経腫切除術(露出部) 長径2cm以上	AW1 10 00	
K193-2 3	レックリングハウゼン病偽神経腫切除術(露出部) 長径4cm以上	AW1 10 00	
K193-3 1	レックリングハウゼン病偽神経腫切除術(露出部以外) 長径3cm	AW1 10 00	
K193-3 2	レックリングハウゼン病偽神経腫切除術(露出部以外) 長径3cm以上6cm未満	AW1 10 00	
K193-3 3	レックリングハウゼン病偽神経腫切除術(露出部以外) 長径6cm	AW1 10 00	
K194 1	神経捻除術 後頭神経	D3E 10 02	
K194 2	神経捻除術 上眼窩神経	D3E 10 02	
K194 3	神経捻除術 眼窩下神経	D3E 10 02	
K194 4	神経捻除術 おとがい神経	D3E 10 00	
K194 5	神経捻除術 下顎神経	D3E 10 00	
K194-2	横隔神経麻痺術	E1G 15 02	
K194-3	眼窩下孔部神経切断術	D44 15 12	
K194-4	おとがい孔部神経切断術	D36 15 12	
K195 1	交感神経切除術 頸動脈周囲	E1B 15 02	
K195 2	交感神経切除術 股動脈周囲	E1D 15 02	
K195-2	尾動脈腺摘出術	E1G 10 02	
K196 1	交感神経節切除術 頸部	E1B 15 02	
K196 2	交感神経節切除術 胸部	E1C 15 02	
K196 3	交感神経節切除術 腰部	E1D 15 02	
K196-2	胸腔鏡下交感神経節切除術(両側)	E1C 15 11	
K196-3	ストッフエル手術	E1G 15 02	
K196-4	閉鎖神経切除術	E1G 15 02	
K196-5	末梢神経遮断(挫滅又は切断)術(浅腓骨神経、深腓骨神経、後脛骨神経又は腓腹神経に限る。)	E1G 15 02	
K196-6	末梢神経ラジオ波焼灼療法(一連として)	B11 18 17	
K197	神経移行術	E1G 43 02	
K198	神経移植術	E1G 43 02	
K199	涙点、涙小管形成術	D48 33 02	
K200	涙嚢切開術	D48 16 02	
K200-2	涙点プラグ挿入術、涙点閉鎖術	D48 35 22	
K201	先天性鼻涙管閉塞開放術	D48 16 02	
K202 1	涙管チューブ挿入術 涙道内視鏡を用いるもの	D4A 16 22	
K202 2	涙管チューブ挿入術 その他のもの	D48 16 22	
K203	涙嚢摘出術	D48 11 02	
K204	涙嚢鼻腔吻合術	D48 33 02 D4A 33 21	下記以外の場合 鼻内法で鼻内視鏡を併施した場合
K205	涙嚢瘻管閉鎖術	D48 35 02	
K206	涙小管形成手術	D48 33 02	
K207	瞼縁縫合術(瞼板縫合術を含む。)	D46 30 02	
K208	麦粒腫切開術	D46 16 02	
K209	眼瞼膿瘍切開術	D46 16 02	
K209-2	外眦切開術	D46 16 12	
K211	睫毛電気分解術(毛根破壊)	D46 18 02	
K212	兎眼矯正術	D46 32 02	
K213	マイボーム腺梗塞摘出術、マイボーム腺切開術	D46 11 02	
K214	霰粒腫摘出術	D46 10 02	
K215	瞼板切除術(巨大霰粒腫摘出)	D46 11 02	
K215-2	眼瞼結膜腫瘍手術	D47 11 02	
K216	眼瞼結膜悪性腫瘍手術	D46 11 02	単純切除の場合

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
		D46 13 02	広汎切除の場合
K217 1	眼瞼内反症手術 縫合法	D46 36 02	
K217 2	眼瞼内反症手術 皮膚切開法	D46 11 02	
K217 3	眼瞼内反症手術 眼瞼下制筋前転法	D46 36 22	
K218	眼瞼外反症手術	D46 36 02	
K219 1	眼瞼下垂症手術 眼瞼挙筋前転法	D46 43 02	
K219 2	眼瞼下垂症手術 筋膜移植法	D46 43 02	
K219 3	眼瞼下垂症手術 その他のもの	D46 30 02	
K220	結膜縫合術	D47 30 02	
K221 1	結膜結石除去術 少数のもの(1眼瞼ごと)	D47 17 02	
K221 2	結膜結石除去術 多数のもの(1眼瞼ごと)	D47 17 12	
K222	結膜下異物除去術	D47 17 12	
K223 1	結膜嚢形成手術 部分形成	D47 32 02	
K223 2	結膜嚢形成手術 皮膚及び結膜の形成	D47 32 02	
K223 3	結膜嚢形成手術 全部形成(皮膚又は粘膜の移植を含む。)	D47 32 02	
K223-2	内眦形成術	D46 32 12	
K224	翼状片手術(弁の移植を要するもの)	D47 10 02	
K225	結膜腫瘍冷凍凝固術	D47 18 42	
K225-2	結膜腫瘍摘出術	D47 11 02	
K225-3	結膜肉芽腫摘除術	D47 33 12	
K225-4	角結膜悪性腫瘍切除術	D47 10 02	
K226	眼窩腫瘍切開術	D42 16 02	
K227	眼窩骨折靱血的手術(眼窩ブローアウト骨折手術を含む。)	D41 30 02	
K228	眼窩骨折整復術	D41 30 02	
K229	眼窩内異物除去術(表在性)	D42 17 02	
K230 1	眼窩内異物除去術(深在性) 視神経周囲、眼窩尖端	D42 17 02	
K230 2	眼窩内異物除去術(深在性) その他	D42 17 02	
K233	眼窩内容除去術	D42 17 02	
K234	眼窩内腫瘍摘出術(表在性)	D42 11 02	
K235	眼窩内腫瘍摘出術(深在性)	D42 11 02	
K236	眼窩悪性腫瘍手術	D42 13 02	
K237	眼窩縁形成手術(骨移植によるもの)	D41 43 00	
K239	眼球内容除去術	D4B 17 02	
K241	眼球摘出術	D4B 12 02	
K242 1	斜視手術 前転法	D45 36 02	
K242 2	斜視手術 後転法	D45 15 02	
K242 3	斜視手術 前転法及び後転法の併施	D45 15 02	
K242 4	斜視手術 斜筋手術	D45 43 02	
K242 5	斜視手術 直筋の前後転法及び斜筋手術の併施	D45 43 02	
K242 6	斜視手術 調節系法	D45 38 02	
K243	義眼台包埋術	D42 30 02	
K244	眼筋移動術	D45 43 02	
K245	眼球摘出及び組織又は義眼台充填術	D4B 12 02	
K246	角膜・強膜縫合術	D4C 30 02	
K248	角膜新生血管手術(冷凍凝固術を含む。)	D4C 17 02	
K248-2	顕微鏡下角膜抜糸術	D4C 17 02	
K249	角膜潰瘍掻爬術、角膜潰瘍焼灼術	D4C 17 02	角膜掻爬術の場合
		D4C 18 12	角膜潰瘍焼灼術の場合
K250	角膜切開術	D4C 16 02	
K252	角膜・強膜異物除去術	D4C 17 02	
K254 1	治療的角膜切除術 エキシマレーザーによるもの(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	D4C 18 02	
K254 2	治療的角膜切除術 その他のもの	D4C 11 02	
K255	強角膜瘻孔閉鎖術	D4C 35 02	
K256	角膜潰瘍結膜被覆術	D4C 30 02	
K257	角膜表層除去併用結膜被覆術	D4C 30 02	
K259	角膜移植術	D4C 43 02	
K259-2	自家培養上皮移植術	D4C 43 02	
K259-3	ヒト羊膜基質使用自家培養口腔粘膜上皮細胞移植術	D7K 43 20	
K260	強膜移植術	D4H 43 02	
K260-2	羊膜移植術	D4B 43 02	
K261	角膜形成手術	D4C 32 02	
K265	虹彩腫瘍切除術	D4J 11 02	
K266	毛様体腫瘍切除術、脈絡膜腫瘍切除術	D4J 11 02	
K268 1	緑内障手術 虹彩切除術	D4J 11 02	
K268 2 イ	緑内障手術 流出路再建術 眼内法	D4D 37 02	
K268 2 ロ	緑内障手術 流出路再建術 その他のもの	D4J 16 02	流出路再建を眼内法以外で行う場合
		D4D 16 02	流出路再建を眼内法以外で行う場合で、凝固切開を伴うもの
K268 3	緑内障手術 濾過手術	D4J 16 02	濾過手術で、切開・剥離を伴わない場合

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
		D4J 15 02	濾過手術で、切開・剥離を伴う場合
K268 4	緑内障手術 緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのないもの)	D4J 31 02	
K268 5	緑内障手術 緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの)	D4J 31 02	
K268 6	緑内障手術 水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術	D4D 31 02	
K268 7	緑内障手術 濾過胞再建術(needle法)	D4J 15 12	
K269	虹彩整復・瞳孔形成術	D4J 30 02	
K270	虹彩光凝固術	D4J 18 42	
K271 1	毛様体光凝固術 眼内内視鏡を用いるもの	D4J 18 11	
K271 2	毛様体光凝固術 その他のもの	D4J 18 42	
K272	毛様体冷凍凝固術	D4J 18 42	
K273	隅角光凝固術	D4J 18 42	
K274	前房、虹彩内異物除去術	D4D 17 02	
K275	網膜復位術	D4G 30 02	
K276 1	網膜光凝固術 通常のもの(一連につき)	D4G 18 42	
K276 2	網膜光凝固術 その他特殊なもの(一連につき)	D4G 18 42	
K277	網膜冷凍凝固術	D4G 18 42	
K277-2	黄斑下手術	D4G 10 12	
K278	硝子体注入・吸引術	D4F 50 12	硝子体注入術あるいは硝子体内注入術・吸引術の場合
		D4F 16 12	硝子体吸引術の場合
K279	硝子体切除術	D4F 12 12	
K280 1	硝子体茎頭顕微鏡下離断術 網膜付着組織を含むもの	D4F 10 12	
K280 2	硝子体茎頭顕微鏡下離断術 その他のもの	D4F 10 12	
K280-2	網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	D4F 13 11	
K281	増殖性硝子体網膜症手術	D4F 10 12	
K281-2	網膜再建術	D4F 31 12	
K282 1 イ	水晶体再建術 眼内レンズを挿入する場合 縫着レンズを挿入す	D4E 12 02	
K282 1 口	水晶体再建術 眼内レンズを挿入する場合 その他のもの	D4E 12 02	
K282 2	水晶体再建術 眼内レンズを挿入しない場合	D4E 12 02	
K282 3	水晶体再建術 計画的後囊切開を伴う場合	D4E 12 02	
K282-2	後発白内障手術	D4E 16 12	
K284	硝子体置換術	D4F 43 12	
K285	耳介血腫開窓術	D53 16 00	
K286 1	外耳道異物除去術 単純なもの	D54 17 22	
K286 2	外耳道異物除去術 複雑なもの	D54 17 22	
K287	先天性耳瘻管摘出術	D52 10 00	
K288	副耳(介)切除術	D52 10 02	
K289	耳茸摘出術	D54 10 22	
K290	外耳道骨増生(外骨腫)切除術	D54 10 02	
K290-2	外耳道骨腫切除術	D54 10 02	
K291	耳介腫瘍摘出術	D53 11 00	
K292	外耳道腫瘍摘出術(外耳道真珠腫手術を含む。)	D54 11 22	
K293	耳介悪性腫瘍手術	D53 11 00	単純切除の場合
		D53 13 02	広汎切除の場合
K294	外耳道悪性腫瘍手術(悪性外耳道炎手術を含む。)	D54 11 02	単純切除の場合
		D54 13 02	広汎切除の場合
K295	耳後瘻孔閉鎖術	D52 35 00	
K296 1	耳介形成手術 耳介軟骨形成を要するもの	D53 32 00	
K296 2	耳介形成手術 耳介軟骨形成を要しないもの	D53 32 00	
K297	外耳道形成手術	D54 32 02	
K298	外耳道造設術・閉鎖症手術	D54 32 02	
K299 1	小耳症手術 軟骨移植による耳介形成手術	D53 32 00	
K299 2	小耳症手術 耳介挙上	D53 32 00	
K300	鼓膜切開術	D56 16 22	
K301	鼓室開放術	D57 16 02	
K302	上鼓室開放術	D59 16 02	
K303	上鼓室乳突洞開放術	D59 16 02	
K304	乳突洞開放術(アントロミー)	D57 16 02	
K305	乳突削開術	D57 16 02	
K305-2	植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術	D5N 34 02	
K306	錐体部手術	D5M 10 02	
K308	耳管内チューブ挿入術	D5B 16 32	
K308-2	耳管狭窄ビニール管挿入術	D5B 33 32	
K308-3	耳管用補綴材挿入術	D5B E1 02	
K309	鼓膜(排液、換気)チューブ挿入術	D56 16 32	
K310	乳突充填術	D57 10 02	
K311	鼓膜穿孔閉鎖術(一連につき)	D56 43 02	
K312	鼓膜鼓室肉芽切除術	D56 10 02	
K313	中耳、側頭骨腫瘍摘出術	D57 11 02	

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
K314 1	中耳悪性腫瘍手術 切除	D57 11 02	単純切除の場合
		D57 13 02	広汎切除の場合
K314 2	中耳悪性腫瘍手術 側頭骨摘出術	D57 13 02	
K315	鼓室神経叢切除、鼓索神経切断術	D57 15 02	
K316	S状洞血栓(静脈炎)手術	T1E 17 02	
K317	中耳根治手術	D57 10 02	
K318	鼓膜形成手術	D56 43 02	
K319 1	鼓室形成手術 耳小骨温存術	D57 10 02	
K319 2	鼓室形成手術 耳小骨再建術	D58 10 02	
K319-2 1	経外耳道的内視鏡下鼓室形成術 上鼓室開放を伴わないもの	D57 10 21	
K319-2 2	経外耳道的内視鏡下鼓室形成術 上鼓室・乳突洞開放を伴うもの	D57 10 21	
K320	アブミ骨摘出術・可動化手術	D58 34 02	
K320-2	人工中耳植込術	D57 34 02	
K321	内耳開窓術	D5K 16 02	
K322	経迷路の内耳道開放術	D5J 16 02	
K323	内リンパ嚢開放術	D5E 16 02	
K325 1	迷路摘出術 部分摘出(膜迷路摘出術を含む。)	D5C 11 02	
K325 2	迷路摘出術 全摘出	D5C 12 02	
K327	内耳窓閉鎖術	D5L 35 02	
K328	人工内耳植込術	D5H 34 02	
K328-2	植込型骨導補聴器移植術	D57 34 02	
K328-3	植込型骨導補聴器交換術	D57 50 02	
K329	鼻中隔膿瘍切開術	D63 16 20	
K330	鼻中隔血腫切開術	D63 16 20	
K331	鼻腔粘膜焼灼術	D64 18 20	
K331-2	下甲介粘膜焼灼術	D64 18 21	
K331-3	下甲介粘膜レーザー焼灼術(両側)	D64 18 20	
K333	鼻骨骨折整復固定術	D62 30 20	
K333-2	鼻骨脱臼整復術	D62 30 20	
K333-3	鼻骨骨折徒手整復術	D62 30 40	
K334	鼻骨骨折観血の手術	D62 30 00	
K334-2	鼻骨変形治癒骨折矯正術	D62 32 00	
K335	鼻中隔骨折観血の手術	D63 30 20	
K335-2	上顎洞鼻内手術(スツルマン氏、吉田氏変法を含む。)	D68 11 21	
K335-3	上顎洞鼻外手術	D68 11 20	
K336	鼻内異物摘出術	D64 17 21	
K337	鼻前庭嚢胞摘出術	D64 10 20	
K338 1	鼻甲介切除術 高周波電気凝固法によるもの	D64 18 21	
K338 2	鼻甲介切除術 その他のもの	D64 37 20	
K339	粘膜下鼻甲介骨切除術	D64 10 20	
K340	鼻茸摘出術	D64 10 20	
K340-3	内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅰ型(副鼻腔自然口開窓術)	D65 37 21	
K340-4	内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅱ型(副鼻腔単洞手術)	D65 37 21	
K340-5	内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅲ型(選択的(複数洞)副鼻腔手術)	D65 37 21	
K340-6	内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅳ型(汎副鼻腔手術)	D65 37 21	
K340-7	内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅴ型(拡大副鼻腔手術)	D65 37 21	
K341	上顎洞性後鼻孔ポリープ切除術	D64 10 21	
K342	鼻副鼻腔腫瘍摘出術	D65 11 01	
K343 1	鼻副鼻腔悪性腫瘍手術 切除	D65 13 21	
K343 2	鼻副鼻腔悪性腫瘍手術 全摘	D65 11 00	単純切除の場合
		D65 13 00	広汎切除の場合
		D65 13 02	頭蓋底郭清を伴う広汎切除の場合
K343-2 1	経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術 頭蓋底郭清、再建を伴うもの	D65 13 31	
K343-2 2	経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術 その他のもの	D65 12 21	
K344	経鼻腔的翼突管神経切除術	D64 15 21	
K345	萎縮性鼻炎手術(両側)	D64 10 21	
K346 1	後鼻孔閉鎖症手術 単純なもの(膜性閉鎖)	D64 37 20	
K346 2	後鼻孔閉鎖症手術 複雑なもの(骨性閉鎖)	D64 37 21	
K347	鼻中隔矯正術	D63 32 20	
K347-2	変形外鼻手術	D61 32 00	
K347-3	内視鏡下鼻中隔手術Ⅰ型(骨、軟骨手術)	D63 32 21	
K347-4	内視鏡下鼻中隔手術Ⅱ型(粘膜手術)	D63 32 21	
K347-5	内視鏡下鼻中隔手術Ⅲ型(下鼻甲介手術)	D64 37 21	
K347-6	内視鏡下鼻中隔手術Ⅳ型(鼻腔内手術)	D64 37 21	
K347-7	内視鏡下鼻中隔手術Ⅴ型(鼻孔閉鎖症手術)	D64 37 21	
K347-8	内視鏡下鼻中隔手術Ⅵ型(前彎矯正術)	D63 32 21	
K347-9	内視鏡下鼻中隔手術Ⅶ型(外鼻形成術)	D63 32 21	
K350	前頭洞充填術	D66 43 21	

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
K352	上顎洞根治手術	D68 11 20	
K352-2	鼻内上顎洞根治手術	D68 11 20	
K352-3	副鼻腔炎術後出血止血法	D68 20 21	
K353	鼻内篩骨洞根治手術	D67 37 21	
K356-2	鼻外前頭洞手術	D66 11 01	
K357	鼻内蝶形洞根治手術	D69 37 21	
K362-2	経上顎洞的顎動脈結紮術	T26 20 00	
K364	汎副鼻腔根治手術	D65 11 01	
K365	経上顎洞的翼突管神経切除術	D64 15 21	
K367	咽後膿瘍切開術	D7W 16 20	
K368	扁桃周囲膿瘍切開術	D7M 16 20	
K369 1	咽頭異物摘出術 簡単なもの	D7H 17 20	
K369 2	咽頭異物摘出術 複雑なもの	D7H 17 20	
K370	アデノイド切除術	D7N 11 20	
K371 1	上咽頭腫瘍摘出術 経口腔によるもの	D7F 11 20	
K371 2	上咽頭腫瘍摘出術 経鼻腔によるもの	D7F 11 20	
K371 3	上咽頭腫瘍摘出術 経副鼻腔によるもの	D7F 11 20	
K371 4	上咽頭腫瘍摘出術 外切開によるもの	D7F 11 00	
K371-2 1	上咽頭ポリープ摘出術 経口腔によるもの	D7F 10 20	
K371-2 2	上咽頭ポリープ摘出術 経鼻腔によるもの	D7F 10 20	
K371-2 3	上咽頭ポリープ摘出術 経副鼻腔によるもの	D7F 10 20	
K371-2 4	上咽頭ポリープ摘出術 外切開によるもの	D7F 10 00	
K372 1	中咽頭腫瘍摘出術 経口腔によるもの	D7P 11 20	
K372 2	中咽頭腫瘍摘出術 外切開によるもの	D7P 11 00	
K373 1	下咽頭腫瘍摘出術 経口腔によるもの	D81 11 20	
K373 2	下咽頭腫瘍摘出術 外切開によるもの	D81 11 00	
K374	咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	D7P 11 20	部位が中咽頭、口峡で、単純切除の場合
		D7P 13 00	部位が中咽頭、口峡で、広汎切除の場合
		D7H 11 20	部位が扁桃で、単純切除の場合
		D7H 13 00	部位が扁桃で、広汎切除の場合
		D7P 11 20	部位が下咽頭で、単純切除の場合
		D7P 13 00	部位が下咽頭で、広汎切除の場合
		D81 11 20	部位が咽頭の広範囲に及び、部位が同定できない場合で、単純切除の場合
		D81 13 00	部位が咽頭の広範囲に及び、部位が同定できない場合で、広汎切除の場合
K374-2	鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	D7F 11 21	通常の鏡視下手術で、部位が上咽頭の場合
		D7P 11 21	通常の鏡視下手術で、部位が中咽頭の場合
		D81 11 21	通常の鏡視下手術で、部位が下咽頭の場合
		D7P 13 2R	ロボット支援下手術の場合
K375 1	鼻咽腔線維腫手術 切除	D7F 11 20	
K375 2	鼻咽腔線維腫手術 摘出	D7F 10 20	
K375-2	鼻咽腔閉鎖術	D7F 35 20	
K376	上咽頭悪性腫瘍手術	D7F 11 20	単純切除の場合
		D7F 13 00	広汎切除の場合
K377 1	口蓋扁桃手術 切除	D7M 11 20	
K377 2	口蓋扁桃手術 摘出	D7M 11 20	
K378	舌扁桃切除術	D7M 11 20	
K379 1	副咽頭間隙腫瘍摘出術 経頭部によるもの	D7G 11 00	
K379 2	副咽頭間隙腫瘍摘出術 経側頭下窩によるもの(下顎離断によるものを含む。)	D7G 11 00	
K379-2 1	副咽頭間隙悪性腫瘍摘出術 経頭部によるもの	D7G 13 00	
K379-2 2	副咽頭間隙悪性腫瘍摘出術 経側頭下窩によるもの(下顎離断によるものを含む。)	D7G 13 00	
K380	過長茎状突起切除術	D51 11 20	
K381	上咽頭形成手術	D7F 37 20	
K382	咽頭瘻閉鎖術	D7H 35 00	
K382-2	咽頭皮膚瘻孔閉鎖術	D7H 35 00	
K383	喉頭切開・截開術	D83 16 00	
K384	喉頭膿瘍切開術	D8E 16 00	
K384-2	深頭部膿瘍切開術	D8E 16 00	
K385	喉頭浮腫乱切術	D83 16 22	
K386	気管切開術	P33 16 00	
K386-2	輪状甲状靱帯切開術	D8A 16 00	
K387	喉頭粘膜焼灼術(直達鏡によるもの)	D83 18 21	
K388	喉頭粘膜下異物挿入術	D83 43 00	
K388-2	喉頭粘膜下軟骨片挿入術	D87 43 20	
K388-3	内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)	D82 18 20	
K389 1	喉頭・声帯ポリープ切除術 間接喉頭鏡によるもの	D87 10 20	
K389 2	喉頭・声帯ポリープ切除術 直達喉頭鏡又はファイバースコープ	D87 10 21	

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
K390 1	喉頭異物摘出術 直達鏡によらないもの	D83 17 20	
K390 2	喉頭異物摘出術 直達鏡によるもの	D83 17 21	
K391 1	気管異物除去術 直達鏡によるもの	P32 17 21	
K391 2	気管異物除去術 開胸手術によるもの	P34 17 00	
K392	喉頭蓋切除術	D84 11 21	ファイバースコープ下の場合
		D84 11 20	ファイバースコープ下以外の場合
K392-2	喉頭蓋嚢腫摘出術	D84 10 21	直達喉頭鏡又はファイバースコープ下の場合
		D84 10 20	直達喉頭鏡、ファイバースコープ下以外の場合
K393 1	喉頭腫瘍摘出術 間接喉頭鏡によるもの	D83 11 20	
K393 2	喉頭腫瘍摘出術 直達鏡によるもの	D83 11 21	
K394 1	喉頭悪性腫瘍手術 切除	D83 11 00	単純切除の場合
		D83 13 00	広汎切除の場合
K394 2	喉頭悪性腫瘍手術 全摘	D83 12 00	単純切除の場合
		D83 13 00	広汎切除の場合
K394-2 1	鏡視下喉頭悪性腫瘍手術 切除	D83 11 21	鏡視下手術の場合
		D83 12 2R	ロボット支援下手術の場合
K394-2 2	鏡視下喉頭悪性腫瘍手術 全摘	D83 11 21	鏡視下手術の場合
		D83 12 2R	ロボット支援下手術の場合
K395	喉頭、下咽頭悪性腫瘍手術(頸部、胸部、腹部等の操作による再建を含む。)	D83 12 00	
K396	気管切開孔閉鎖術	P33 35 00	
K396-2	気管縫合術	P33 35 00	
K397	喉頭横隔膜切除術(ステント挿入固定術を含む。)	D8A 33 00	
K398 1	喉頭狭窄症手術 前方開大術	D8A 33 00	
K398 2	喉頭狭窄症手術 前壁形成手術	D8A 33 00	
K398 3	喉頭狭窄症手術 Tチューブ挿入術	D8A 33 00	
K399	気管狭窄症手術	P33 33 00	
K400 1	喉頭形成手術 人工形成材料挿置術、軟骨片挿置術	D83 43 00	
K400 2	喉頭形成手術 筋弁転位術、軟骨転位術、軟骨除去術	D83 43 00	
K400 3	喉頭形成手術 チタンブリッジを用いたもの	D83 43 00	
K401	気管口狭窄拡大術	P33 33 00	
K402	縦隔気管口形成手術	P34 33 00	
K403 1	気管形成手術(管状気管、気管移植等) 頸部からのもの	P34 33 00	
K403 2	気管形成手術(管状気管、気管移植等) 開胸又は胸骨正中切開によるもの	P34 33 00	
K403-2 1	嚥下機能手術 輪状咽頭筋切断術	D82 15 00	
K403-2 2	嚥下機能手術 喉頭拳上術	D83 36 00	
K403-2 3	嚥下機能手術 喉頭気管分離術	D83 15 00	
K403-2 4	嚥下機能手術 喉頭全摘術	D83 11 00	
K404 1	拔牙手術(1歯につき) 乳歯	D7C 10 00	
K404 2	拔牙手術(1歯につき) 前歯	D7C 10 00	
K404 3	拔牙手術(1歯につき) 臼歯	D7C 10 00	
K404 4	拔牙手術(1歯につき) 埋伏歯	D7C 10 00	
K406 1	口蓋腫瘍摘出術 口蓋粘膜に限局するもの	D71 11 20	
K406 2	口蓋腫瘍摘出術 口蓋骨に及ぶもの	D71 11 20	
K407 1	顎・口蓋裂形成手術 軟口蓋のみのもの	D71 43 00	
K407 2	顎・口蓋裂形成手術 硬口蓋に及ぶもの	D71 43 00	
K407 3 イ	顎・口蓋裂形成手術 顎裂を伴うもの 片側	D71 43 00	
K407 3 ロ	顎・口蓋裂形成手術 顎裂を伴うもの 両側	D71 43 00	
K407-2	軟口蓋形成手術	D7J 33 20	
K408	口腔底膿瘍切開術	D7D 16 20	舌膿瘍の場合
		D7K 16 20	口腔底膿瘍の場合
		D7L 16 20	口峽膿瘍の場合
K409	口腔底腫瘍摘出術	D7K 11 20	
K410	口腔底悪性腫瘍手術	D7K 11 20	単純切除の場合
		D7K 13 00	広汎切除の場合
K411	頬粘膜腫瘍摘出術	D7L 10 20	
K412	頬粘膜悪性腫瘍手術	D7L 11 20	単純切除の場合
		D7L 13 00	広汎切除の場合
K413 1	舌腫瘍摘出術 粘液嚢胞摘出術	D7D 11 20	
K413 2	舌腫瘍摘出術 その他のもの	D7D 11 20	
K414	舌根甲状腺腫摘出術	D8D 10 00	
K414-2	甲状舌嚢嚢胞摘出術	D8D 10 00	
K415 1	舌悪性腫瘍手術 切除	D7D 11 20	
K415 2	舌悪性腫瘍手術 亜全摘	D7D 12 00	
K418	舌形成手術(巨舌症手術)	D7D 32 00	
K418-2	舌繫痕痕性短縮矯正術	D7D 32 00	
K419	頬、口唇、舌小帯形成手術	D73 32 00	口唇小帯の場合
		D7D 32 00	舌小帯の場合
K421 1	口唇腫瘍摘出術 粘液嚢胞摘出術	D73 11 00	

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
K421 2	口唇腫瘍摘出術 その他のもの	D73 11 00	
K422	口唇悪性腫瘍手術	D73 11 00	単純切除の場合
		D73 13 00	広汎切除の場合
K423 1	頬腫瘍摘出術 粘液嚢胞摘出術	D7L 10 00	
K423 2	頬腫瘍摘出術 その他のもの	D7L 11 00	
K424	頬悪性腫瘍手術	D7L 11 00	単純切除の場合
		D7L 13 00	広汎切除の場合
K425	口腔、顎、顔面悪性腫瘍切除術	D7Q 13 00	
K426 1	口唇裂形成手術(片側) 口唇のみの場合	D73 32 00	
K426 2	口唇裂形成手術(片側) 口唇裂鼻形成を伴う場合	D73 32 00	
K426 3	口唇裂形成手術(片側) 鼻腔底形成を伴う場合	D73 32 00	
K426-2 1	口唇裂形成手術(両側) 口唇のみの場合	D73 32 00	
K426-2 2	口唇裂形成手術(両側) 口唇裂鼻形成を伴う場合	D73 32 00	
K426-2 3	口唇裂形成手術(両側) 鼻腔底形成を伴う場合	D73 32 00	
K427	頬骨骨折観血的整復術	D75 30 00	
K427-2	頬骨変形治癒骨折矯正術	D75 32 00	頬骨骨折の場合
		D77 32 00	上顎骨折の場合
K428	下顎骨折非観血的整復術	D7A 30 40	
K429 1	下顎骨折観血的手術 片側	D7A 30 00	
K429 2	下顎骨折観血的手術 両側	D7A 30 00	
K429-2 1	下顎関節突起骨折観血的手術 片側	D7A 30 00	
K429-2 2	下顎関節突起骨折観血的手術 両側	D7A 30 00	
K430	顎関節脱臼非観血的整復術	D7B 30 40	
K431	顎関節脱臼観血的手術	D7B 30 00	
K432	上顎骨折非観血的整復術	D77 30 40	
K433	上顎骨折観血的手術	D77 30 00	
K434	顔面多発骨折観血的手術	D74 30 00	
K434-2	顔面多発骨折変形治癒矯正術	D74 32 00	
K435	術後性上顎嚢胞摘出術	D77 10 00	
K436 1	顎骨腫瘍摘出術 長径3cm未満	D76 10 00	
K436 2	顎骨腫瘍摘出術 長径3cm以上	D76 10 00	
K437	下顎骨部分切除術	D7A 11 00	
K438	下顎骨離断術	D7A 11 00	
K439 1	下顎骨悪性腫瘍手術 切除	D7A 11 00	
K439 2	下顎骨悪性腫瘍手術 切断(おとがい部を含むもの)	D7A 12 00	
K439 3	下顎骨悪性腫瘍手術 切断(その他のもの)	D7A 11 00	
K440	上顎骨切除術	D77 11 00	
K441	上顎骨全摘術	D77 12 00	
K442 1	上顎骨悪性腫瘍手術 搔爬	D77 11 20	
K442 2	上顎骨悪性腫瘍手術 切除	D77 11 20	口腔アプローチの場合
		D77 12 00	皮膚アプローチの場合
K442 3	上顎骨悪性腫瘍手術 全摘	D77 11 00	全摘出の場合
		D77 13 00	広汎全摘・頭蓋底郭清の場合
K443 1	上顎骨形成術 単純な場合	D77 32 00	
K443 2	上顎骨形成術 複雑な場合及び2次的再建の場合	D77 32 00	
K443 3	上顎骨形成術 骨移動を伴う場合	D77 32 00	
K444 1	下顎骨形成術 おとがい形成の場合	D7A 32 00	
K444 2	下顎骨形成術 短縮又は伸長の場合	D7A 32 00	
K444 3	下顎骨形成術 再建の場合	D7A 32 00	
K444 4	下顎骨形成術 骨移動を伴う場合	D7A 32 00	
K444-2 1	下顎骨延長術 片側	D7A 32 00	
K444-2 2	下顎骨延長術 両側	D7A 32 00	
K445	顎関節形成術	D7B 30 00	
K445-2	顎関節人工関節全置換術	D7B 34 00	
K446 1 イ	顎関節授動術 徒手の授動術 単独の場合	D7B 30 10	
K446 1 ロ	顎関節授動術 徒手の授動術 バンピングを併用した場合	D7B 30 10	
K446 1 ハ	顎関節授動術 徒手の授動術 関節腔洗浄療法を併用した場合	D7B 30 10	
K446 2	顎関節授動術 顎関節鏡下授動術	D7B 15 11	剥離授動術の場合
		D7B 31 11	骨軟骨形成術の場合
K446 3	顎関節授動術 開放授動術	D7B 30 00	
K447 1	顎関節円板整位術 顎関節鏡下円板整位術	D7B 30 11	
K447 2	顎関節円板整位術 開放円板整位術	D7B 10 00	切除の場合
		D7B 30 00	整位の場合
		D7B 34 00	形成置換の場合
K448	がま腫切開術	D7E 16 20	
K449	唾液腺膿瘍切開術	D7E 16 20	
K450 1	唾石摘出術(一連につき) 表在性のもの	D7E 17 20	
K450 2	唾石摘出術(一連につき) 深在性のもの	D7E 17 20	液腺管内視鏡下を用いない場合

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
K450 3	唾石摘出術(一連につき) 腺体内に存在するもの	D7E 17 21	液腺管内視鏡下を用いる場合
		D7E 17 20	液腺管内視鏡下を用いない場合
		D7E 17 21	液腺管内視鏡下を用いる場合
K451	がま腫摘出術	D7E 10 20	
K452	舌下腺腫瘍摘出術	D7E 11 00	
K453	顎下腺腫瘍摘出術	D7E 11 00	
K454	顎下腺摘出術	D7E 12 00	
K455	顎下腺悪性腫瘍手術	D7E 12 00	単純切除の場合
		D7E 13 00	広汎切除の場合
K457 1	耳下腺腫瘍摘出術 耳下腺浅葉摘出術	D7E 11 00	
K457 2	耳下腺腫瘍摘出術 耳下腺深葉摘出術	D7E 11 00	
K458 1	耳下腺悪性腫瘍手術 切除	D7E 11 00	
K458 2	耳下腺悪性腫瘍手術 全摘	D7E 12 00	単純切除の場合
		D7E 13 00	広汎切除の場合
K459	唾液腺管形成手術	D7E 43 00	
K460 1	唾液腺管移動術 上顎洞内へのもの	D7E 43 00	
K460 2	唾液腺管移動術 結膜囊内へのもの	D7E 43 00	
K461 1	甲状腺部分切除術、甲状腺腫瘍摘出術 片葉のみの場合	D8B 10 00	
K461 2	甲状腺部分切除術、甲状腺腫瘍摘出術 両葉の場合	D8B 10 00	
K461-2 1	内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術 片葉のみの場合	D8B 11 11	
K461-2 2	内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術 両葉の場合	D8B 12 11	
K462	バセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)	D8B 10 00	亜全摘の場合
		D8B 12 00	全摘の場合
K462-2	内視鏡下バセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)	D8B 11 11	亜全摘の場合
		D8B 12 11	全摘の場合
K463 1	甲状腺悪性腫瘍手術 切除(頸部外側区域郭清を伴わないもの)	D8B 11 00	
K463 2	甲状腺悪性腫瘍手術 切除(頸部外側区域郭清を伴うもの)	D8B 13 00	
K463 3	甲状腺悪性腫瘍手術 全摘及び亜全摘(頸部外側区域郭清を伴わないもの)	D8B 12 00	
K463 4	甲状腺悪性腫瘍手術 全摘及び亜全摘(片側頸部外側区域郭清を伴うもの)	D8B 13 00	
K463 5	甲状腺悪性腫瘍手術 全摘及び亜全摘(両側頸部外側区域郭清を伴うもの)	D8B 13 00	
K463-2 1	内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術 切除	D8B 11 11	
K463-2 2	内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術 全摘及び亜全摘	D8B 13 11	
K464 1	副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術 副甲状腺(上皮小体)摘	D8C 12 00	
K464 2	副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術 副甲状腺(上皮小体)全摘術(一部筋肉移植)	D8C 43 00	
K464-2	内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術	D8C 11 11	
K465	副甲状腺(上皮小体)悪性腫瘍手術(広汎)	D8C 13 00	
K466	斜角筋切断術	D8D 15 00	
K467	頸癭、頸囊摘出術	D8D 10 00	
K468	頸筋切除術	D8D 10 00	
K469 1	頸部郭清術 片側	D8D 13 00	
K469 2	頸部郭清術 両側	D8D 13 00	
K470	頸部悪性腫瘍手術	D8D 11 00	単純切除の場合
		D8D 13 00	広汎切除の場合
K470-2	頭頸部悪性腫瘍光線力学療法	D8D 18 00	
K471	筋性斜頸手術	D8D 15 00	
K472	乳腺腫瘍切開術	P62 16 00	
K474 1	乳腺腫瘍摘出術 長径5cm未満	P62 11 00	
K474 2	乳腺腫瘍摘出術 長径5cm以上	P62 11 00	
K474-2	乳管腺葉区域切除術	P62 11 00	
K474-3 1	乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき) マンモグラフィー又は超音波装置によるもの	P62 14 17	
K474-3 2	乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき) MRIによるもの	P62 16 16	
K475	乳房切除術	P61 12 00	
K475-2	乳癌冷凍凝固摘出術	P61 11 07	
K476 1	乳腺悪性腫瘍手術 単純乳房切除術(乳腺全摘術)	P61 12 11	
K476 2	乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴わないもの)	P61 11 00	
K476 3	乳腺悪性腫瘍手術 乳房切除術(腋窩部郭清を伴わないもの)	P61 12 00	
K476 4	乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴うもの(内視鏡下によるものを含む。))	P61 13 00	
K476 5	乳腺悪性腫瘍手術 乳房切除術(腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの)・胸筋切除を併施しないもの	P61 13 00	
K476 6	乳腺悪性腫瘍手術 乳房切除術(腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの)・胸筋切除を併施するもの	P61 13 00	
K476 7	乳腺悪性腫瘍手術 拡大乳房切除術(胸骨旁、鎖骨上、下窩など郭清を併施するもの)	P61 13 00	
K476 8	乳腺悪性腫瘍手術 乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)	P61 12 00	
K476 9	乳腺悪性腫瘍手術 乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの)	P61 13 00	
K476-2	陥没乳頭形成術、再建乳房乳頭形成術	P63 32 00	

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
K476-3 1	動脈(皮)弁及び筋(皮)弁を用いた乳房再建術(乳房切除後) 一次的に行うもの	P61 32 00	
K476-3 2	動脈(皮)弁及び筋(皮)弁を用いた乳房再建術(乳房切除後) 二次的に行うもの	P61 32 00	
K476-4	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	P61 32 00	
K476-5	乳腺悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法(一連として)	P61 18 17	
K477	胸壁膿瘍切開術	B74 16 00	
K478	肋骨・胸骨カリエス又は肋骨骨髓炎手術	B75 17 00 B7A 17 00	部位が肋骨の場合 部位が胸骨の場合
K480	胸壁冷膿瘍手術	B74 16 00	
K480-2	流注膿瘍切開搔爬術	B74 16 00	
K481	肋骨骨折観血的手術	B75 30 04	
K482 1	肋骨切除術 第1肋骨	B76 11 00	
K482 2	肋骨切除術 その他の肋骨	B77 11 00	
K483	胸骨切除術、胸骨骨折観血手術	B7A 30 04 B7A 11 00	骨折観血的修復固定術の場合 胸骨切除術の場合
K484 1	胸壁悪性腫瘍摘出術 胸壁形成手術を併施するもの	B74 13 00	
K484 2	胸壁悪性腫瘍摘出術 その他のもの	B74 13 00	
K484-2 1	胸骨悪性腫瘍摘出術 胸壁形成手術を併施するもの	B7A 13 00	
K484-2 2	胸骨悪性腫瘍摘出術 その他のもの	B7A 13 00	
K485	胸壁腫瘍摘出術	B74 11 00	
K486	胸壁瘻手術	B74 16 00	
K487 1	漏斗胸手術 胸骨挙上法によるもの	B74 32 00	
K487 2	漏斗胸手術 胸骨翻転法によるもの	B74 32 00	
K487 3	漏斗胸手術 胸腔鏡によるもの	B74 32 11	
K487 4	漏斗胸手術 胸骨挙上用固定具抜去術	B74 17 00	
K488	試験開胸術	P21 14 00	
K488-2	試験的開胸開腹術	P12 14 00	
K488-3	胸腔鏡下試験開胸術	P21 14 11	
K488-4	胸腔鏡下試験切除術	P21 14 11	
K493	骨膜外、胸膜外充填術	P13 30 00	
K494	胸腔内(胸膜内)血腫除去術	P12 20 00	
K494-2	胸腔鏡下胸腔内(胸膜内)血腫除去術	P12 20 11	
K496 1	醗膿胸膜、胸膜肺胝切除術 1肺葉に相当する範囲以内のもの	P13 17 00	
K496 2	醗膿胸膜、胸膜肺胝切除術 1肺葉に相当する範囲を超えるもの	P13 17 00	
K496-2	胸腔鏡下醗膿胸膜又は胸膜肺胝切除術	P13 17 11	
K496-3 1	胸膜外肺剥皮術 1肺葉に相当する範囲以内のもの	P13 17 00	
K496-3 2	胸膜外肺剥皮術 1肺葉に相当する範囲を超えるもの	P13 17 00	
K496-4	胸腔鏡下膿胸腔搔爬術	P12 17 11	
K496-5	経皮的膿胸ドレナージ術	P12 16 15	
K497	膿胸腔有茎筋肉弁充填術	P12 43 00	
K497-2	膿胸腔有茎大網充填術	P12 43 00	
K498 1	胸郭形成手術(膿胸手術の場合) 肋骨切除を主とするもの	B79 10 00	
K498 2	胸郭形成手術(膿胸手術の場合) 胸膜肺胝切除を併施するもの	B79 10 00	
K499	胸郭形成手術(肺切除後遺残腔を含む。)	B79 10 00	
K501	乳糜胸手術	VV2 30 00	
K501-2	胸腔・腹腔シャントバルブ設置術	VV2 16 14	
K501-3	胸腔鏡下胸腔結紮術(乳糜胸手術)	VV2 30 11	
K502	縦隔腫瘍、胸腺摘出術	P44 11 00 P41 10 00	部位が胸腺の場合 部位が胸腺以外の縦隔の場合
K502-2 1	縦隔切開術 頭部からのもの、経食道によるもの	P41 16 00	
K502-2 2	縦隔切開術 経胸腔によるもの、経腹によるもの	P41 16 00	
K502-3	胸腔鏡下縦隔切開術	P41 16 11	
K502-4	拡大胸腺摘出術	P44 12 00	
K502-5	胸腔鏡下拡大胸腺摘出術	P44 12 11 P44 12 1R	胸腔鏡下手術の場合 ロボット支援下手術の場合
K503	縦隔郭清術	V42 12 00	
K504 1	縦隔悪性腫瘍手術 単純摘出	P41 11 00	
K504 2	縦隔悪性腫瘍手術 広汎摘出	P41 13 00	
K504-2	胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術	P41 11 11 P41 11 1R P41 13 11 P41 13 1R	単純切除で、胸腔鏡下手術の場合 単純切除で、ロボット支援下手術の場合 広汎切除で、胸腔鏡下手術の場合 広汎切除で、ロボット支援下手術の場合
K507	肺膿瘍切開排膿術	P12 16 00 P21 16 00	膿胸腔開窓術の場合 切開排膿の場合
K508	気管支狭窄拡張術(気管支鏡によるもの)	P35 33 21	
K508-2 1	気管支・気管支ステント留置術 硬性鏡によるもの	P31 33 21	
K508-2 2	気管支・気管支ステント留置術 軟性鏡によるもの	P31 33 21	
K508-3	気管支熱形成術	P35 18 21	
K508-4	気管支バルブ留置術	P35 35 21	

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
K509 1	気管支異物除去術 直達鏡によるもの	P35 17 21	
K509 2	気管支異物除去術 開胸手術によるもの	P35 17 00	
K509-2	気管支肺泡洗浄術	P35 50 21	
K509-3	気管支内視鏡的放射線治療用マーカー留置術	P35 50 21	
K509-4	気管支瘻孔閉鎖術	P35 30 21	
K510	気管支腫瘍摘出術(気管支鏡又は気管支ファイバースコープによるもの)	P35 10 21	
K510-2 1	光線力学療法 早期肺がん(0期又は1期に限る。)に対するもの	P31 18 21	
K510-2 2	光線力学療法 その他のもの	P31 18 21	
K510-3	気管支鏡下レーザー腫瘍焼灼術	P34 18 21	部位が気管の場合
		P35 18 21	部位が気管支の場合
K511 1	肺切除術 楔状部分切除	P21 36 00	肺縫縮術の場合
		P21 11 00	肺切除術の場合
K511 2	肺切除術 区域切除(1肺葉に満たないもの)	P21 11 00	
K511 3	肺切除術 肺葉切除	P21 12 00	
K511 4	肺切除術 複合切除(1肺葉を超えるもの)	P21 12 00	
K511 5	肺切除術 1側肺全摘	P21 12 00	
K511 6	肺切除術 気管支形成を伴う肺切除	P21 12 00	
K513 1	胸腔鏡下肺切除術 肺嚢胞手術(楔状部分切除によるもの)	P21 11 11	
K513 2	胸腔鏡下肺切除術 部分切除	P21 11 11	
K513 3	胸腔鏡下肺切除術 区域切除	P21 11 11	胸腔鏡下手術の場合
		P21 11 1R	ロボット支援下手術の場合
K513 4	胸腔鏡下肺切除術 肺葉切除又は1肺葉を超えるもの	P21 12 11	胸腔鏡下手術の場合
		P21 11 1R	ロボット支援下手術の場合
K513-2	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術	P44 11 11	胸腺の場合(重症筋無力症を除く)で、通常の胸腔鏡下手術の場合
		P41 10 11	胸腺以外の縦隔良性腫瘍の場合で、通常の胸腔鏡下手術の場合
		P41 11 1R	縦隔良性腫瘍で、ロボット支援下手術の場合
K513-3	胸腔鏡下良性胸壁腫瘍手術	B74 11 11	
K513-4	胸腔鏡下肺縫縮術	P21 36 11	
K514 1	肺悪性腫瘍手術 部分切除	P21 11 00	
K514 2	肺悪性腫瘍手術 区域切除	P21 11 00	単純切除の場合
		P21 13 00	広汎切除の場合
K514 3	肺悪性腫瘍手術 肺葉切除又は1肺葉を超えるもの	P21 12 00	単純切除の場合
		P21 13 00	広汎切除の場合
K514 4	肺悪性腫瘍手術 肺全摘	P21 12 00	単純切除の場合
		P21 13 00	広汎切除の場合
K514 5	肺悪性腫瘍手術 隣接臓器合併切除を伴う肺切除	P21 13 00	
K514 6	肺悪性腫瘍手術 気管支形成を伴う肺切除	P21 13 00	
K514 7	肺悪性腫瘍手術 気管分岐部切除を伴う肺切除	P21 13 00	
K514 8	肺悪性腫瘍手術 気管分岐部再建を伴う肺切除	P21 13 00	
K514 9	肺悪性腫瘍手術 胸膜肺全摘	P13 13 00	
K514 10	肺悪性腫瘍手術 壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)	P13 17 00	
K514-2 1	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 部分切除	P21 11 11	
K514-2 2	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 区域切除	P21 13 11	胸腔鏡下手術の場合
		P21 13 1R	ロボット支援下手術の場合
K514-2 3	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 肺葉切除又は1肺葉を超えるもの	P21 13 11	胸腔鏡下手術の場合
		P21 13 1R	ロボット支援下手術の場合
K514-2 4	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 気管支形成を伴う肺切除	P21 13 11	
K514-2 5	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 肺全摘	P21 12 11	
K514-3	移植用肺採取術(死体)(両側)	P21 42 00	
K514-4	同種死体肺移植術	P21 43 00	
K514-5	移植用部分肺採取術(生体)	P21 42 00	
K514-6	生体部分肺移植術	P21 43 0B	
K514-7 1	肺悪性腫瘍及び胸腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法(一連として) 2cm以内のもの	P12 18 15	
K514-7 2	肺悪性腫瘍及び胸腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法(一連として) 2cmを超えるもの	P12 18 15	
K515	肺剥皮術	P13 17 00	
K516	気管支瘻閉鎖術	P35 35 00	
K517	肺縫縮術	P21 36 00	
K518 1	気管支形成手術 楔状切除術	P35 33 00	
K518 2	気管支形成手術 輪状切除術	P35 33 00	
K519	先天性気管狭窄症手術	P32 33 00	気管を端々吻合する場合
		P32 43 00	肋軟骨グラフトを行う場合
K520 1	食道縫合術(穿孔、損傷) 頸部手術	Q13 30 00	
K520 2	食道縫合術(穿孔、損傷) 開胸手術	Q14 30 00	
K520 3	食道縫合術(穿孔、損傷) 開腹手術	Q15 30 00	
K520 4	食道縫合術(穿孔、損傷) 内視鏡によるもの	Q12 30 21	
K521 1	食道周囲膿瘍切開誘導術 開胸手術	Q12 16 00	

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
K521 2	食道周囲膿瘍切開誘導術 胸骨切開によるもの	Q12 16 00	
K521 3	食道周囲膿瘍切開誘導術 その他のもの(頭部手術を含む。)	Q13 16 00	頭部切開の場合
		Q12 16 00	上記以外の場合
K522 1	食道狭窄拡張術 内視鏡によるもの	Q12 33 21	
K522 2	食道狭窄拡張術 食道ブジー法	Q12 33 24	
K522 3	食道狭窄拡張術 拡張用バルーンによるもの	Q12 33 24	
K522-2	食道ステント留置術	Q12 33 24	透視下手術の場合
		Q12 33 21	内視鏡下手術の場合
K522-3	食道空置バイパス作成術	Q12 12 00	
K523 1	食道異物摘出術 頭部手術によるもの	Q13 17 00	
K523 2	食道異物摘出術 開胸手術によるもの	Q12 17 00	
K523 3	食道異物摘出術 開腹手術によるもの	Q15 17 00	
K523-2	硬性内視鏡下食道異物摘出術	Q12 17 21	
K524 1	食道憩室切除術 頭部手術によるもの	Q13 10 00	
K524 2	食道憩室切除術 開胸によるもの	Q12 10 00	
K524-2	胸腔鏡下食道憩室切除術	Q12 10 11	
K524-3	腹腔鏡下食道憩室切除術	Q12 10 11	
K525 1	食道切除再建術 頭部、胸部、腹部の操作によるもの	Q12 12 04	
K525 2	食道切除再建術 胸部、腹部の操作によるもの	Q12 12 00	
K525 3	食道切除再建術 腹部の操作によるもの	Q12 12 00	
K525-2 1	胸壁外皮膚管形成吻合術 頭部、胸部、腹部の操作によるもの	Q12 34 04	
K525-2 2	胸壁外皮膚管形成吻合術 胸部、腹部の操作によるもの	Q12 34 00	
K525-2 3	胸壁外皮膚管形成吻合術 腹部の操作によるもの	Q12 34 00	
K525-2 4	胸壁外皮膚管形成吻合術 バイパスのみ作成する場合	Q12 34 00	
K525-3	非開胸食道除去術(消化管再建術を併施するもの)	Q12 12 00	
K526 1	食道腫瘍摘出術 内視鏡によるもの	Q12 10 21	
K526 2	食道腫瘍摘出術 開胸又は開腹手術によるもの	Q12 10 00	
K526 3	食道腫瘍摘出術 腹腔鏡下、縦隔鏡下又は胸腔鏡下によるもの	Q12 10 11	
K526-2 1	内視鏡的食道粘膜切除術 早期悪性腫瘍粘膜切除術	Q12 11 21	
K526-2 2	内視鏡的食道粘膜切除術 早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術	Q12 11 21	
K526-3	内視鏡的表在性食道悪性腫瘍光線力学療法	Q12 18 21	
K526-4	内視鏡的食道悪性腫瘍光線力学療法	Q12 18 21	
K527 1	食道悪性腫瘍手術(単に切除のみのもの) 頭部食道の場合	Q13 11 00	
K527 2	食道悪性腫瘍手術(単に切除のみのもの) 胸部食道の場合	Q14 11 00	
K527-2	食道切除術(単に切除のみのもの)	Q14 12 00	
K528	先天性食道閉鎖症根治手術	Q12 33 00	腸管間置術を行わない場合
		Q12 43 00	腸管間置術を行う場合
K528-2	先天性食道狭窄症根治手術	Q12 33 00	
K528-3	胸腔鏡下先天性食道閉鎖症根治手術	Q12 33 11	
K529 1	食道悪性腫瘍手術(消化管再建手術を併施するもの) 頭部、胸部、腹部の操作によるもの	Q12 13 00	
K529 2	食道悪性腫瘍手術(消化管再建手術を併施するもの) 胸部、腹部の操作によるもの	Q12 13 00	
K529 3	食道悪性腫瘍手術(消化管再建手術を併施するもの) 腹部の操作によるもの	Q12 13 00	
K529-2 1	胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術 頭部、胸部、腹部の操作によるもの	Q12 13 11	胸腔鏡下手術の場合
		Q12 13 1R	ロボット支援下手術の場合
K529-2 2	胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術 胸部、腹部の操作によるもの	Q12 13 11	通常の胸腔鏡下手術の場合
		Q12 13 1R	ロボット支援下手術の場合
K529-3	縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術	Q12 13 11	通常の胸腔鏡下手術の場合
		Q12 13 1R	ロボット支援下手術の場合
K529-4 1	再建胃管悪性腫瘍手術 頭部、胸部、腹部の操作によるもの	Q1A 13 00	
K529-4 2	再建胃管悪性腫瘍手術 頭部、腹部の操作によるもの	Q1A 13 01	
K529-5	喉頭温存頸部食道悪性腫瘍手術(消化管再建手術を併施するもの)	Q13 13 02	
K530	食道アカラシア形成手術	Q16 33 00	
K530-2	腹腔鏡下食道アカラシア形成手術	Q16 33 11	
K530-3	内視鏡下筋層切開術	Q16 33 21	
K531 1	食道切除後2次の再建術 皮弁形成によるもの	Q12 12 00	
K531 2	食道切除後2次の再建術 消化管利用によるもの	Q12 12 00	
K532 1	食道・胃静脈瘤手術 血行遮断術を主とするもの	T67 20 00	
K532 2	食道・胃静脈瘤手術 食道離断術を主とするもの	T67 15 00	
K532-2	食道静脈瘤手術(開腹)	Q22 20 00	
K532-3	腹腔鏡下食道静脈瘤手術(胃上部血行遮断術)	Q22 20 11	
K533	食道・胃静脈瘤硬化療法(内視鏡によるもの)(一連として)	T67 18 21	
K533-2	内視鏡的食道・胃静脈瘤結紮術	T68 20 21	
K533-3	内視鏡的胃静脈 瘤組織接着剤注入術	T68 18 21	
K534 1	横隔膜縫合術 経胸又は経腹	P51 30 00	
K534 2	横隔膜縫合術 経胸及び経腹	P51 30 00	
K534-2 1	横隔膜レラクスチオ手術 経胸又は経腹	P51 36 00	
K534-2 2	横隔膜レラクスチオ手術 経胸及び経腹	P51 36 00	

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
K534-3	腹腔鏡下(腹腔鏡下を含む。)横隔膜縫合術	P51 30 11	
K534-4	腹腔鏡下横隔膜電極植込術	P51 50 11	
K535 1	胸腹裂孔ヘルニア手術 経胸又は経腹	P51 35 00	
K535 2	胸腹裂孔ヘルニア手術 経胸及び経腹	P51 35 00	
K536	後胸骨ヘルニア手術	P51 35 00	
K537 1	食道裂孔ヘルニア手術 経胸又は経腹	Q16 36 00	
K537 2	食道裂孔ヘルニア手術 経胸及び経腹	Q16 36 00	
K537-2	腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア手術	Q16 36 11	
K538	心膜縫合術	N13 30 00	
K538-2	心筋縫合止血術(外傷性)	N12 20 00	
K539	心膜切開術	N13 16 00	
K539-2	心膜嚢胞、心膜腫瘍切除術	N13 10 00	
K539-3	胸腔鏡下心膜開窓術	N13 16 11	
K540	収縮性心膜炎手術	N13 15 00	
K541	試験開心術	N11 14 00	
K542	心腔内異物除去術	N1D 17 00	
K543	心房内血栓除去術	N1A 17 00	
K544 1イ	心腫瘍摘出術、心腔内粘液腫摘出術 単独のもの 胸腔鏡下に	N11 10 11	
K544 1ロ	心腫瘍摘出術、心腔内粘液腫摘出術 単独のもの その他のも	N11 10 00	
K544 2	心腫瘍摘出術、心腔内粘液腫摘出術 冠動脈血行再建術(1吻合)を伴うもの	N11 10 00	
K544 3	心腫瘍摘出術、心腔内粘液腫摘出術 冠動脈血行再建術(2吻合以上)を伴うもの	N11 10 00	
K545	開胸心臓マッサージ	N11 50 00	
K546 1	経皮的冠動脈形成術 急性心筋梗塞に対するもの	T32 33 13	
K546 2	経皮的冠動脈形成術 不安定狭心症に対するもの	T32 33 13	
K546 3	経皮的冠動脈形成術 その他のもの	T32 33 13	
K547	経皮的冠動脈粥腫切除術	T32 10 13	
K548 1	経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの) 高速回転式 経皮経管アテレクトミーカテーテルによるもの	T32 33 23	
K548 2	経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの) エキシマレー ザー血管形成用カテーテルによるもの	T32 33 13	
K548 3	経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの) アテローム切 除アブレーション式血管形成用カテーテルによるもの	T32 33 13	
K549 1	経皮的冠動脈ステント留置術 急性心筋梗塞に対するもの	T32 33 13	
K549 2	経皮的冠動脈ステント留置術 不安定狭心症に対するもの	T32 33 13	
K549 3	経皮的冠動脈ステント留置術 その他のもの	T32 33 13	
K550	冠動脈内血栓溶解療法	T32 17 13	
K550-2	経皮的冠動脈血栓吸引術	T32 17 13	
K551 1	冠動脈形成術(血栓内膜摘除) 1箇所のもの	T32 10 00	
K551 2	冠動脈形成術(血栓内膜摘除) 2箇所以上のもの	T32 10 00	
K552 1	冠動脈、大動脈バイパス移植術 1吻合のもの	T32 33 00	
K552 2	冠動脈、大動脈バイパス移植術 2吻合以上のもの	T32 33 00	
K552-2 1	冠動脈、大動脈バイパス移植術(人工心肺を使用しないもの) 1 吻合のもの	T32 33 00	
K552-2 2	冠動脈、大動脈バイパス移植術(人工心肺を使用しないもの) 2 吻合以上のもの	T32 33 00	
K553 1	心室瘤切除術(梗塞切除を含む。) 単独のもの	N19 10 00	
K553 2	心室瘤切除術(梗塞切除を含む。) 冠動脈血行再建術(1吻合)	N19 10 00	
K553 3	心室瘤切除術(梗塞切除を含む。) 冠動脈血行再建術(2吻合以 上)を伴うもの	N19 10 00	
K553-2 1	左室形成術、心室中隔穿孔閉鎖術、左室自由壁破裂修復術 単 独のもの	N17 33 00 N1G 33 00	心室中隔穿孔閉鎖術の場合 左室形成術又は左室自由壁破裂修復術の場合
K553-2 2	左室形成術、心室中隔穿孔閉鎖術、左室自由壁破裂修復術 冠 動脈血行再建術(1吻合)を伴うもの	N17 33 00 N1G 33 00	心室中隔穿孔閉鎖術の場合 左室形成術又は左室自由壁破裂修復術の場合
K553-2 3	左室形成術、心室中隔穿孔閉鎖術、左室自由壁破裂修復術 冠 動脈血行再建術(2吻合以上)を伴うもの	N17 33 00 N1G 33 00	心室中隔穿孔閉鎖術の場合 左室形成術又は左室自由壁破裂修復術の場合
K554 1	弁形成術 1弁のもの	N1M 33 00 N1L 33 00 N1J 33 00 N1K 33 00	大動脈弁の場合 僧帽弁の場合 三尖弁の場合 肺動脈弁の場合
K554 2	弁形成術 2弁のもの	N1N 33 00	
K554 3	弁形成術 3弁のもの	N1N 33 00	
K554-2 1	胸腔鏡下弁形成術 1弁のもの	N1M 33 11 N1M 33 1R N1L 33 11 N1L 33 1R N1J 33 11 N1J 33 1R N1K 33 11 N1K 33 1R	大動脈弁の場合で、胸腔鏡下手術の場合 大動脈弁の場合で、ロボット支援下手術の場合 僧帽弁の場合で、胸腔鏡下手術の場合 僧帽弁の場合で、ロボット支援下手術の場合 三尖弁の場合で、胸腔鏡下手術の場合 三尖弁の場合で、ロボット支援下手術の場合 肺動脈弁の場合で、胸腔鏡下手術の場合 肺動脈弁の場合で、ロボット支援下手術の場合
K554-2 2	胸腔鏡下弁形成術 2弁のもの	N1N 33 11	胸腔鏡下手術の場合

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
K555 1	弁置換術 1弁のもの	N1N 33 1R	ロボット支援下手術の場合
		N1M 33 00	大動脈弁の場合
		N1L 33 00	僧帽弁の場合
		N1J 33 00	三尖弁の場合
		N1K 33 00	肺動脈弁の場合
K555 2	弁置換術 2弁のもの	N1N 33 00	
K555 3	弁置換術 3弁のもの	N1N 33 00	
K555-2 1	経カテーテル大動脈弁置換術 経心尖大動脈弁置換術	N1M 33 04	
K555-2 2	経カテーテル大動脈弁置換術 経皮的動脈弁置換術	N1M 33 14	
K555-2 3	経カテーテル弁置換術 経皮的肺動脈弁置換術	N1K 33 14	
K555-3 1	胸腔鏡下弁置換術 1弁のもの	N1M 33 11	胸腔鏡下手術で、大動脈弁の場合
		N1L 33 11	胸腔鏡下手術で、僧帽弁の場合
		N1J 33 11	胸腔鏡下手術で、三尖弁の場合
		N1K 33 11	胸腔鏡下手術で、肺動脈弁の場合
		N1H 34 1R	ロボット支援下手術の場合
K555-3 2	胸腔鏡下弁置換術 2弁のもの	N1N 33 11	胸腔鏡下手術の場合
		N1N 34 1R	ロボット支援下手術の場合
K556	大動脈弁狭窄直视下切開術	N1M 33 00	
K556-2	経皮的動脈弁拡張術	N1M 33 13	
K557	大動脈弁上狭窄手術	N1G 33 00	
K557-2	大動脈弁下狭窄切除術(線維性、筋肥厚性を含む。)	N1G 33 00	
K557-3	弁輪拡大術を伴う大動脈弁置換術	N1M 33 00	
K557-4	ダムス・ケー・スタンセル(DKS)吻合を伴う大動脈狭窄症手術	T52 33 00	
K558	ロス手術(自己肺動脈弁組織による大動脈基部置換術)	N1M 33 00	
K559	閉鎖式僧帽弁交連切開術	N1L 33 00	
K559-2	経皮的僧帽弁拡張術	N1L 33 13	
K559-3	経皮的僧帽弁クリップ術	N1L 33 13	
K560 1 イ	大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。)上行大動脈 大動脈弁置換術又は形成術を伴うもの	T52 34 00	
K560 1 ロ	大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。)上行大動脈 人工弁置換術を伴う大動脈基部置換術	T52 34 00	
K560 1 ハ	大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。)上行大動脈 自己弁温存型大動脈基部置換術	T52 34 00	
K560 1 ニ	大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。)上行大動脈 その他	T52 34 00	
K560 2	大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。)弓部大動脈	T56 34 00	
K560 3 イ	大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。)上行大動脈及び弓部大動脈の同時手術 大動脈弁置換術又は形成術を伴うもの	T52 34 00	
K560 3 ロ	大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。)上行大動脈及び弓部大動脈の同時手術 人工弁置換術を伴う大動脈基部置換術	T52 34 00	
K560 3 ハ	大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。)上行大動脈及び弓部大動脈の同時手術 自己弁温存型大動脈基部置換術	T52 34 00	
K560 3 ニ	大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。)上行大動脈及び弓部大動脈の同時手術 その他のもの	T52 34 00	
K560 4	大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。)下行大動脈	T5F 34 00	
K560 5	大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。)胸腹部大動脈	T55 34 00	
K560 6	大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。)腹部大動脈(分枝血管の再建を伴うもの)	T72 34 00	
K560 7	大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。)腹部大動脈(その他)	T72 34 00	
K560-2 1	オープン型ステントグラフト内挿術 弓部大動脈	T56 33 00	
K560-2 2 イ	オープン型ステントグラフト内挿術 上行大動脈及び弓部大動脈の同時手術 大動脈弁置換術又は形成術を伴うもの	T52 33 00	
K560-2 2 ロ	オープン型ステントグラフト内挿術 上行大動脈及び弓部大動脈の同時手術 人工弁置換術を伴う大動脈基部置換術	T52 33 00	
K560-2 2 ハ	オープン型ステントグラフト内挿術 上行大動脈及び弓部大動脈の同時手術 自己弁温存型大動脈基部置換術	T52 33 00	
K560-2 2 ニ	オープン型ステントグラフト内挿術 上行大動脈及び弓部大動脈の同時手術 その他のもの	T52 33 00	
K560-2 3	オープン型ステントグラフト内挿術 下行大動脈	T5F 33 00	
K561 1	ステントグラフト内挿術 血管損傷の場合	TF3 30 13	
K561 2 イ	ステントグラフト内挿術 1以外の場合 胸部大動脈	T54 33 13	
K561 2 ロ	ステントグラフト内挿術 1以外の場合 腹部大動脈	T72 33 13	
K561 2 ハ	ステントグラフト内挿術 1以外の場合 腸骨動脈	T84 33 13	
K562 1	動脈管開存症手術 経皮的動脈管開存閉鎖術	T48 35 14	
K562 2	動脈管開存症手術 動脈管開存閉鎖術(直視下)	T48 15 00	
K562-2	胸腔鏡下動脈管開存閉鎖術	T48 35 11	
K563	肺動脈絞扼術	T41 36 00	
K564	血管輪又は重複大動脈弓離断手術	T56 15 00	
K565	巨大側副血管手術(肺内肺動脈統合術)	T47 33 00	
K566	体動脈肺動脈短絡手術(フロロック手術、ウォーターストン手術)	N11 33 00	
K567 1	大動脈縮窄(離断)症手術 単独のもの	T56 33 00	
K567 2	大動脈縮窄(離断)症手術 心室中隔欠損症手術を伴うもの	N11 33 00	
K567 3	大動脈縮窄(離断)症手術 複雑心奇形手術を伴うもの	N11 33 00	
K567-2	経皮的動脈成形術	T51 33 13	

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
K568 1	大動脈肺動脈中隔欠損症手術 単独のもの	N11 33 00	
K568 2	大動脈肺動脈中隔欠損症手術 心内奇形手術を伴うもの	N11 33 00	
K569	三尖弁手術(エプスタイン氏奇形、ウール氏病手術)	N11 33 00	
K570 1	肺動脈狭窄症、純型肺動脈弁閉鎖症手術 肺動脈弁切開術(単	N1K 33 00	
K570 2	肺動脈狭窄症、純型肺動脈弁閉鎖症手術 右室流出路形成又は肺動脈形成を伴うもの	N1F 33 00	
K570-2	経皮的肺動脈弁拡張術	N1K 33 13 N1K 33 10	経皮・経カテーテル的に行った場合 上記以外の場合
K570-3	経皮的肺動脈形成術	T41 33 13	
K570-4	経皮的肺動脈穿通・拡大術	T41 33 13	
K571 1	肺静脈還流異常症手術 部分肺静脈還流異常	N11 33 00	
K571 2 イ	肺静脈還流異常症手術 総肺静脈還流異常 心臓型	N11 33 00	
K571 2 ロ	肺静脈還流異常症手術 総肺静脈還流異常 その他	N11 33 00	
K572	肺静脈形成術	N11 33 00	
K573 1 イ	心房中隔欠損作成術 経皮的心房中隔欠損作成術 ラッシュキンド	N16 33 13	
K573 1 ロ	心房中隔欠損作成術 経皮的心房中隔欠損作成術 スタティック	N16 33 13	
K573 2	心房中隔欠損作成術 心房中隔欠損作成術	N16 33 00	
K574 1	心房中隔欠損閉鎖術 単独のもの	N16 35 00	
K574 2	心房中隔欠損閉鎖術 肺動脈弁狭窄を合併するもの	N16 35 00	
K574-2	経皮的心房中隔欠損閉鎖術	N16 35 13	
K574-3	経皮的卵円孔開存閉鎖術	N16 35 1H	
K574-4	胸腔鏡下心房中隔欠損閉鎖術	N16 35 11	
K575	三心房心手術	N11 33 00	
K576 1	心室中隔欠損閉鎖術 単独のもの	N17 35 00	
K576 2	心室中隔欠損閉鎖術 肺動脈絞扼術後肺動脈形成を伴うもの	N17 35 00	
K576 3	心室中隔欠損閉鎖術 大動脈弁形成を伴うもの	N17 35 00	
K576 4	心室中隔欠損閉鎖術 右室流出路形成を伴うもの	N17 35 00	
K577 1	バルサルバ洞動脈瘤手術 単独のもの	N11 33 00	
K577 2	バルサルバ洞動脈瘤手術 大動脈閉鎖不全症手術を伴うもの	N11 33 00	
K578	右室二腔症手術	N11 33 00	
K579 1	不完全型房室中隔欠損症手術 心房中隔欠損パッチ閉鎖術(単	N18 33 00	
K579 2	不完全型房室中隔欠損症手術 心房中隔欠損パッチ閉鎖術及び弁形成術を伴うもの	N11 33 00	
K579-2 1	完全型房室中隔欠損症手術 心房及び心室中隔欠損パッチ閉鎖術を伴うもの	N11 33 00	
K579-2 2	完全型房室中隔欠損症手術 ファロー四徴症手術を伴うもの	N18 33 00	
K580 1	ファロー四徴症手術 右室流出路形成術を伴うもの	N11 33 00	
K580 2	ファロー四徴症手術 末梢肺動脈形成術を伴うもの	N11 33 00	
K581 1	肺動脈閉鎖症手術 単独のもの	N11 33 00	
K581 2	肺動脈閉鎖症手術 ラステリ手術を伴うもの	N11 33 00	
K581 3	肺動脈閉鎖症手術 巨大側副血管術を伴うもの	N11 33 00	
K582 1	両大血管右室起始症手術 単独のもの	N11 33 00	
K582 2	両大血管右室起始症手術 右室流出路形成を伴うもの	N11 33 00	
K582 3	両大血管右室起始症手術 心室中隔欠損閉鎖術及び大血管血流転換を伴うもの(タウシヒ・ビンク奇形手術)	N11 33 00	
K583 1	大血管転位症手術 心房内血流転換手術(マスタード・セニング	N11 33 00	
K583 2	大血管転位症手術 大血管血流転換術(ジャチーン手術)	N11 33 00	
K583 3	大血管転位症手術 心室中隔欠損閉鎖術を伴うもの	N11 33 00	
K583 4	大血管転位症手術 ラステリ手術を伴うもの	N11 33 00	
K584 1	修正大血管転位症手術 心室中隔欠損パッチ閉鎖術	N11 33 00	
K584 2	修正大血管転位症手術 根治手術(ダブルスイッチ手術)	N11 33 00	
K585	総動脈幹症手術	T31 33 00	
K586 1	単心室症又は三尖弁閉鎖症手術 両方向性グレン手術	N11 33 00	
K586 2	単心室症又は三尖弁閉鎖症手術 フォンタン手術	N11 33 00	
K586 3	単心室症又は三尖弁閉鎖症手術 心室中隔造成術	N11 33 00	
K587	左心低形成症候群手術(ノルウッド手術)	N11 33 00	
K588	冠動静脈瘻開胸的遮断術	T32 35 00	
K589	冠動脈起始異常症手術	T32 33 00	
K590	心室憩室切除術	N19 10 00	
K591	心臓脱手術	N11 30 00	
K592	肺動脈血栓除去術	T41 17 00	
K592-2	肺動脈血栓内膜摘除術	T41 10 00	
K593	肺静脈血栓除去術	T46 17 00	
K594 1	不整脈手術 副伝導路切断術	N1E 15 00	
K594 2	不整脈手術 心室頻拍症手術	N1E 15 00	
K594 3	不整脈手術 メイズ手術	N1E 15 00	
K594 4 イ	不整脈手術 左心耳閉鎖術 開胸手術によるもの	N1C 35 00	
K594 4 ロ	不整脈手術 左心耳閉鎖術 胸腔鏡下によるもの	N1C 35 11	
K594 4 ハ	不整脈手術 左心耳閉鎖術 経カテーテル的手術によるもの	N1C 35 14	
K594-2	肺静脈隔離術	N1E 15 00	

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
K595 1	経皮的カテーテル心筋焼灼術 心房中隔穿刺又は心外膜アプローチを伴うもの	N12 18 14	
K595 2	経皮的カテーテル心筋焼灼術 その他のもの	N12 18 14	
K595-2	経皮的中隔心筋焼灼術	N17 18 13	
K596	体外ペースメーカー移植術	N1E 50 14	
K597 1	ペースメーカー移植術 心筋電極の場合	N1E 50 00	
K597 2	ペースメーカー移植術 経静脈電極の場合	N1E 50 04	
K597 3	ペースメーカー移植術 リードレスペースメーカーの場合	N1E 50 14	
K597-2	ペースメーカー交換術	N1E 50 00	
K597-3	植込型心電図記録計移植術	N1E 50 00	
K597-4	植込型心電図記録計摘出術	N1E 50 00	
K598 1	両心室ペースメーカー移植術 心筋電極の場合	N1E 50 00	
K598 2	両心室ペースメーカー移植術 経静脈電極の場合	N1E 50 00	
K598-2 1	両心室ペースメーカー交換術 心筋電極の場合	N1E 50 00	
K598-2 2	両心室ペースメーカー交換術 経静脈電極の場合	N1E 50 00	
K599 1	植込型除細動器移植術 心筋リードを用いるもの	N1E 50 00	
K599 2	植込型除細動器移植術 経静脈リードを用いるもの	N1E 50 00	
K599 3	植込型除細動器移植術 皮下植込型リードを用いるもの	N1E 50 04	
K599-2 1	植込型除細動器交換術 心筋リードを用いるもの	N1E 50 00	
K599-2 2	植込型除細動器交換術 その他のもの	N1E 50 00	
K599-3 1	両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器移植術 心筋電極の場合	N1E 50 00	
K599-3 2	両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器移植術 経静脈電極の場合	N1E 50 00	
K599-4 1	両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器交換術 心筋電極の場合	N1E 50 00	
K599-4 2	両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器交換術 経静脈電極の場合	N1E 50 00	
K599-5 1	経静脈電極除去術 レーザーシースを用いるもの	N1E 17 00	
K599-5 2	経静脈電極除去術 レーザーシースを用いないもの	N1E 17 14	
K600 1	大動脈バルーンパンピング法(IABP法)(1日につき) 初日	T54 50 13	
K600 2	大動脈バルーンパンピング法(IABP法)(1日につき) 2日目以降	T54 50 90	
K601 1	人工心臓(1日につき) 初日	N11 50 00	
K601 2	人工心臓(1日につき) 2日目以降	N11 50 90	
K601-2 1	体外式膜型人工心臓(1日につき) 初日	N11 50 00	
K601-2 2	体外式膜型人工心臓(1日につき) 2日目以降	N11 50 90	
K602 1	経皮的心臓補助法(1日につき) 初日	N11 50 13	
K602 2	経皮的心臓補助法(1日につき) 2日目以降	N11 50 90	
K602-2 1	経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)(1日につき)	N11 50 13	
K602-2 2	経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)(1日につき) 2日目以降	N11 50 90	
K603 1	補助人工心臓(1日につき) 初日	N11 50 00	
K603 2	補助人工心臓(1日につき) 2日目以降30日目まで	N11 50 90	
K603 3	補助人工心臓(1日につき) 31日目以降	N11 50 90	
K603-2 1	小児補助人工心臓(1日につき) 初日	N11 50 00	
K603-2 2	小児補助人工心臓(1日につき) 2日目以降30日目まで	N11 50 90	
K603-2 3	小児補助人工心臓(1日につき) 31日目以降	N11 50 90	
K604-2 1	植込型補助人工心臓(非拍動流型) 初日(1日につき)	N11 50 00	
K604-2 2	植込型補助人工心臓(非拍動流型) 2日目以降30日目まで(1日)	N11 50 90	
K604-2 3	植込型補助人工心臓(非拍動流型) 31日目以降90日目まで(1日)	N11 50 90	
K604-2 4	植込型補助人工心臓(非拍動流型) 91日目以降(1日につき)	N11 50 90	
K605	移植用心臓採取術	N11 42 00	
K605-2	同種心臓移植術	N11 43 00	
K605-3	移植用心臓採取術	N11 42 00	
K605-4	同種心臓移植術	N11 43 00	
K605-5	骨格筋由来細胞シート心表面移植術	N12 43 00	
K606	血管露出術	TC1 50 00	
K607 1	血管結紮術 開胸又は開腹を伴うもの	T51 20 00 T71 20 00	開胸の場合 開腹の場合
K607 2	血管結紮術 その他のもの	TF2 20 00	
K607-2	血管縫合術(簡単なもの)	TF2 30 00	
K607-3	上腕動脈表在化法	TD3 50 00	
K608 1	動脈血栓除去術 開胸又は開腹を伴うもの	T51 17 00 T71 17 00	開胸の場合 開腹の場合
K608 2	動脈血栓除去術 その他のもの(観血的なもの)	TF2 17 00	
K608-3	内シャント血栓除去術	TF5 17 00	
K609 1	動脈血栓内膜摘出術 大動脈に及ぶもの	T53 10 00	
K609 2	動脈血栓内膜摘出術 内頸動脈	T2D 10 00	
K609 3	動脈血栓内膜摘出術 その他のもの	TF3 10 00	
K609-2	経皮的頸動脈ステント留置術	T13 33 13	
K610 1	動脈形成術、吻合術 頭蓋内動脈	T14 43 00	
K610 2	動脈形成術、吻合術 胸腔内動脈(大動脈を除く。)	T41 33 00 T51 33 00	肺動脈の場合 肺動脈以外の胸腔内動脈の場合
K610 3	動脈形成術、吻合術 腹腔内動脈(大動脈を除く。)	T71 33 00	

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
K610 4	動脈形成術、吻合術 指(手、足)の動脈	TDA 33 02	
K610 5	動脈形成術、吻合術 その他の動脈	T2D 33 00	頭動脈の場合
		T2D 33 13	内頸動脈の場合
		TDE 33 00	大腿一膝窩動脈の場合
		TF2 33 00	その他の動脈の場合
K610-2	脳新生血管造成術	T14 43 00	
K610-4	四肢の血管吻合術	TF5 33 00	
K610-5	血管吻合術及び神経再接合術(上腕動脈、正中神経及び尺骨神	TD3 33 00	
K611 1	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテー	QA1 50 04	
K611 2	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテー	TC1 50 04	
K611 3	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテー	TF5 50 04	
K612 1 イ	末梢動脈静脈瘻造設術 内シャント造設術 単純なもの	TF7 33 00	
K612 1 ロ	末梢動脈静脈瘻造設術 内シャント造設術 静脈転位を伴うもの	TF7 33 00	
K612 2	末梢動脈静脈瘻造設術 その他のもの	TF5 33 00	
K613	腎血管性高血圧症手術(経皮的腎血管拡張術)	T81 33 13	
K614 1	血管移植術、バイパス移植術 大動脈	T53 33 03	
K614 2	血管移植術、バイパス移植術 胸腔内動脈	T51 33 03	
K614 3	血管移植術、バイパス移植術 腹腔内動脈	T71 33 03	
K614 4	血管移植術、バイパス移植術 頭、頸部動脈	T2E 33 03	
K614 5	血管移植術、バイパス移植術 下腿、足部動脈	TDE 33 03	大腿動脈の場合
		TDG 33 03	下腿、足部動脈の場合
K614 6	血管移植術、バイパス移植術 膝窩動脈	TDH 33 03	膝窩動脈の場合
		TDH 33 03	膝下膝窩動脈の場合
K614 7	血管移植術、バイパス移植術 その他の動脈	TDA 43 00	手指血管移植術の場合
		TF2 33 03	その他の動脈の場合
K615 1	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等)止血術	T12 18 13	脳血管の場合
		T26 20 13	鼻出血の場合
		T47 18 13	肺動脈奇形の場合
		T51 20 13	胸部出血の場合
		T5G 20 13	気管支動脈の場合
		T7M 20 13	腸管または腸間膜出血の場合
		T7G 20 13	脾動脈の場合
		T71 20 13	後腹膜出血の場合
		T81 20 13	腎出血の場合
		T85 20 13	骨盤部出血あるいは産科出血の場合
		T86 18 13	子宮筋腫または子宮腺筋症の場合
		TD1 20 13	四肢動脈損傷の場合
		TF1 18 00	脊髄血管の場合
		T11 20 13	上記の血管、出血以外の場合
K615 2	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等)選択的動脈化学塞栓	T2A 18 13	頭頸部腫瘍に対する場合
		T81 18 13	腎腫瘍に対する場合
		TD1 18 13	四肢軟部腫瘍、骨腫瘍に対する場合
		Q72 18 13	肝臓に対する場合
K615 3	門脈塞栓術(開腹によるもの)	TA3 18 03	
K615 4	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等)その他のもの	T28 18 13	頭皮の血管腫、動脈奇形、動脈瘤に対する場合
		T25 18 13	顔面の血管腫、動脈奇形、動脈瘤に対して
		T23 18 17	副甲状腺機能亢進症(機能廃絶術)に対する場合
		T23 20 10	頭部胸腔内血管に対する場合
		TF9 18 13	胸壁動脈奇形、血管腫に対して
		T7G 18 13	脾機能亢進症に対する場合
		T81 18 13	腎動脈(機能廃絶術)に対する場合
		TBF 18 13	精索静脈瘤に対する場合
		T86 20 13	持続陰茎勃起症に対する場合
		TC1 18 47	四肢動脈瘤、四肢仮性動脈瘤に対する場合
		TD1 18 47	四肢仮性動脈瘤に対する場合
		T11 18 13	上記以外の場合
		K615-2	経皮的動脈遮断術
K616	四肢の血管拡張術・血栓除去術	TC1 33 13	
K616-2	頸動脈球摘出術	T2D 10 00	
K616-3	経皮的胸部血管拡張術(先天性心疾患術後に限る。)	T51 33 13	
K616-4 1	経皮的シャント拡張術・血栓除去術 初回	TF7 17 13	
K616-4 2	経皮的シャント拡張術・血栓除去術 1の実施後3月以内に実施	TF7 17 13	
K616-5	経皮的血管内異物除去術	T31 17 13	
K616-6	経皮的下肢動脈形成術	TC1 33 13	
K616-7	ステントグラフト挿入術(シャント)	TF7 33 1H	
K616-8	吸着式潰瘍治療法(1日につき)	Y11 D4 10	
K617 1	下肢静脈瘤手術 抜去切除術	TEE 10 00	

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
K617 2	下肢静脈瘤手術 硬化療法(一連として)	TEE 18 10	
K617 3	下肢静脈瘤手術 高位結紮術	TEE 15 00	
K617 4	下肢静脈瘤手術 静脈瘤切除術	TEE 10 00	
K617-2	大伏在静脈除去術	TE8 10 00	
K617-3	静脈瘤切除術(下肢以外)	TF4 10 00	
K617-4	下肢静脈瘤血管内焼灼術	TE8 18 17	
K617-5	内視鏡下下肢静脈瘤不全穿通枝切離術	TE8 15 11	
K617-6	下肢静脈瘤血管内塞栓術	TE8 18 1H	
K618 1	中心静脈注射用挿込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	T61 50 13	
K618 2	中心静脈注射用挿込型カテーテル設置 頭頸部その他に設置し	T61 50 13	
K619 1	静脈血栓摘出術 開腹を伴うもの	TB6 17 00	
K619 2	静脈血栓摘出術 その他のもの(観血的なもの)	TE1 17 00	
K619-2	総腸骨静脈及び股静脈血栓除去術	TBJ 17 00	
K620	下大静脈フィルター留置術	TB6 50 10	
K620-2	下大静脈フィルター除去術	TB6 17 10	
K621	門脈体循環静脈吻合術(門脈圧亢進症手術)	TA2 33 00	
K622	胸管内頸静脈吻合術	VV2 33 00	
K623 1	静脈形成術、吻合術 胸腔内静脈	T69 33 00	
K623 2	静脈形成術、吻合術 腹腔内静脈	TBL 33 00	
K623 3	静脈形成術、吻合術 その他の静脈	TF4 33 00	
K623-2	脾腎静脈吻合術	TB3 33 00	
K625 1	リンパ管腫摘出術 長径5cm未満	VVX 10 00	
K625 2	リンパ管腫摘出術 長径5cm以上	VVX 10 00	
K626 1	リンパ節摘出術 長径3cm未満	V11 10 00	
K626 2	リンパ節摘出術 長径3cm以上	V11 10 00	
K626-2	リンパ節膿瘍切開術	V11 16 00	
K627 1	リンパ節群郭清術 顎下部又は舌下部(浅在性)	V31 12 00 V3F 12 00	部位が舌下部の場合 部位が顎下部の場合
K627 2	リンパ節群郭清術 頸部(深在性)	V21 12 00	
K627 3	リンパ節群郭清術 鎖骨上窩及び下窩	V57 12 00	
K627 4	リンパ節群郭清術 腋窩	V5A 12 00	
K627 5	リンパ節群郭清術 胸骨旁	V59 12 00	
K627 6	リンパ節群郭清術 鼠径部及び股部	VA7 13 00	
K627 7	リンパ節群郭清術 後腹膜	V9K 12 00 V9J 12 00	部位が傍大動脈の場合 部位が後腹膜の場合
K627 8	リンパ節群郭清術 骨盤	VA1 12 00	
K627-2 1	腹腔鏡下リンパ節群郭清術 後腹膜	V9J 12 11	
K627-2 2	腹腔鏡下リンパ節群郭清術 傍大動脈	V92 12 11	
K627-2 3	腹腔鏡下リンパ節群郭清術 骨盤	VA1 12 11	
K627-2 4	腹腔鏡下リンパ節群郭清術 側方	VA8 12 11	
K627-3	腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術	VA1 12 11	
K627-4	腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術	V9J 12 11	
K628	リンパ管吻合術	VV1 16 02	
K630	腹壁膿瘍切開術	B7C 16 00	
K631 1	腹壁瘻手術 腹壁に限局するもの	B7C 16 00	
K631 2	腹壁瘻手術 腹腔に通ずるもの	B7C 16 00	
K632 1	腹壁腫瘍摘出術 形成手術を必要としない場合	B7C 11 00	
K632 2	腹壁腫瘍摘出術 形成手術を必要とする場合	B7C 11 00	
K633 1	ヘルニア手術 腹壁癒痕ヘルニア	QAG 35 00	
K633 2	ヘルニア手術 半月状線ヘルニア、白線ヘルニア、腹直筋離開	QAG 35 00	
K633 3	ヘルニア手術 臍ヘルニア	QAE 35 00	
K633 4	ヘルニア手術 臍帯ヘルニア	QAF 32 00	
K633 5	ヘルニア手術 鼠径ヘルニア	QAJ 35 00	
K633 6	ヘルニア手術 大腿ヘルニア	QAJ 35 00	
K633 7	ヘルニア手術 腰ヘルニア	QAH 35 00	
K633 8	ヘルニア手術 骨盤部ヘルニア(閉鎖孔ヘルニア、坐骨ヘルニア、会陰ヘルニア)	QAJ 35 00 QAH 35 00	閉鎖孔ヘルニア、会陰ヘルニアの場合 坐骨ヘルニアの場合
K633 9	ヘルニア手術 内ヘルニア	QAG 35 00	
K633-2 1	腹腔鏡下ヘルニア手術 腹壁癒痕ヘルニア	QAG 35 11	
K633-2 2	腹腔鏡下ヘルニア手術 大腿ヘルニア	QAJ 35 11	
K633-2 3	腹腔鏡下ヘルニア手術 半月状線ヘルニア、白線ヘルニア	QAG 35 11	
K633-2 4	腹腔鏡下ヘルニア手術 臍ヘルニア	QAE 35 11	
K633-2 5	腹腔鏡下ヘルニア手術 閉鎖孔ヘルニア	QW2 35 11	
K634	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術(両側)	QAJ 35 11	
K635	胸水・腹水濾過濃縮再静注法	P12 50 10 QA1 50 10	胸水濾過の場合 腹水濾過の場合
K635-2	腹腔・静脈シャントバルブ設置術	QA1 E1 10	
K635-3	連続携帯式腹膜灌流用カテーテル腹腔内留置術	QA1 E1 10	
K635-4	腹腔鏡下連続携帯式腹膜灌流用カテーテル腹腔内留置術	QA1 E1 11	

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
K636	試験開腹術	QA1 14 01	
K636-2	ダメージコントロール手術	P12 16 00	胸部の場合
		QA1 16 00	腹部の場合
		QW4 16 00	骨盤の場合
K636-3	腹腔鏡下試験開腹術	QA1 14 11	
K636-4	腹腔鏡下試験切除術	QA1 14 11	腹腔内の場合
		QW1 14 11	後腹膜腹の場合
K637 1	限局性腹腔腫瘍手術 横隔膜下腫瘍	QA2 16 00	
K637 2	限局性腹腔腫瘍手術 ダグラス窩腫瘍	QA9 16 00	
K637 3	限局性腹腔腫瘍手術 虫垂周囲腫瘍	QA7 16 00	
K637 4	限局性腹腔腫瘍手術 その他のもの	QA1 16 00	
K637-2	経皮的腹腔腫瘍ドレナージ術	QA1 16 17	
K638	骨盤腹膜外腫瘍切開排膿術	QW4 16 00	
K639	急性汎発性腹膜炎手術	QA1 16 00	
K639-2	結核性腹膜炎手術	QA1 16 00	
K639-3	腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術	QA1 16 11	
K640 1	腸間膜損傷手術 縫合、修復のみのもの	QAD 30 00	
K640 2	腸間膜損傷手術 腸管切除を伴うもの	QAD 30 00	
K641	大網切除術	QAC 11 00	
K642 1	大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術 腸切除を伴わないもの	QAC 11 00	部位が大網、腸間膜の場合
		QW1 11 00	部位が後腹膜の場合
K642 2	大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術 腸切除を伴うもの	QAC 13 00	部位が大網、腸間膜の場合
		QW1 13 00	部位が後腹膜の場合
K642-2	腹腔鏡下大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術	QAC 11 11	部位が大網、腸間膜で、腸切除を伴わない場合
		QAC 13 11	部位が大網、腸間膜で、腸切除を伴う場合
		QW1 11 11	部位が後腹膜の場合
K642-3	腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術	QW1 13 11	
K643	後腹膜悪性腫瘍手術	QW1 12 00	単純切除の場合
		QW1 13 00	広汎切除の場合
K643-2	腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍手術	QW1 13 11	
K644 1	膵腸管瘻手術 腸管切除を伴わないもの	SW3 10 00	
K644 2	膵腸管瘻手術 腸管切除を伴うもの	SW3 13 00	
K645	骨盤内臓全摘術	Q5A 13 00	
K645-2	腹腔鏡下骨盤内臓全摘術	Q5C 13 11	
K645-3 1	骨盤内悪性腫瘍及び腹腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法(一連として) 2cm以内のもの	Q5A 18 15	
K645-3 2	骨盤内悪性腫瘍及び腹腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法(一連として) 2cmを超えるもの	Q5A 18 15	
K646	胃血管結紮術(急性胃出血手術)	Q21 20 00	
K647	胃縫合術(大網充填術又は被覆術を含む。)	Q21 30 00	縫合術の場合
		Q25 30 00	大網充填術または被覆術の場合
K647-2	腹腔鏡下胃、十二指腸潰瘍穿孔縫合術	Q21 30 11	
K647-3	内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術	Q21 35 21	
K648	胃切開術	Q21 14 00	診断目的の場合
		Q21 17 00	胃内異物摘出の場合
K649	胃吊上げ固定術(胃下垂症手術)、胃捻転症手術	Q21 38 00	
K649-2	腹腔鏡下胃吊上げ固定術(胃下垂症手術)、胃捻転症手術	Q21 38 11	
K651	内視鏡的胃、十二指腸ステント留置術	Q25 33 21	
K652	胃、十二指腸憩室切除術・ポリープ切除術(開腹によるもの)	Q21 10 01	胃憩室切除術の場合
		Q21 10 00	胃ポリープ切除術の場合
		Q31 10 01	十二指腸憩室切除術の場合
		Q31 10 00	十二指腸ポリープ切除術の場合
K653 1	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 早期悪性腫瘍粘膜切除術	Q21 10 21	胃の場合
		Q31 10 21	十二指腸の場合
K653 2	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 早期悪性腫瘍胃粘膜下層剥離術	Q21 10 21	
K653 3	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 早期悪性腫瘍十二指腸粘膜下層剥離術	Q31 10 21	
K653 4	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 早期悪性腫瘍ポリープ切除術	Q21 10 21	胃の場合
		Q31 10 21	十二指腸の場合
K653 5	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 その他のポリープ・粘膜切除術	Q21 10 21	胃の場合
		Q31 10 21	十二指腸の場合
K653-2	食道・胃内異物除去摘出術(マグネットカテーテルによるもの)	Q12 17 24	食道異物の場合
		Q21 17 20	胃内異物の場合
K653-3	内視鏡的食道及び胃内異物摘出術	Q12 17 21	食道異物の場合
		Q21 17 21	胃内異物の場合
K653-4	内視鏡的表在性胃悪性腫瘍光線力学療法	Q21 18 21	
K653-5	内視鏡的胃、十二指腸狭窄拡張術	Q25 33 21	
K653-6	内視鏡的逆流防止粘膜切除術	Q21 36 21	
K654	内視鏡的消化管止血術	Q12 20 21	食道の場合

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
		Q25 20 21	胃、十二指腸の場合
		Q5A 20 21	直腸の場合
K654-2	胃局所切除術	Q21 10 00	
K654-3 1	腹腔鏡下胃局所切除術 内視鏡処置を併施するもの	Q21 10 11	
K654-3 2	腹腔鏡下胃局所切除術 その他のもの	Q21 10 11	
K654-4	腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)	Q31 10 91	
K655 1	胃切除術 単純切除術	Q21 11 00	
K655 2	胃切除術 悪性腫瘍手術	Q21 13 00	
K655-2 1	腹腔鏡下胃切除術 単純切除術	Q21 11 11	通常の腹腔鏡下手術の場合
		Q21 11 1R	ロボット支援下手術の場合
K655-2 2	腹腔鏡下胃切除術 悪性腫瘍手術	Q21 13 11	
K655-2 3	腹腔鏡下胃切除術 悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用	Q21 13 1R	
K655-3	十二指腸窓(内方)憩室摘出術	Q31 10 00	
K655-4 1	噴門側胃切除術 単純切除術	Q22 11 00	
K655-4 2	噴門側胃切除術 悪性腫瘍切除術	Q22 13 00	
K655-5 1	腹腔鏡下噴門側胃切除術 単純切除術	Q22 11 11	通常の腹腔鏡下手術の場合
		Q22 11 1R	ロボット支援下手術の場合
K655-5 2	腹腔鏡下噴門側胃切除術 悪性腫瘍切除術	Q22 13 11	
K655-5 3	腹腔鏡下噴門側胃切除術 悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	Q22 13 1R	
K656	胃縮小術	Q21 11 00	
K656-2 1	腹腔鏡下胃縮小術 スリーブ状切除によるもの	Q21 11 11	
K656-2 2	腹腔鏡下胃縮小術 スリーブ状切除によるもの(バイパス術を併	Q25 11 11	
K657 1	胃全摘術 単純全摘術	Q21 12 00	
K657 2	胃全摘術 悪性腫瘍手術	Q21 13 00	
K657 3	胃全摘術 悪性腫瘍手術(空腸囊作製術を伴うもの)	Q21 13 00	
K657-2 1	腹腔鏡下胃全摘術 単純全摘術	Q21 12 11	通常の腹腔鏡下手術の場合
		Q21 12 1R	ロボット支援下手術の場合
K657-2 2	腹腔鏡下胃全摘術 悪性腫瘍手術	Q21 13 11	
K657-2 3	腹腔鏡下胃全摘術 悪性腫瘍手術(空腸囊作製術を伴うもの)	Q21 13 11	
K657-2 4	腹腔鏡下胃全摘術 悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用	Q21 13 1R	
K659 1	食道下部迷走神経切除術(幹迷切) 単独のもの	D3B 15 00	
K659 2	食道下部迷走神経切除術(幹迷切) ドレナージを併施するもの	D3B 15 00	
K659 3	食道下部迷走神経切除術(幹迷切) 胃切除術を併施するもの	D3B 15 00	
K659-2	腹腔鏡下食道下部迷走神経切断術(幹迷切)	D3B 15 11	
K660 1	食道下部迷走神経選択的切除術 単独のもの	D3B 15 00	
K660 2	食道下部迷走神経選択的切除術 ドレナージを併施するもの	D3B 15 00	
K660 3	食道下部迷走神経選択的切除術 胃切除術を併施するもの	D3B 15 00	
K660-2	腹腔鏡下食道下部迷走神経選択的切除術	D3B 15 11	
K661	胃冠状静脈結紮及び切除術	Q22 20 00	
K662	胃腸吻合術(ブラウン吻合を含む。)	Q21 30 00	
K662-2	腹腔鏡下胃腸吻合術	Q21 30 11	
K663	十二指腸空腸吻合術	Q31 30 00	
K664	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	Q21 16 00	開腹の場合
		Q21 16 11	腹腔鏡下の場合
		Q21 16 21	内視鏡下の場合
K664-2	経皮経食道胃管挿入術(PTEG)	Q13 16 14	
K664-3	薬剤投与用胃瘻造設術	Q21 16 00	開腹の場合
		Q21 16 11	腹腔鏡下の場合
		Q21 16 21	内視鏡下の場合
K665 1	胃瘻閉鎖術 開腹又は腹腔鏡によるもの	Q21 35 00	開腹の場合
		Q21 35 11	腹腔鏡下の場合
K665 2	胃瘻閉鎖術 内視鏡によるもの	Q21 35 21	
K665-2	胃瘻除去術	Q21 17 00	
K666	幽門形成術(粘膜外幽門筋切開術を含む。)	Q24 33 00	
K666-2	腹腔鏡下幽門形成術	Q24 33 11	
K667	噴門形成術	Q16 36 00	
K667-2	腹腔鏡下噴門形成術	Q16 36 11	
K668	胃横断術(静脈瘤手術)	T68 15 00	
K668-2	バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	TB1 18 13	
K669	胆管切開術	Q86 14 04	
K670	胆嚢切開結石摘出術	Q81 17 04	
K671 1	胆管切開結石摘出術(チューブ挿入を含む。) 胆嚢摘出を含むも	Q86 17 04	
K671 2	胆管切開結石摘出術(チューブ挿入を含む。) 胆嚢摘出を含まな	Q86 17 04	
K671-2 1	腹腔鏡下胆管切開結石摘出術 胆嚢摘出を含むもの	Q86 17 11	
K671-2 2	腹腔鏡下胆管切開結石摘出術 胆嚢摘出を含まないもの	Q86 17 11	
K672	胆嚢摘出術	Q81 12 04	
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	Q81 12 11	
K673	胆管形成手術(胆管切除術を含む。)	Q86 33 00	

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
K674	総胆管拡張症手術	Q87 12 04	
K674-2	腹腔鏡下総胆管拡張症手術	Q87 12 11	通常の腹腔鏡下手術の場合
		Q87 12 1R	ロボット支援下手術の場合
K675 1	胆嚢悪性腫瘍手術 胆嚢に限局するもの(リンパ節郭清を含む。)	Q81 12 07	胆嚢に限局する場合
		Q81 13 07	肝床切除を伴う場合
K675 2	胆嚢悪性腫瘍手術 肝切除(亜区域切除以上)を伴うもの	Q81 13 07	
K675 3	胆嚢悪性腫瘍手術 肝切除(葉以上)を伴うもの	Q81 13 07	
K675 4	胆嚢悪性腫瘍手術 膵頭十二指腸切除を伴うもの	Q81 13 07	
K675 5	胆嚢悪性腫瘍手術 膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うもの	Q81 13 07	肝切除と膵頭十二指腸切除を伴う場合
		Q92 13 00	肝膵同時切除術の場合
K675-2	腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)	Q81 13 11	
K677 1	胆管悪性腫瘍手術 膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うもの	Q86 13 07	
K677 2	胆管悪性腫瘍手術 膵頭十二指腸切除及び血行再建を伴うもの	Q85 13 07	
K677 3	胆管悪性腫瘍手術 肝外胆道切除術によるもの	Q85 12 07	
K677 4	胆管悪性腫瘍手術 その他のもの	Q86 13 07	
K677-2 1	肝門部胆管悪性腫瘍手術 血行再建あり	Q86 13 00	
K677-2 2	肝門部胆管悪性腫瘍手術 血行再建なし	Q86 13 00	
K678	体外衝撃波胆石破砕術(一連につき)	Q81 17 44	
K679	胆嚢胃(腸)吻合術	Q81 16 00	
K680	総胆管胃(腸)吻合術	Q87 16 00	
K681	胆嚢外瘻造設術	Q81 16 04	
K682 1	胆管外瘻造設術 開腹によるもの	Q83 16 04	
K682 2	胆管外瘻造設術 経皮経肝によるもの	Q83 16 14	
K682-2	経皮的胆管ドレナージ術	Q81 16 17	
K682-3	内視鏡的経鼻胆管ドレナージ術(ENBD)	Q87 16 21	
K682-4	超音波内視鏡下瘻孔形成術(腹腔内膿瘍に対するもの)	Q87 16 21	肝胆道系疾患の場合
		Q92 16 21	膵管系疾患の場合
		QA1 16 21	腹腔内膿瘍の場合
K684	先天性胆道閉鎖症手術	Q87 11 00	
K684-2	腹腔鏡下胆道閉鎖症手術	Q87 11 11	
K685 1	内視鏡的胆道結石除去術 胆道碎石術を伴うもの	Q87 17 21	
K685 2	内視鏡的胆道結石除去術 その他のもの	Q87 17 21	
K686	内視鏡的胆道拡張術	Q87 33 21	
K687 1	内視鏡的乳頭切開術 乳頭括約筋切開のみのもの	Q37 16 21	
K687 2	内視鏡的乳頭切開術 胆道碎石術を伴うもの	Q37 17 21	
K687 3	内視鏡的乳頭切開術 胆道鏡下結石破砕術を伴うもの	Q37 17 21	
K688	内視鏡的胆道ステント留置術	Q87 33 21	
K689	経皮経肝胆管ステント挿入術	Q87 33 14	
K689-2	経皮経肝バルーン拡張術	Q87 33 14	
K690	肝縫合術	Q72 30 07	
K691 1	肝膿瘍切開術 開腹によるもの	Q72 16 07	
K691 2	肝膿瘍切開術 開胸によるもの	Q72 16 07	
K691-2	経皮的肝膿瘍ドレナージ術	Q72 16 14	
K692	肝嚢胞切開又は縫縮術	Q72 16 07	切開術の場合
		Q72 36 07	縫縮術の場合
K692-2	腹腔鏡下肝嚢胞切開術	Q72 16 11	
K693	肝内結石摘出術(開腹)	Q84 17 07	
K694	肝嚢胞、肝膿瘍摘出術	Q72 16 07	肝膿瘍の場合
		Q72 10 07	肝嚢胞の場合
K695 1 イ	肝切除術 部分切除 単回の切除によるもの	Q72 11 07	
K695 1 ロ	肝切除術 部分切除 複数回の切除を要するもの	Q72 11 07	
K695 2	肝切除術 亜区域切除	Q72 11 00	
K695 3	肝切除術 外側区域切除	Q72 12 00	
K695 4	肝切除術 1区域切除(外側区域切除を除く。)	Q72 13 07	
K695 5	肝切除術 2区域切除	Q72 13 07	
K695 6	肝切除術 3区域切除以上のもの	Q72 12 07	
K695 7	肝切除術 2区域切除以上であって、血行再建を伴うもの	Q72 13 07	
K695-2 1 イ	腹腔鏡下肝切除術 部分切除 単回の切除によるもの	Q72 11 11	通常の腹腔鏡下手術の場合
		Q72 11 1R	ロボット支援下手術の場合
K695-2 1 ロ	腹腔鏡下肝切除術 部分切除 複数回の切除を要するもの	Q72 11 11	通常の腹腔鏡下手術の場合
		Q72 11 1R	ロボット支援下手術の場合
K695-2 2	腹腔鏡下肝切除術 外側区域切除	Q72 11 11	通常の腹腔鏡下手術の場合
		Q72 11 1R	ロボット支援下手術の場合
K695-2 3	腹腔鏡下肝切除術 亜区域切除	Q72 11 11	通常の腹腔鏡下手術の場合
		Q72 11 1R	ロボット支援下手術の場合
K695-2 4	腹腔鏡下肝切除術 1区域切除(外側区域切除を除く。)	Q72 13 11	通常の腹腔鏡下手術の場合
		Q72 13 1R	ロボット支援下手術の場合
K695-2 5	腹腔鏡下肝切除術 2区域切除	Q72 13 11	通常の腹腔鏡下手術の場合
		Q72 13 1R	ロボット支援下手術の場合

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
K695-2 6	腹腔鏡下肝切除術 3区域切除以上のもの	Q72 13 11	通常の腹腔鏡下手術の場合
		Q72 13 1R	ロボット支援下手術の場合
K696	肝内胆管(肝管)胃(腸)吻合術	Q84 16 00	
K697 1	肝内胆管外瘻造設術 開腹によるもの	Q84 16 07	
K697 2	肝内胆管外瘻造設術 経皮経肝によるもの	Q84 16 17	
K697-2 1	肝悪性腫瘍マイクロ波凝固法(一連として) 腹腔鏡によるもの	Q72 18 11	
K697-2 2	肝悪性腫瘍マイクロ波凝固法(一連として) その他のもの	Q72 18 07	開腹の場合
		Q72 18 17	経皮的な場合
K697-3 1 イ	肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法(一連として) 2cm以内のもの 腹腔鏡によるもの	Q72 18 11	
K697-3 1 ロ	肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法(一連として) 2cm以内のもの その他のもの	Q72 18 07	開腹の場合
		Q72 18 17	経皮的な場合
K697-3 2 イ	肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法(一連として) 2cmを超えるもの 腹腔鏡によるもの	Q72 18 11	
K697-3 2 ロ	肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法(一連として) 2cmを超えるもの その他のもの	Q72 18 07	開腹の場合
		Q72 18 17	経皮的な場合
K697-4 1	移植用部分肝採取術(生体) 腹腔鏡によるもの	Q76 42 11	
K697-4 2	移植用部分肝採取術(生体) その他のもの	Q76 42 00	外側区域の場合
		Q74 42 00	左葉の場合
		Q73 42 00	右葉の場合
		Q73 42 00	拡大右後区域の場合
K697-5	生体部分肝移植術	Q72 43 00	
K697-6	移植用肝採取術(死体)	Q72 42 00	
K697-7	同種死体肝移植術	Q72 43 00	
K698 1	急性膵炎手術 感染性壊死部切除を伴うもの	Q92 10 07	
K698 2	急性膵炎手術 その他のもの	Q92 16 00	
K699 1	膵結石手術 膵切開によるもの	Q92 17 07	
K699 2	膵結石手術 経十二指腸乳頭によるもの	Q92 17 07	
K699-2	体外衝撃波膵石破砕術(一連につき)	Q92 50 40	
K700	膵中央切除術	Q95 11 00	
K700-2	膵腫瘍摘出術	Q92 10 07	
K700-3	腹腔鏡下膵腫瘍摘出術	Q92 10 11	
K700-4	腹腔鏡下膵中央切除術	Q95 11 11	
K701	膵破裂縫合術	Q92 30 00	
K702 1 イ	膵体尾部腫瘍切除術 膵尾部切除術の場合 脾同時切除の場合	Q97 11 07	
K702 1 ロ	膵体尾部腫瘍切除術 膵尾部切除術の場合 脾温存の場合	Q97 11 07	
K702 2	膵体尾部腫瘍切除術 リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術	Q97 13 07	
K702 3	膵体尾部腫瘍切除術 周辺臓器(胃、結腸、腎、副腎等)の合併切除を伴う腫瘍切除術の場合	Q97 13 07	
K702 4	膵体尾部腫瘍切除術 血行再建を伴う腫瘍切除術の場合	Q97 13 07	
K702-2 1	腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術 脾同時切除の場合	Q97 11 11	通常の腹腔鏡下手術の場合
		Q97 12 1R	ロボット支援下手術の場合
K702-2 2	腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術 脾温存の場合	Q97 11 11	通常の腹腔鏡下手術の場合
		Q97 12 1R	ロボット支援下手術の場合
K703 1	膵頭部腫瘍切除術 膵頭十二指腸切除術の場合	Q94 12 07	
K703 2	膵頭部腫瘍切除術 リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除の場合又は十二指腸温存膵頭切除術の場合	Q93 13 07	十二指腸温存膵頭切除術の場合
		Q94 13 07	膵頭十二指腸切除術の場合
K703 3	膵頭部腫瘍切除術 周辺臓器(胃、結腸、腎、副腎等)の合併切除を伴う腫瘍切除術の場合	Q94 13 07	
K703 4	膵頭部腫瘍切除術 血行再建を伴う腫瘍切除術の場合	Q94 13 07	
K703-2 1	腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術 膵頭十二指腸切除術の場合	Q94 12 11	通常の腹腔鏡下手術の場合
		Q94 12 1R	ロボット支援下手術の場合
K703-2 2	腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術 リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術の場合	Q94 13 11	通常の腹腔鏡下手術の場合
		Q94 13 1R	ロボット支援下手術の場合
K704	膵全摘術	Q92 12 07	血行再建を伴わない場合
		Q92 13 07	血行再建を伴う場合
K705 1	膵嚢胞胃(腸)バイパス術 内視鏡によるもの	Q92 16 21	
K705 2	膵嚢胞胃(腸)バイパス術 開腹によるもの	Q92 16 07	
K706	膵管空腸吻合術	Q98 16 07	
K707 1	膵嚢胞外瘻造設術 内視鏡によるもの	Q92 16 21	
K707 2	膵嚢胞外瘻造設術 開腹によるもの	Q92 16 07	
K708	膵管外瘻造設術	Q98 16 07	
K708-2	膵管誘導手術	Q98 16 07	
K708-3	内視鏡的膵管ステント留置術	Q98 33 21	
K709	膵瘻閉鎖術	Q98 35 04	
K709-2	移植用膵採取術(死体)	Q92 42 00	
K709-3	同種死体膵移植術	Q92 43 00	
K709-4	移植用膵腎採取術(死体)	Q92 42 00	
K709-5	同種死体膵腎移植術	Q92 43 00	
K709-6	同種死体膵島移植術	Q92 43 00	

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
K710	脾縫合術(部分切除を含む。)	Q99 30 00	脾縫合術の場合
		Q99 11 00	脾部分切除術の場合
K710-2	腹腔鏡下脾固定術	Q99 38 11	
K711	脾摘出術	Q99 12 00	
K711-2	腹腔鏡下脾摘出術	Q99 12 11	
K712	破裂腸管縫合術	Q41 30 00	
K713	腸切開術	Q41 14 00	診断、腸組織試験採取の場合
		Q41 17 00	異物除去の場合
K714	腸管癒着症手術	Q41 15 00	
K714-2	腹腔鏡下腸管癒着剥離術	Q41 15 11	
K715 1	腸重積症整復術 非観血的なもの	Q41 33 24	透視下の場合
		Q41 33 27	超音波下の場合
K715 2	腸重積症整復術 観血的なもの	Q41 33 00	
K715-2	腹腔鏡下腸重積症整復術	Q41 33 11	
K716 1	小腸切除術 複雑なもの	Q41 11 00	単純切除の場合
		Q41 13 00	広汎切除の場合
K716 2	小腸切除術 その他のもの	Q41 11 00	
K716-2 1	腹腔鏡下小腸切除術 複雑なもの	Q41 13 11	
K716-2 2	腹腔鏡下小腸切除術 その他のもの	Q41 11 11	
K716-3	移植用部分小腸採取術(生体)	Q41 42 00	
K716-4	生体部分小腸移植術	Q41 43 00	
K716-5	移植用小腸採取術(死体)	Q41 42 00	
K716-6	同種死体小腸移植術	Q41 43 00	
K717	小腸腫瘍、小腸憩室摘出術(メッケル憩室炎手術を含む。)	Q41 10 00	小腸憩室の場合
		Q41 11 00	小腸腫瘍の場合
K718 1	虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴わないもの	Q52 12 00	
K718 2	虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴うもの	Q52 13 00	
K718-2 1	腹腔鏡下虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴わないもの	Q52 12 11	
K718-2 2	腹腔鏡下虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴うもの	Q52 13 11	
K719 1	結腸切除術 小範囲切除	Q54 11 00	
K719 2	結腸切除術 結腸半側切除	Q54 11 00	
K719 3	結腸切除術 全切除、垂全切除又は悪性腫瘍手術	Q54 11 00	結腸垂全摘又は結腸悪性腫瘍単純切除の場合
		Q54 12 00	結腸全切除の場合
		Q54 13 00	結腸悪性腫瘍広汎切除の場合
K719-2 1	腹腔鏡下結腸切除術 小範囲切除、結腸半側切除	Q54 11 11	
K719-2 2	腹腔鏡下結腸切除術 全切除、垂全切除	Q54 12 11	
K719-3	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	Q54 13 11	通常の腹腔鏡下手術の場合
		Q54 13 1R	ロボット支援下手術の場合
K719-4	ピックレル氏手術	Q5A 30 00	
K719-5	全結腸・直腸切除囊肛門吻合術	Q51 12 00	
K719-6	腹腔鏡下全結腸・直腸切除囊肛門吻合術	Q51 12 11	
K720	結腸腫瘍(回盲部腫瘍摘出術を含む。)、結腸憩室摘出術、結腸ポリープ切除術(開腹によるもの)	Q54 10 00	
K721 1	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術 長径2cm未満	Q51 10 21	
K721 2	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術 長径2cm以上	Q51 10 21	
K721-3	内視鏡的結腸異物摘出術	Q54 17 21	
K721-4	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	Q51 10 21	
K721-5	内視鏡的小腸ポリープ切除術	Q41 10 21	
K722	小腸結腸内視鏡的止血術	Q41 20 21	部位が小腸の場合
		Q54 20 21	部位が結腸の場合
K724	腸吻合術	Q41 30 00	
K725	腸瘻、虫垂瘻造設術	Q41 16 00	部位が小腸の場合
		Q52 16 00	部位が虫垂の場合
K725-2	腹腔鏡下腸瘻、虫垂瘻造設術	Q54 16 11	
K726	人工肛門造設術	Q54 16 00	
K726-2	腹腔鏡下人工肛門造設術	Q54 16 11	
K727	腹壁外腸管前置術	Q41 16 00	
K728	腸狭窄部切開縫合術	Q41 33 00	
K729 1	腸閉鎖症手術 腸管切除を伴わないもの	Q41 33 00	
K729 2	腸閉鎖症手術 腸管切除を伴うもの	Q41 33 00	
K729-2	多発性小腸閉鎖症手術	Q41 33 00	
K729-3	腹腔鏡下腸閉鎖症手術	Q41 33 11	
K730 1	小腸瘻閉鎖術 腸管切除を伴わないもの	Q41 35 00	
K730 2	小腸瘻閉鎖術 腸管切除を伴うもの	Q41 10 00	
K730 3	小腸瘻閉鎖術 内視鏡によるもの	Q41 35 21	
K731 1	結腸瘻閉鎖術 腸管切除を伴わないもの	Q54 35 00	
K731 2	結腸瘻閉鎖術 腸管切除を伴うもの	Q54 10 00	
K731 3	結腸瘻閉鎖術 内視鏡によるもの	Q54 35 21	
K732 1	人工肛門閉鎖術 腸管切除を伴わないもの	Q54 35 00	

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
K732 2 イ	人工肛門閉鎖術 腸管切除を伴うもの 直腸切除術後のもの	Q54 35 00	
K732 2 ロ	人工肛門閉鎖術 腸管切除を伴うもの その他のもの	Q54 10 00	
K732-2	腹腔鏡下人工肛門閉鎖術(直腸切除術後のものに限る。)	Q59 35 11	
K733	盲腸縫縮術	Q53 36 00	
K734	腸回転異常症手術	QAB 15 00	
K734-2	腹腔鏡下腸回転異常症手術	QAB 15 11	
K735	先天性巨大結腸症手術	Q51 11 00	
K735-2	小腸・結腸狭窄部拡張術(内視鏡によるもの)	Q41 33 21	部位が小腸の場合
		Q54 33 21	部位が結腸の場合
K735-3	腹腔鏡下先天性巨大結腸症手術	Q51 11 11	
K735-4	下部消化管ステント留置術	Q41 33 24	部位が小腸の場合
		Q54 33 24	部位が結腸の場合
		Q5A 33 24	部位が直腸の場合
K735-5	腸管延長術	Q44 33 00	
K736 1	人工肛門形成術 開腹を伴うもの	Q54 30 00	
K736 2	人工肛門形成術 その他のもの	Q54 30 90	
K737	直腸周囲膿瘍切開術	Q5G 16 00	
K738 1	直腸異物除去術 経肛門(内視鏡によるもの)	Q5A 17 21	内視鏡を使用する場合
		Q5A 17 20	内視鏡を使用しない場合
K738 2	直腸異物除去術 開腹によるもの	Q5A 17 00	
K739 1	直腸腫瘍摘出術(ポリープ摘出を含む。) 経肛門	Q5A 10 20	
K739 2	直腸腫瘍摘出術(ポリープ摘出を含む。) 経括約筋	Q5A 10 00	
K739 3	直腸腫瘍摘出術(ポリープ摘出を含む。) 経腹及び経肛	Q5A 10 00	
K739-2	経肛門的内視鏡下手術(直腸腫瘍に限る。)	Q5A 10 21	
K739-3	低侵襲経肛門的局所切除術(MITAS)	Q5A 10 21	
K740 1	直腸切除・切断術 切除術	Q5A 11 00	単純切除の場合
		Q5A 13 00	広汎切除の場合
K740 2	直腸切除・切断術 低位前方切除術	Q5A 13 00	
K740 3	直腸切除・切断術 超低位前方切除術	Q5A 13 00	
K740 4	直腸切除・切断術 経肛門吻合を伴う切除術	Q5A 13 00	
K740 5	直腸切除・切断術 切断術	Q5A 13 00	
K740-2 1	腹腔鏡下直腸切除・切断術 切除術	Q5A 11 11	通常の腹腔鏡下手術の場合
		Q5A 11 1R	ロボット支援下手術の場合
K740-2 2	腹腔鏡下直腸切除・切断術 低位前方切除術	Q5A 13 11	通常の腹腔鏡下手術の場合
		Q5A 13 1R	ロボット支援下手術の場合
K740-2 3	腹腔鏡下直腸切除・切断術 切除術 超低位前方切除術	Q5A 13 11	通常の腹腔鏡下手術の場合
		Q5A 13 1R	ロボット支援下手術の場合
K740-2 4	腹腔鏡下直腸切除・切断術 切除術 経肛門吻合を伴う切除術	Q5A 13 11	通常の腹腔鏡下手術の場合
		Q5A 13 1R	ロボット支援下手術の場合
K740-2 5	腹腔鏡下直腸切除・切断術 切断術	Q5A 13 11	通常の腹腔鏡下手術の場合
		Q5A 13 1R	ロボット支援下手術の場合
K741	直腸狭窄形成手術	Q5A 33 00	
K741-2	直腸瘻手術	Q5C 36 2B	
K742 1 イ	直腸脱手術 経会陰によるもの 腸管切除を伴わないもの	Q5A 36 20	
K742 1 ロ	直腸脱手術 経会陰によるもの 腸管切除を伴うもの	Q5A 11 2B	
K742 2	直腸脱手術 直腸挙上固定を行うもの	Q5A 38 00	
K742 3	直腸脱手術 骨盤底形成を行うもの	Q5A 38 00	
K742 4	直腸脱手術 腹会陰からのもの(腸切除を含む。)	Q5A 38 00	
K742-2	腹腔鏡下直腸脱手術	Q5A 38 11	
K743 1	痔核手術(脱肛を含む。) 硬化療法	Q5F 18 30	
K743 2	痔核手術(脱肛を含む。) 硬化療法(四段階注射法によるもの)	Q5F 18 30	
K743 3	痔核手術(脱肛を含む。) 結紮術、焼灼術、血栓摘出術	Q5F 10 00	結紮術の場合
		Q5F 18 00	焼灼術の場合
		Q5F 17 00	血栓摘出術の場合
K743 4	痔核手術(脱肛を含む。) 根治手術(硬化療法(四段階注射法によるもの)を伴わないもの)	Q5F 10 00	
K743 5	痔核手術(脱肛を含む。) 根治手術(硬化療法(四段階注射法によるもの)を伴うもの)	Q5F 10 00	
K743 6	痔核手術(脱肛を含む。) PPH	Q5F 10 00	
K743-2	肛門括約筋切開術	Q5F 37 00	
K743-4	痔核手術後狭窄拡張手術	Q5F 33 00	
K743-5	モルガニー氏洞及び肛門管切開術	Q5F 37 00	
K743-6	肛門部皮膚剥離切除術	Q5G 10 00	
K744	裂肛又は肛門潰瘍根治手術	Q5F 10 00	
K745	肛門周囲膿瘍切開術	Q5G 16 00	
K746 1	痔瘻根治手術 単純なもの	Q5G 10 00	
K746 2	痔瘻根治手術 複雑なもの	Q5G 13 00	
K746-2	高位直腸瘻手術	Q5G 13 00	
K746-3	痔瘻手術(注入療法)	Q5G 35 00	
K747	肛門良性腫瘍、肛門ポリープ、肛門尖圭コンジローム切除術	Q5G 10 00	

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
K748 1	肛門悪性腫瘍手術 切除	Q5E 11 00	
K748 2	肛門悪性腫瘍手術 直腸切断を伴うもの	Q5E 13 00	
K749	肛門拡張術(観血的なもの)	Q5E 33 00	
K750 1	肛門括約筋形成手術 瘢痕切除又は縫縮によるもの	Q5E 33 00	
K750 2	肛門括約筋形成手術 組織置換によるもの	Q5E 33 00	
K751 1	鎖肛手術 肛門膜状閉鎖切開	Q5A 33 00	
K751 2	鎖肛手術 会陰式	Q5A 33 00	
K751 3	鎖肛手術 仙骨会陰式	Q5A 33 00	
K751 4	鎖肛手術 腹会陰、腹仙骨式	Q5A 33 00	
K751-2	仙尾部奇形腫手術	C4F 13 00	
K751-3	腹腔鏡下鎖肛手術(腹会陰、腹仙骨式)	Q5A 33 11	
K752 1	肛門形成手術 肛門狭窄形成手術	Q5E 33 00	
K752 2	肛門形成手術 直腸粘膜脱形成手術	Q5E 32 00	
K753	毛嚢嚢、毛嚢瘻、毛嚢洞手術	Q5G 10 00	
K754	副腎摘出術(副腎部分切除術を含む。)	S11 12 00	
K754-2	腹腔鏡下副腎摘出術	S11 12 11	通常の腹腔鏡下手術の場合
		S11 12 1R	ロボット支援下手術の場合
K754-3	腹腔鏡下小切開副腎摘出術	S11 12 01	
K755 1	副腎腫瘍摘出術 皮質腫瘍	S11 12 00	
K755 2	副腎腫瘍摘出術 髄質腫瘍(褐色細胞腫)	S11 12 00	
K755-2	腹腔鏡下副腎髄質腫瘍摘出術(褐色細胞腫)	S11 12 11	通常の腹腔鏡下手術の場合
		S11 12 1R	ロボット支援下手術の場合
K755-3 1	副腎腫瘍ラジオ波焼灼療法(一連として) 1センチメートル未満	S11 18 17	
K755-3 2	副腎腫瘍ラジオ波焼灼療法(一連として) 1センチメートル以上	S11 18 17	
K756	副腎悪性腫瘍手術	S11 12 00	単純切除の場合
		S11 13 00	広汎切除の場合
K756-2	腹腔鏡下副腎悪性腫瘍手術	S11 13 11	
K757	腎破裂縫合術	S21 30 00	
K757-2	腎破裂手術	S21 30 00	
K758	腎周囲膿瘍切開術	S21 16 00	
K759	腎切半術	S21 11 00	
K760	癒合腎離断術	S21 15 00	
K761	腎被膜剝離術(除神経術を含む。)	S21 17 00	
K762	腎固定術	S21 38 00	
K763	腎切石術	S21 17 00	
K764	経皮的尿路結石除去術(経皮的腎瘻造設術を含む。)	S21 17 10	
K765	経皮的腎盂腫瘍切除術(経皮的腎瘻造設術を含む。)	S30 11 11	
K766	経皮的尿管拡張術(経皮的腎瘻造設術を含む。)	S33 33 11	部位が上部尿管の場合
		S31 33 14	部位が上部尿管以外の場合
K767	腎盂切石術	S30 17 00	
K768	体外衝撃波腎・尿管結石破砕術(一連につき)	S31 17 44	
K769	腎部分切除術	S21 11 00	
K769-2	腹腔鏡下腎部分切除術	S21 11 11	
K769-3	腹腔鏡下小切開腎部分切除術	S21 11 11	
K770	腎嚢胞切除縮小術	S21 10 00	
K770-2	腹腔鏡下腎嚢胞切除縮小術	S21 10 11	
K770-3	腹腔鏡下腎嚢胞切除術	S21 10 11	
K771	経皮的腎嚢胞穿刺術	S21 16 14	
K772	腎摘出術	S21 12 00	
K772-2	腹腔鏡下腎摘出術	S21 12 11	
K772-3	腹腔鏡下小切開腎摘出術	S21 12 11	
K773	腎(尿管)悪性腫瘍手術	S21 12 00	部位が腎で、単純切除の場合
		S21 13 00	部位が腎で、広汎切除の場合
		S31 12 00	部位が腎盂・尿管で、単純切除の場合
		S31 13 00	部位が腎盂・尿管で、広汎切除の場合
K773-2	腹腔鏡下腎(尿管)悪性腫瘍手術	S21 13 11	部位が腎の場合
		S31 13 11	部位が腎盂・尿管の場合
K773-3	腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術	S21 13 01	部位が腎の場合
		S31 13 01	部位が腎盂・尿管の場合
K773-4	腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	S21 18 10	
K773-5 1	腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの) 原発病巣が7センチメートル以下のもの	S21 11 1R	
K773-5 2	腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの) その他のもの	S21 13 1R	
K773-6	腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	S31 13 1R	
K773-7 1	腎悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法(一連として) 2cm以内のもの	S21 18 17	
K773-7 2	腎悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法(一連として) 2cmを超えるもの	S21 18 17	
K775	経皮的腎(腎盂)瘻造設術	S30 16 14	
K775-2	経皮的腎(腎盂)瘻拡張術(一連につき)	S30 37 14	
K776	腎(腎盂)皮膚瘻閉鎖術	S30 10 00	

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
K777 1	腎(腎盂)腸瘻閉鎖術 内視鏡によるもの	S30 10 21	
K777 2	腎(腎盂)腸瘻閉鎖術 その他のもの	S30 10 00	
K778	腎盂形成手術	S22 33 00	
K778-2	腹腔鏡下腎盂形成手術	S22 33 11	通常の腹腔鏡下手術の場合
		S22 33 1R	ロボット支援下手術の場合
K779	移植用腎採取術(生体)	S21 42 00	
K779-2	移植用腎採取術(死体)	S21 42 00	
K779-3	腹腔鏡下移植用腎採取術(生体)	S21 42 11	
K780	同種死体腎移植術	S21 43 00	
K780-2	生体腎移植術	S21 43 00	
K781 1	経尿道的尿路結石除去術 レーザーによるもの	S31 17 21	
K781 2	経尿道的尿路結石除去術 その他のもの	S31 17 21	
K781-3	経尿道的腎盂尿管凝固止血術	S22 20 21	
K782 1	尿管切石術 上部及び中部	S33 17 00	部位が上部尿管の場合
		S34 17 00	部位が中部尿管の場合
K782 2	尿管切石術 膀胱近接部	S35 17 00	
K783	経尿道的尿管狭窄拡張術	S31 33 21	
K783-2	経尿道的尿管ステント留置術	S31 33 24	
K783-3	経尿道的尿管ステント除去術	S31 17 24	
K784	残存尿管摘出術	S31 12 00	
K784-2	尿管剥離術	S31 15 00	
K785	経尿道的腎盂尿管腫瘍摘出術	S22 11 21	
K785-2	腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術	S31 11 11	
K786	尿管膀胱吻合術	S41 30 00	尿管形成術を伴わない場合
		S41 32 00	尿管形成術を伴う場合
K787	尿管尿管吻合術	S31 33 00	
K788	尿管腸吻合術	S31 16 00	
K789	尿管腸膀胱吻合術	S41 30 00	
K790	尿管皮膚瘻造設術	S31 16 00	
K791	尿管皮膚瘻閉鎖術	S31 10 00	
K792 1	尿管腸瘻閉鎖術 内視鏡によるもの	S31 10 21	
K792 2	尿管腸瘻閉鎖術 その他のもの	S31 10 00	
K793	尿管瘻瘻閉鎖術	S31 10 00	
K794	尿管口形成手術	S41 30 00	
K794-2	経尿道的尿管瘻切除術	S41 10 21	
K795	膀胱破裂閉鎖術	S51 30 00	
K796	膀胱周囲膿瘍切開術	S51 16 00	
K797	膀胱内凝血除去術	S51 17 00	高位切開の場合
		S51 17 21	経尿道的な場合
K798 1	膀胱結石、異物摘出術 経尿道的手術	S51 17 21	
K798 2	膀胱結石、異物摘出術 膀胱高位切開術	S51 17 00	
K798 3	膀胱結石、異物摘出術 レーザーによるもの	S51 17 21	
K798-2	経尿道的尿管凝血除去術(バスケットワイヤーカテーテル使用)	S31 17 21	
K799	膀胱壁切除術	S51 11 00	
K800	膀胱憩室切除術	S51 10 00	
K800-2	経尿道的電気凝固術	S51 18 21	
K800-3	膀胱水圧拡張術	S51 30 21	
K800-4	ハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)	S51 18 21	
K801 1	膀胱単純摘除術 腸管利用の尿路変更を行うもの	S51 12 00	
K801 2	膀胱単純摘除術 その他のもの	S51 12 00	
K802	膀胱腫瘍摘出術	S51 11 00	高位切開の場合
		S51 11 21	経尿道的な場合
K802-2 1	膀胱脱手術 メッシュを使用するもの	S51 30 00	
K802-2 2	膀胱脱手術 その他のもの	S51 30 00	
K802-3 1	膀胱後腫瘍摘出術 腸管切除を伴わないもの	S51 11 00	
K802-3 2	膀胱後腫瘍摘出術 腸管切除を伴うもの	S51 13 00	
K802-4	腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術	S51 11 11	
K802-5	腹腔鏡下膀胱部分切除術	S51 11 11	
K802-6	腹腔鏡下膀胱脱手術	S51 30 11	
K803 1	膀胱悪性腫瘍手術 切除	S51 11 00	単純切除の場合
		S51 13 00	広汎切除の場合
K803 2	膀胱悪性腫瘍手術 全摘(腸管等を利用して尿路変更を行わないもの)	S51 12 00	単純切除の場合
		S51 13 00	広汎切除の場合
K803 3	膀胱悪性腫瘍手術 全摘(尿管S状結腸吻合を利用して尿路変更を行うもの)	S51 12 00	単純切除の場合
		S51 13 00	広汎切除の場合
K803 4	膀胱悪性腫瘍手術 全摘(回腸又は結腸導管を利用して尿路変更を行うもの)	S51 12 00	単純切除の場合
		S51 13 00	広汎切除の場合
K803 5	膀胱悪性腫瘍手術 全摘(代用膀胱を利用して尿路変更を行うもの)	S51 12 00	単純切除の場合
		S51 13 00	広汎切除の場合

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
K803 6 イ	膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 電解質溶液利用のもの	S51 10 21	光力学診断を用いない場合
		S51 11 21	光力学診断を用いる場合
K803 6 ロ	膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 その他のもの	S51 10 21	
K803-2 1	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術 全摘(腸管等を利用して尿路変更を行わないもの)	S51 13 11	通常の腹腔鏡下手術の場合
		S51 13 1R	ロボット支援下手術の場合
K803-2 2	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術 全摘(回腸又は結腸導管を利用して尿路変更を行うもの)	S51 13 11	通常の腹腔鏡下手術の場合
		S51 13 1R	ロボット支援下手術の場合
K803-2 3	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術 全摘(代用膀胱を利用して尿路変更を行うもの)	S51 13 11	通常の腹腔鏡下手術の場合
		S51 13 1R	ロボット支援下手術の場合
K803-3 1	腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術 全摘(腸管等を利用して尿路変更を行わないもの)	S51 13 11	
K803-3 2	腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術 全摘(回腸又は結腸導管を利用して尿路変更を行うもの)	S51 13 11	
K803-3 3	腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術 全摘(代用膀胱を利用して尿路変更を行うもの)	S51 13 11	
K804	尿管摘出術	SW4 12 00	
K804-2	腹腔鏡下尿管摘出術	SW4 12 11	
K805	膀胱瘻造設術	S51 16 17	
K805-2	膀胱皮膚瘻造設術	S51 16 07	
K805-3	導尿管造設術	S51 16 00	
K806	膀胱皮膚瘻閉鎖術	S51 10 00	
K807	膀胱腔瘻閉鎖術	S51 10 00	
K808 1	膀胱腸瘻閉鎖術 内視鏡によるもの	S51 10 21	
K808 2	膀胱腸瘻閉鎖術 その他のもの	S51 10 00	
K809	膀胱子宮瘻閉鎖術	S51 10 00	
K809-2	膀胱尿管逆流手術	S51 30 00	尿管形成術を伴わない場合
		S41 30 00	尿管形成術を伴う場合
K809-3	腹腔鏡下膀胱内手術	S41 30 11	
K809-4	腹腔鏡下膀胱尿管逆流手術(膀胱外アプローチ)	S41 30 11	
K810	ポアリー氏手術	S51 30 00	
K811	腸管利用膀胱拡大術	S51 30 00	
K812	回腸(結腸)導管造設術	S31 16 00	
K812-2 1	排泄腔外反症手術 外反膀胱閉鎖術	S51 30 00	
K812-2 2	排泄腔外反症手術 膀胱腸裂閉鎖術	S51 30 00	
K813	尿道周囲膿瘍切開術	S61 16 00	
K814	外尿道口切開術	S61 33 00	
K815 1	尿道結石、異物摘出術 前部尿道	S61 17 21	
K815 2	尿道結石、異物摘出術 後部尿道	S61 17 21	
K816	外尿道腫瘍切除術	S61 11 00	
K817 1	尿道悪性腫瘍摘出術 摘出	S61 11 00	
K817 2	尿道悪性腫瘍摘出術 内視鏡による場合	S61 11 21	
K817 3	尿道悪性腫瘍摘出術 尿路変更を行う場合	S61 13 00	
K818 1	尿道形成手術 前部尿道	S66 33 00	
K818 2	尿道形成手術 後部尿道	S64 33 00	
K819	尿道下裂形成手術	S61 30 00	
K819-2	陰茎形成術	S7B 43 00	自家遊離複合組織移植の場合またはそれ以外
		S7B 32 00	皮弁による尿道再建を伴う場合
K820	尿道上裂形成手術	S61 30 00	
K821	尿道狭窄内視鏡手術	S61 33 21	
K821-2	尿道狭窄拡張術(尿道バルーンカテーテル)	S61 33 24	
K821-3	尿道ステント前立腺部尿道拡張術	S72 33 24	
K821-4	尿道狭窄グラフト再建術	S61 33 00	
K822	女子尿道脱手術	S61 30 00	
K823 1	尿失禁手術 恥骨固定式膀胱頸部吊上術を行うもの	S61 30 00	
K823 2	尿失禁手術 その他のもの	S61 30 00	
K823-2	尿失禁又は膀胱尿管逆流現象コラーゲン注入手術	S61 31 21	
K823-3	膀胱尿管逆流症手術(治療用注入材によるもの)	S41 31 21	
K823-4	腹腔鏡下尿失禁手術	S81 38 11	
K823-5	人工尿道括約筋植込・置換術	S61 34 00	
K823-6	尿失禁手術(ボツリヌス毒素によるもの)	S51 50 21	
K823-7	膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)	S51 30 00	
K824	陰茎尖圭コンジローム切除術	S7B 10 00	
K825	陰茎全摘術	S7B 12 00	
K826	陰茎切断術	S7B 11 00	
K826-2	陰茎折症手術	S7B 30 00	
K826-3	陰茎様陰核形成手術	S83 32 00	
K827 1	陰茎悪性腫瘍手術 陰茎切除	S7B 11 00	
K827 2	陰茎悪性腫瘍手術 陰茎全摘	S7B 13 00	
K828 1	包茎手術 背面切開術	S7E 32 00	
K828 2	包茎手術 環状切除術	S7E 11 00	

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
K828-2 1	陰莖持続勃起症手術 亀頭-陰莖海綿体瘻作成術(ウィンター法)によるもの	S7B 16 10	
K828-2 2	陰莖持続勃起症手術 その他のシャント術によるもの	S7B 16 00	
K828-3	埋没陰莖手術	S7B 32 00	
K829	精管切断、切除術(両側)	S78 15 00	
K830	精巣摘出術	S7G 12 00	
K830-2 1	精巣外傷手術 陰嚢内血腫除去術	S7K 17 00	
K830-2 2	精巣外傷手術 精巣白膜縫合術	S7G 30 00	
K830-3	精巣温存手術	S7G 10 00	
K832	精巣上体摘出術	S7H 12 00	
K833	精巣悪性腫瘍手術	S7G 12 00	単純切除の場合
		S7G 13 00	広汎切除の場合
K834	精索静脈瘤手術	S7F 15 00	
K834-2	腹腔鏡下内精索静脈結紮術	S7F 15 11	
K834-3	顕微鏡下精索静脈瘤手術	S7F 15 02	
K835 1	陰嚢水腫手術 鼠径部切開によるもの	S7K 10 00	
K835 2	陰嚢水腫手術 その他	S7K 10 00	
K836	停留精巣固定術	S7G 38 00	
K836-2	腹腔鏡下腹腔内停留精巣陰嚢内固定術	S7G 38 11	
K836-3	腹腔鏡下停留精巣内精巣動静脈結紮術	S7F 15 11	
K837	精管形成手術	S78 33 02	
K838 1	精索捻転手術 対側の精巣固定術を伴うもの	S7F 38 00	
K838 2	精索捻転手術 その他のもの	S7F 38 00	患側の精巣固定術だけを行う場合
		S7G 30 00	精巣固定以外の場合
K838-2 1	精巣内精子採取術 単純なもの	S7G C1 00	
K838-2 2	精巣内精子採取術 顕微鏡を用いたもの	S7G C1 02	
K839	前立腺膿瘍切開術	S76 16 00	
K840	前立腺被膜下摘出術	S76 10 00	
K841 1	経尿道的前立腺手術 電解質溶液利用のもの	S76 10 21	
K841 2	経尿道的前立腺手術 その他のもの	S76 10 21	
K841-2 1	経尿道的レーザー前立腺切除術・蒸散術 ホルミウムレーザー又は倍周波数レーザーを用いるもの	S76 10 21	
K841-2 2	経尿道的レーザー前立腺切除術・蒸散術 ツリウムレーザーを用いるもの	S76 18 21	
K841-2 3	経尿道的レーザー前立腺切除術・蒸散術 その他のもの	S76 10 21	
K841-3	経尿道的前立腺高温度治療(一連につき)	S76 18 21	
K841-4	焦点式高エネルギー超音波療法(一連につき)	S76 18 21	
K841-5	経尿道的前立腺核出術	S76 10 21	
K841-6	経尿道的前立腺吊上術	S72 33 21	
K841-7	経尿道的前立腺水蒸気治療	S76 10 21	
K841-8	経尿道的前立腺切除術(高圧水噴射システムを用いるもの)	S76 10 21	
K843	前立腺悪性腫瘍手術	S76 11 00	単純切除の場合
		S76 13 00	広汎切除の場合
K843-2	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	S76 13 11	
K843-3	腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術	S76 13 01	
K843-4	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる)	S76 13 1R	
K844	バルトリン腺膿瘍切開術	S86 16 00	
K845	処女膜切開術	S85 11 00	
K846	処女膜切除術	S85 11 00	
K847	輪状処女膜切除術	S85 11 00	
K848	バルトリン腺膿瘍腫瘍摘出術(造袋術を含む。)	S86 16 00	バルトリン膿瘍造袋術の場合
		S86 10 00	バルトリン腺膿瘍摘出術の場合
K849	女子外生殖器腫瘍摘出術	S82 11 00	
K850 1	女子外生殖器悪性腫瘍手術 切除	S82 11 00	
K850 2	女子外生殖器悪性腫瘍手術 皮膚移植(筋皮弁使用)を行った場合	S82 13 00	
K850-2	腔絨毛性腫瘍摘出術	S88 11 00	
K851 1	会陰形成手術 筋層に及ばないもの	S82 32 00	
K851 2	会陰形成手術 筋層に及ぶもの	S82 32 00	
K851-2	外陰・腔血腫除去術	S82 17 00	外陰血腫の場合
		S88 17 00	腔血腫の場合
K851-3 1	癒合陰唇形成手術 筋層に及ばないもの	S87 32 00	
K851-3 2	癒合陰唇形成手術 筋層に及ぶもの	S87 32 00	
K852 1	腔壁裂創縫合術(分娩時を除く。) 前又は後壁裂創	S88 30 00	
K852 2	腔壁裂創縫合術(分娩時を除く。) 前後壁裂創	S88 30 00	
K852 3	腔壁裂創縫合術(分娩時を除く。) 腔円蓋に及ぶ裂創	S88 30 00	
K852 4	腔壁裂創縫合術(分娩時を除く。) 直腸裂傷を伴うもの	S88 30 00	
K853 1	腔閉鎖術 中央腔閉鎖術(子宮全脱)	S88 35 00	経腔的以外で行う場合
		S89 35 20	経腔的に行う場合
K853 2	腔閉鎖術 その他	S88 35 00	
K854	腔式子宮旁結合織炎(膿瘍)切開術	S88 16 20	

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
K854-2	後腔円蓋切開(異所性妊娠)	S88 16 20	
K855 1	腔中隔切除術 不全隔のもの	S88 10 20	
K855 2	腔中隔切除術 全中隔のもの	S88 10 20	
K856	腔壁腫瘍摘出術	S88 11 20	
K856-2	腔壁囊腫切除術	S88 10 20	
K856-3	腔ポリープ切除術	S88 10 20	
K856-4	腔壁尖圭コンジローム切除術	S88 10 20	
K857	腔壁悪性腫瘍手術	S88 11 00	
K858 1	腔腸瘻閉鎖術 内視鏡によるもの	S88 35 21	
K858 2	腔腸瘻閉鎖術 その他のもの	S88 35 00	
K859 1	造腔術、腔閉鎖症術 拡張器利用によるもの	S88 32 20	
K859 2	造腔術、腔閉鎖症術 遊離植皮によるもの	S88 32 00	
K859 3	造腔術、腔閉鎖症術 腔断端挙上によるもの	S88 32 00	
K859 4	造腔術、腔閉鎖症術 腸管形成によるもの	S88 32 00	
K859 5	造腔術、腔閉鎖症術 筋皮弁移植によるもの	S88 32 00	
K859-2	腹腔鏡下造腔術	S88 32 11	
K860	腔壁形成手術	S88 32 00	形成術だけを行う場合
		S88 38 00	子宮摘出術後に腔固定を行う場合
K860-2	腔断端挙上術(腔式、腹式)	S88 30 00	開腹の場合
		S88 30 20	腔式の場合
K860-3	腹腔鏡下腔断端挙上術	S88 30 11	通常の腹腔鏡下手術の場合
		S88 30 1R	ロボット支援下手術の場合
K861	子宮内膜掻爬術	S8B 17 20	
K862	クレニッチ手術	S8B 17 13	
K863	腹腔鏡下子宮内膜症病巣除去術	S8B 10 11	
K863-2	子宮鏡下子宮中隔切除術、子宮内腔癒着切除術(癒着剥離術を含む。)	S8B 10 21	子宮中隔切除術の場合
		S8B 11 21	子宮内腔癒着切除術の場合
K863-3	子宮鏡下子宮内膜焼灼術	S89 18 21	
K864 1	子宮位置矯正術 アレキサンダー手術	S89 36 20	
K864 2	子宮位置矯正術 開腹による位置矯正術	S89 30 00	
K864 3	子宮位置矯正術 癒着剥離矯正術	S89 30 00	
K865 1	子宮脱手術 腔壁形成手術及び子宮位置矯正術	S89 30 00	
K865 2	子宮脱手術 ハルバン・シャウタ手術	S89 30 20	
K865 3	子宮脱手術 マンチェスター手術	S89 38 20	
K865 4	子宮脱手術 腔壁形成手術及び子宮全摘術(腔式、腹式)	S89 30 00	開腹の場合
		S89 30 20	腔式の場合
K865-2	腹腔鏡下仙骨腔固定術	S89 38 11	通常の腹腔鏡下手術の場合
		S89 38 1R	ロボット支援下手術の場合
K866	子宮頸管ポリープ切除術	S8A 10 20	
K866-2	子宮腔部冷凍凝固術	S8A 18 20	
K867	子宮頸部(腔部)切除術	S8A 11 20	
K867-2	子宮腔部糜爛等子宮腔部乱切除術	S8A 10 20	
K867-3	子宮頸部摘出術(腔部切断術を含む。)	S8A 11 20	
K867-4	子宮頸部異形成上皮又は上皮内癌レーザー照射治療	S8A 18 20	
K871	子宮息肉様筋腫摘出術(腔式)	S89 10 20	
K872 1	子宮筋腫摘出(核出)術 腹式	S89 10 00	
K872 2	子宮筋腫摘出(核出)術 腔式	S89 10 20	
K872-2	腹腔鏡下子宮筋腫摘出(核出)術	S89 10 11	
K872-3 1	子宮鏡下有茎粘膜下筋腫切出術、子宮内膜ポリープ切除術 電解質溶液利用のもの	S8B 10 21	子宮内膜ポリープの場合
		S89 10 21	有茎粘膜下筋腫の場合
K872-3 2	子宮鏡下有茎粘膜下筋腫切出術、子宮内膜ポリープ切除術 組織切除回収システム利用によるもの	S8B 10 21	子宮内膜ポリープの場合
		S89 10 21	有茎粘膜下筋腫の場合
K872-3 3	子宮鏡下有茎粘膜下筋腫切出術、子宮内膜ポリープ切除術 その他のもの	S8B 10 21	子宮内膜ポリープの場合
		S89 10 21	有茎粘膜下筋腫の場合
K872-4 1	痕跡副角子宮手術 腹式	S89 10 00	
K872-4 2	痕跡副角子宮手術 腔式	S89 10 20	
K872-5	子宮頸部初期癌又は異形成光線力学療法	S8A 18 20	
K873 1	子宮鏡下子宮筋腫摘出術 電解質溶液利用のもの	S8B 10 21	
K873 2	子宮鏡下子宮筋腫摘出術 その他のもの	S89 10 21	
K876	子宮腔上部切断術	S89 11 00	
K876-2	腹腔鏡下子宮腔上部切断術	S89 11 11	
K877	子宮全摘術	S89 12 00	開腹の場合
		S89 12 20	腔式の場合
K877-2	腹腔鏡下腔式子宮全摘術	S89 12 11	通常の腹腔鏡下手術の場合
		S89 12 1R	ロボット支援下手術の場合
K878	広靱帯内腫瘍摘出術	S89 10 00	
K878-2	腹腔鏡下広靱帯内腫瘍摘出術	S89 10 11	
K879	子宮悪性腫瘍手術	S89 12 00	単純切除の場合
		S89 13 00	広汎切除の場合

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
K879-2	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術	S89 12 11	単純切除で、通常の腹腔鏡下手術の場合
		S89 12 1R	単純切除で、ロボット支援下手術の場合
		S89 13 11	広汎切除で、通常の腹腔鏡下手術の場合
		S89 13 1R	広汎切除で、ロボット支援下手術の場合
K881	腹壁子宮瘻手術	S89 35 00	
K882	重複子宮、双角子宮手術	S8B 32 00	
K882-2	腹腔鏡下子宮癒痕部修復術	S89 30 11	
K883	子宮頸管形成手術	S8A 10 20	
K883-2 1	子宮頸管閉鎖症手術 非観血的	S8A 30 21	
K883-2 2	子宮頸管閉鎖症手術 観血的	S8A 30 21	
K884	奇形子宮形成手術(ストラスマン手術)	S8B 32 00	
K884-2	人工授精	ZZZ 50 90	対外受精の場合
		ZZZ 50 92	顕微授精の場合
K884-3 1	胚移植術 新鮮胚移植の場合	S8B 43 27	
K884-3 2	胚移植術 凍結・融解胚移植の場合	S8B 43 27	
K885	腔式卵巣嚢腫内容排除術	S8E 16 20	
K885-2	経皮的卵巣嚢腫内容排除術	S8E 17 10	
K886 1	子宮付属器癒着剥離術(両側) 開腹によるもの	S8C 15 00	
K886 2	子宮付属器癒着剥離術(両側) 腹腔鏡によるもの	S8C 15 11	
K887 1	卵巣部分切除術(腔式を含む。) 開腹によるもの	S8E 11 00	
K887 2	卵巣部分切除術(腔式を含む。) 腹腔鏡によるもの	S8E 11 11	
K887-2 1	卵管結紮術(腔式を含む。)(両側) 開腹によるもの	S8D 15 00	
K887-2 2	卵管結紮術(腔式を含む。)(両側) 腹腔鏡によるもの	S8D 15 11	
K887-3 1	卵管口切開術 開腹によるもの	S8D 33 00	
K887-3 2	卵管口切開術 腹腔鏡によるもの	S8D 33 11	
K887-4	腹腔鏡下多嚢胞性卵巣焼灼術	S8E 18 11	
K888 1	子宮付属器腫瘍摘出術(両側) 開腹によるもの	S8C 12 00	
K888 2	子宮付属器腫瘍摘出術(両側) 腹腔鏡によるもの	S8C 12 11	
K888-2 1	卵管全摘除術、卵管腫瘍全摘除術、子宮卵管留血腫手術(両側) 開腹によるもの	S8D 12 00	
K888-2 2	卵管全摘除術、卵管腫瘍全摘除術、子宮卵管留血腫手術(両側) 腹腔鏡によるもの	S8D 12 11	
K889	子宮付属器悪性腫瘍手術(両側)	S8C 12 00	単純切除の場合
		S8C 13 00	広汎切除の場合
K890	卵管形成手術(卵管・卵巣移植、卵管架橋等)	S8D 33 00	
K890-2	卵管鏡下卵管形成術	S8D 33 21	
K890-3	腹腔鏡下卵管形成術	S8D 33 11	
K890-4	採卵術	S8E C1 27	
K891	分娩時頸部切開術(縫合を含む。)	S8A 37 20	
K892	骨盤位娩出術	SA7 19 20	
K893	吸引娩出術	SA7 19 20	
K894 1	鉗子娩出術 低位(出口)鉗子	SA7 19 20	
K894 2	鉗子娩出術 中位鉗子	SA7 19 20	
K895	会陰(陰門)切開及び縫合術(分娩時)	S82 30 00	
K896 1	会陰(腔壁)裂創縫合術(分娩時) 筋層に及ぶもの	S82 30 00	会陰裂創の場合
		S88 30 00	腔壁裂創の場合
K896 2	会陰(腔壁)裂創縫合術(分娩時) 肛門に及ぶもの	S88 30 00	
K896 3	会陰(腔壁)裂創縫合術(分娩時) 腔門蓋に及ぶもの	S88 30 00	
K896 4	会陰(腔壁)裂創縫合術(分娩時) 直腸裂創を伴うもの	S88 30 00	
K897	頸管裂創縫合術(分娩時)	S8A 30 20	
K898 1	帝王切開術 緊急帝王切開	SA7 19 00	
K898 2	帝王切開術 選択帝王切開	SA7 19 00	
K899	胎児縮小術(娩出術を含む。)	SA7 19 20	
K900	臍帯還納術	SA6 30 20	
K900-2	脱垂肢整復術	SA7 50 20	
K901	子宮双手圧迫術(大動脈圧迫術を含む。)	S89 20 20	
K902	胎盤用手剥離術	SA5 15 20	
K903 1	子宮破裂手術 子宮全摘除を行うもの	S89 12 00	
K903 2	子宮破裂手術 子宮腔上部切断を行うもの	S89 11 00	
K903 3	子宮破裂手術 その他のもの	S89 30 00	
K904	妊娠子宮摘出術(ボロー手術)	S89 12 00	
K905 1	子宮内反症整復手術(腔式、腹式) 非観血的	S89 30 00	開腹の場合
		S89 30 20	腔式の場合
K905 2	子宮内反症整復手術(腔式、腹式) 観血的	S89 30 00	開腹の場合
		S89 30 20	腔式の場合
K906 1	子宮頸管縫縮術 マクドナルド法	S8A 36 20	
K906 2	子宮頸管縫縮術 シロッカー法又はラッシュュ法	S8A 36 20	
K906 3	子宮頸管縫縮術 縫縮解除術(チューブ抜去術)	S8A 36 20	
K907	胎児外回転術	SA1 50 40	
K908	胎児内(双合)回転術	SA1 50 20	

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
K909 1 イ	流産手術 妊娠11週までの場合 手動真空吸引法によるもの	SA8 17 30	
K909 1 ロ	流産手術 妊娠11週までの場合 その他のもの	SA8 17 20	
K909 2	流産手術 妊娠11週を超え妊娠21週までの場合	SA8 17 20	
K909-2	子宮内容除去術(不全流産)	SA8 17 20	
K910-2	内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	SA7 18 11	
K910-3	胎児胸腔・羊水腔シャント術(一連につき)	SA1 16 17	
K910-4	無心体双胎焼灼術(一連につき)	SA7 35 17	
K910-5	胎児輸血術(一連につき)	SA2 43 90	
K910-6	臍帯穿刺	SA6 C1 27	
K911	胞状奇胎除去術	SA8 10 20	
K912 1	異所性妊娠手術 開腹によるもの	SA9 10 00	
K912 2	異所性妊娠手術 腹腔鏡によるもの	SA9 10 11	
K913 1	新生児仮死蘇生術 仮死第1度のもの	AAA 50 90	
K913 2	新生児仮死蘇生術 仮死第2度のもの	AAA 50 90	
K913-2 1	性腺摘出術 開腹によるもの	S7G 12 00 S8E 12 00	精巣の場合 卵巣の場合
K913-2 2	性腺摘出術 腹腔鏡によるもの	S7G 12 11	
K914	脳死臓器提供管理料	ZZZ 50 90	
K915	生体臓器提供管理料	ZZZ 50 90	
K916 1	体外式膜型人工肺管理料(1日につき) 7日目まで	ZZZ 50 90	
K916 2	体外式膜型人工肺管理料(1日につき) 8日目以降14日目まで	ZZZ 50 90	
K916 3	体外式膜型人工肺管理料(1日につき) 15日目以降	ZZZ 50 90	
K917 1	体外受精・顕微授精管理料 体外受精	ZZZ 50 90	
K917 2 イ	体外受精・顕微授精管理料 顕微授精 1個の場合	ZZZ 50 90	
K917 2 ロ	体外受精・顕微授精管理料 顕微授精 2個から5個までの場合	ZZZ 50 90	
K917 2 ハ	体外受精・顕微授精管理料 顕微授精 6個から9個までの場合	ZZZ 50 90	
K917 2 ニ	体外受精・顕微授精管理料 顕微授精 10個以上の場合	ZZZ 50 90	
K917-2 1	受精卵・胚培養管理料 1個の場合	ZZZ 50 90	
K917-2 2	受精卵・胚培養管理料 2個から5個までの場合	ZZZ 50 90	
K917-2 3	受精卵・胚培養管理料 6個から9個までの場合	ZZZ 50 90	
K917-2 4	受精卵・胚培養管理料 10個以上の場合	ZZZ 50 90	
K917-2 注 イ	受精卵・胚培養管理料 胚の数 1個の場合	ZZZ 50 90	
K917-2 注 ロ	受精卵・胚培養管理料 胚の数 2個から5個までの場合	ZZZ 50 90	
K917-2 注 ハ	受精卵・胚培養管理料 胚の数 6個から9個までの場合	ZZZ 50 90	
K917-2 注 ニ	受精卵・胚培養管理料 胚の数 10個以上の場合	ZZZ 50 90	
K917-3 1 イ	胚凍結保存管理料 胚凍結保存管理料(導入時) 1個の場合	ZZZ 50 90	
K917-3 1 ロ	胚凍結保存管理料 胚凍結保存管理料(導入時) 2個から5個ま	ZZZ 50 90	
K917-3 1 ハ	胚凍結保存管理料 胚凍結保存管理料(導入時) 6個から9個ま	ZZZ 50 90	
K917-3 1 ニ	胚凍結保存管理料 胚凍結保存管理料(導入時) 10個以上の場	ZZZ 50 90	
K917-3 2	胚凍結保存管理料 胚凍結保存維持管理料	ZZZ 50 90	
K917-4	採取精子調整管理料	ZZZ 50 90	
K917-5 1 イ	採取精子調整管理料 精子凍結保存管理料(導入時) 精巣内精	ZZZ 50 90	
K917-5 1 ロ	採取精子調整管理料 精子凍結保存管理料(導入時) イ以外の	ZZZ 50 90	
K917-5 2	精子凍結保存維持管理料	ZZZ 50 90	
K920 1 イ	輸血 自家採血輸血(200mLごとに) 1回目	Y11 43 90	
K920 1 ロ	輸血 自家採血輸血(200mLごとに) 2回目以降	Y11 43 90	
K920 2 イ	輸血 保存血液輸血(200mLごとに) 1回目	Y11 43 90	
K920 2 ロ	輸血 保存血液輸血(200mLごとに) 2回目以降	Y11 43 90	
K920 3 イ(1)	輸血 自己血貯血 6歳以上の患者の場合(200mLごとに) 液状	Y11 41 10	
K920 3 イ(2)	輸血 自己血貯血 6歳以上の患者の場合(200mLごとに) 凍結	Y11 41 10	
K920 3 ロ(1)	輸血 自己血貯血 6歳未満の患者の場合(体重1kgにつき4mLご	Y11 41 10	
K920 3 ロ(2)	輸血 自己血貯血 6歳未満の患者の場合(体重1kgにつき4mLご	Y11 41 10	
K920 4 イ(1)	輸血 自己血輸血 6歳以上の患者の場合(200mLごとに) 液状	Y11 43 90	
K920 4 イ(2)	輸血 自己血輸血 6歳以上の患者の場合(200mLごとに) 凍結	Y11 43 90	
K920 4 ロ(1)	輸血 自己血輸血 6歳未満の患者の場合(体重1kgにつき4mLご	Y11 43 90	
K920 4 ロ(2)	輸血 自己血輸血 6歳未満の患者の場合(体重1kgにつき4mLご	Y11 43 90	
K920 5 イ	輸血 希釈式自己血輸血 6歳以上の患者の場合(200mLごとに)	Y11 43 90	
K920 5 ロ	輸血 希釈式自己血輸血 6歳未満の患者の場合(体重1kgにつ	Y11 43 90	
K920 6	交換輸血(1回につき)	Y11 43 90	
K920-2 1	輸血管理料 I	ZZZ 50 90	
K920-2 2	輸血管理料 II	ZZZ 50 90	
K921 1 イ	造血幹細胞採取(一連につき) 骨髓採取 同種移植の場合	Y12 42 10	
K921 1 ロ	造血幹細胞採取(一連につき) 骨髓採取 自家移植の場合	Y12 41 10	

Kコード外保連基幹コード(STEM7)対応表

診療報酬コード (06年度)	診療報酬術式名(06年度)	外保連基幹コード (STEM7)	STEM7を細分化する時の注意点
K921 2 イ	造血幹細胞採取(一連につき) 末梢血幹細胞採取 同種移植の	Y12 42 10	
K921 2 ロ	造血幹細胞採取(一連につき) 末梢血幹細胞採取 自家移植の	Y12 41 10	
K921-2	間葉系幹細胞採取(一連につき)	Y12 41 10	
K921-3 1	末梢血単核球採取(一連につき) 採取のみを行う場合	Y11 41 10	
K921-3 2	末梢血単核球採取(一連につき) 採取、細胞調整及び凍結保存	Y11 41 10	
K922 1 イ	造血幹細胞移植 骨髄移植 同種移植の場合	Y12 43 90	
K922 1 ロ	造血幹細胞移植 骨髄移植 自家移植の場合	Y12 43 90	
K922 2 イ	造血幹細胞移植 末梢血幹細胞移植 同種移植の場合	Y12 43 90	
K922 2 ロ	造血幹細胞移植 末梢血幹細胞移植 自家移植の場合	Y12 43 90	
K922 3	造血幹細胞移植 臍帯血移植	Y17 43 90	
K922-2	CAR発現生T細胞投与(一連つき)	Y11 43 90	
K922-3	自己骨髄由来間葉系幹細胞投与(一連につき)	Y12 42 90	
K923 1	術中術後自己血回収術(自己血回収器具によるもの) 濃縮及び洗浄を行うもの	Y11 41 90	
K923 2	術中術後自己血回収術(自己血回収器具によるもの) 濾過を行	Y11 41 90	
K924	自己生体組織接着剤作成術	Y11 50 90	
K924-2	自己クリオプレシビテート作製術(用手法)	Y11 50 90	
K924-3	同種クリオプレシビテート作製術	Y11 50 90	
K930 1	脊髄誘発電位測定等加算 脳、脊椎、脊髄、大動脈瘤又は食道の手術に用いた場合	ZZZ 50 9B	
K930 2	脊髄誘発電位測定等加算 甲状腺又は副甲状腺の手術に用い	ZZZ 50 9B	
K931	超音波凝固切開装置等加算	ZZZ 50 90	
K932	創外固定器加算	ZZZ 50 90	
K933	イオントフォーレーゼ加算	ZZZ 50 90	
K934	副鼻腔手術用内視鏡加算	ZZZ 50 91	
K934-2	副鼻腔手術用骨軟部組織切除機器加算	ZZZ 50 90	
K935	止血用加熱凝固切開装置加算	ZZZ 50 90	
K936	自動縫合器加算	ZZZ 50 90	
K936-2	自動吻合器加算	ZZZ 50 90	
K936-3	微小血管自動縫合器加算	ZZZ 50 90	
K937	心拍動下冠動脈、大動脈バイパス移植術用機器加算	ZZZ 50 90	
K937-2	術中グラフト血流測定加算	ZZZ 50 90	
K938	体外衝撃波消耗性電極加算	ZZZ 50 90	
K939 1	画像等手術支援加算 ナビゲーションによるもの	ZZZ 50 98	
K939 2	画像等手術支援加算 実物大臓器立体モデルによるもの	ZZZ 50 9B	
K939 3	画像等手術支援加算 患者適合型手術支援ガイドによるもの	ZZZ 50 90	
K939-2	術中血管等描出撮影加算	ZZZ 50 90	
K939-3	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	ZZZ 50 90	
K939-5	胃瘻造設時嚥下機能評価加算	ZZZ 50 90	
K939-6	凍結保存同種組織加算	ZZZ 50 90	
K939-7 1	レーザー機器加算 レーザー機器加算1	ZZZ 50 90	
K939-7 2	レーザー機器加算 レーザー機器加算2	ZZZ 50 90	
K939-7 3	レーザー機器加算 レーザー機器加算3	ZZZ 50 90	
K939-8	超音波切削機器加算	ZZZ 50 90	
K939-9	切開創局所陰圧閉鎖処置機器加算	ZZZ 50 90	

別紙 4

II. 研究成果の刊行に関する一覧表

書籍・・・特になし

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ

雑誌・・・

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
K.Abe, H.Kawase, N.Yokogawa, K.Yamashita, M.Yamashita, T.Sasaki, A.Yamaoka, Y.Shiga, S.Maki, K.Inage, Y.Eguchi, S.Orita, S.Ohtori.	Mapping the Japanese orthopedic association national registry (JOANR) to the international classification of health interventions (ICHI)	Journal of Orthopaedic Science	71(4)	https://doi.org/10.1016/j.jos.2023.01.002	2023
川瀬弘一	我が国におけるICHI活用の可能性	診療情報管理	35 (1)	23-32	2023
川瀬弘一	保健・医療関連行為に関する国際分類 (ICHI) の動向	医学のあゆみ	283(8)	803-804	2022
松本万夫, 稲垣時子, 河村保孝, 瀬尾善宣, 住友正幸, 海野博資, 川瀬弘一	シンポジウム2 : ICD-11の実際	日本診療情報管理学会誌	34(2)	13-39	2022

2024年4月4日

厚生労働大臣 殿

機関名 聖マリアンナ医科大学

所属研究機関長 職名 学長長

氏名 北川 博昭

次の職員の令和5年度厚生労働行政推進調査事業費補助金の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業）
- 研究課題名 International Classification of Health Interventions (ICHI) の我が国における活用・普及のための研究
- 研究者名 (所属部署・職名) 本部・理事
(氏名・フリガナ) 川瀬 弘一・カワセ ヒロカズ
- 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称：)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 国立大学法人東京大学

所属研究機関長 職 名 学長

氏 名 藤井 輝夫

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費補助金の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 政策科学総合研究事業（統計情報総合研究事業）
- 研究課題名 International Classification of Health Interventions (ICHI) の我が国における活用・普及のための研究
- 研究者名 (所属部署・職名) 医学部附属病院・名誉教授
(氏名・フリガナ) 岩中 督・イワナカ タダシ
- 倫理審査の状況

	該当性の有無 有 無	左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
		審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称：)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関：)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容：)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和 6年 4月 9日

厚生労働大臣 殿

機関名 国立精神・神経医療研究センター

所属研究機関長 職 名 理事長

氏 名 中込 和幸

次の職員の令和5年度厚生労働行政推進調査事業費補助金の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業）
- 研究課題名 International Classification of Health Interventions (ICHI) の我が国における活用・普及のための研究
- 研究者名 (所属部署・職名) 情報管理・解析部 データマネジメント室長
(氏名・フリガナ) 波多野 賢二 (ハタノ ケンジ)
- 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 公益財団法人 ちば県民保健予防財団

所属研究機関長 職名 理事長

氏名 藤澤 武彦

次の職員の令和5年度厚生労働行政推進調査事業費補助金の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業）
- 研究課題名 International Classification of Health Interventions (ICHI) の我が国における活用・普及のための研究
- 研究者名 (所属部署・職名) 総合健診センター 顧問
(氏名・フリガナ) 高橋 長裕 (タカハシオサヒロ)
- 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称：)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関：)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容：)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和6年4月8日

厚生労働大臣 殿

機関名 摂南大学

所属研究機関長 職名 理学長

氏名 久保 康之

次の職員の令和5年度厚生労働行政推進調査事業費補助金の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業）
- 研究課題名 International Classification of Health Interventions (ICHI) の我が国における活用・普及のための研究
- 研究者名 (所属部署・職名) 農学部・教授
(氏名・フリガナ) 小川俊夫・オガワトシオ
- 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和6年5月28日

厚生労働大臣 殿

機関名 地域医療機能推進機構船橋中央病院

所属研究機関長 職名 院長

氏名 山口 武人

次の職員の令和5年度厚生労働行政推進調査事業費補助金の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業）
- 研究課題名 International Classification of Health Interventions (ICHI) の我が国における活用・普及のための研究
- 研究者名 (所属部署・職名) 整形外科 医師
(氏名・フリガナ) 阿部幸喜
- 倫理審査の状況

	該当性の有無 有 無	左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
		審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称：)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 北里大学病院

所属研究機関長 職名 病院長

氏名 高相 晶士

次の職員の令和5年度厚生労働行政推進調査事業費補助金の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業）
- 研究課題名 International Classification of Health Interventions (ICHI) の我が国における活用・普及のための研究
- 研究者名（所属部署・職名） 北里大学病院 医療支援部 診療情報管理室
（氏名・フリガナ） 荒井 康夫 アライ ヤスオ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること （指針の名称： ）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査の場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合はその理由：
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合は委託先機関：
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合はその理由：
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> （有の場合はその内容：

（留意事項） ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 社会医療法人医仁会 中村記念病院

所属研究機関長 職名 理事長・院長

氏名 中村博彦

次の職員の令和5年度厚生労働行政推進調査事業費補助金の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業）
- 研究課題名 International Classification of Health Interventions (ICHI) の我が国における活用・普及のための研究
- 研究者名 (所属部署・職名) 副院長・頭蓋底外科センター長
(氏名・フリガナ) 瀬尾善宣 (セオヨシノブ)

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。